

TEPRA

PRO



SR520X

取扱説明書

 KING JIM

はじめに

このたびは、ラベルライター「テブラ」PRO SR520Xをお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「テブラ」PRO SR520Xの使いかたを、「準備編」「使いかた編1・2」「機能編」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。

「テブラ」PRO SR520Xを本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

!! 注意 !!

- 本機で保存する文章や外字などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「テブラ」で得られるラベルについて
塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。
なお、これらによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「キングジム」、KING JIM、「テブラ」、「テブラ」PRO、Pテープマークはいずれも株式会社キングジムの商標です。




その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

●安全上のご注意…必ずお守りください！




お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合を、次のように説明しています。

 危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
 警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
 注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	⊘ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	Ⓢ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠ 危険

電池の取り扱いについて



電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受けてください。



⚠ 警告

ACアダプタについて



同梱の専用ACアダプタ(AC1116J)以外のアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



ACアダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせしないでください。火災・感電の原因となります。

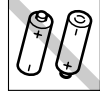


警告

電池の取り扱いについて



電池の(+)と(-)を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



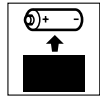
電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。



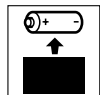
新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。



長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。



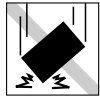
電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



その他



本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で本機やACアダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。



本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶらないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。



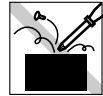
⚠ 警告



本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。



⚠ 注意

電池の取り扱いについて



電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



オートトリマーのお手入れについて



「カド丸トレー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「カド丸トレー」をはずしたまま作動させると、刃で指を切ったりするなど大変危険です。また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。



オートカッターについて



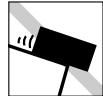
印刷中もしくはカッター作動中にテープ出口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。



その他



本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをすることがあります。



電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



「テプラ」で得られるラベルについて



塩化ビニールのように可塑性入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



テープカートリッジ取り扱いについてのご注意

- テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。



- テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。



- テープカートリッジは直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。



テープカートリッジの回収およびリユース(再利用)について

当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。使用済みの「テプラ」テープカートリッジはお近くの「テプラ」取扱店の「回収BOX」までお持ちください。なお、「エコマーク商品」(ラベルにエコマークが表示されているテープカートリッジ)については、当社にてリユース(再利用)をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、お近くの「テプラ」取扱店の「回収BOX」までお持ちください。



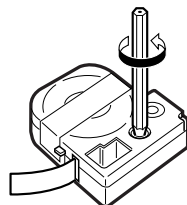
テープカートリッジをセットするときのご注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

■ セット前に、必ずインクリボンの「たるみ」をとる

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて「たるみ」をとってください。

インクリボンに「たるみ」があると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破けたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



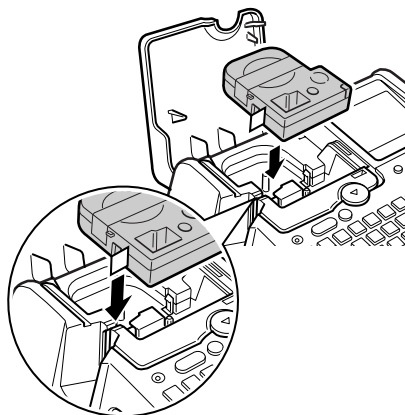
■ 正しく本機にセットする

テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。

正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。

新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミソに通します。

テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



■ セットした直後は必ず「テープ送り」をする (シフト + 印刷)

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンに「たるみ」が発生します。その「たるみ」を取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照 P.30 「5.テープ送りをする」

その他のご注意

- 本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。
- ACアダプタは、使い終わったら本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- ACアダプタ差込み口、テープ出口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
- 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。
- テープカートリッジは、必ずPテープマークのついた専用のテープカートリッジをご使用ください。
- 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに **印刷** を押ししたりすることはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
- テープ送りは、必ず **シフト** + **印刷** (=送り/カット)でおこなってください。無理に手で引っ張ったりすることは、絶対におやめください。テープ出口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
- テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
- キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
- テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。
- オートトリマーにはPテープマーク以外のラベルを差し込まないでください。
- オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 長時間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
- 長期間電池を入れたままにしておく、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。
- 本機では、文章やファイル、外字などのデータを保存するため、リチウム電池を内蔵しています。内蔵リチウム電池の交換は、本体裏面に貼り付けられているシールに記載してある交換時期を目安に、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。有料となります。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
- 取扱説明書に記載された内容・仕様・デザインなどは予告なく変更されることがあります。

●本書の使いかた

本書の構成

本書は次のような構成になっています。

準備編

本機を使用する前の準備作業について説明しています。

使いかた編

「使いかた編」には1・2があります。「使いかた編1」では、文字の入力からラベルの貼り付けまでの基本操作を説明しています。











「使いかた編2」では、段落の追加などテキスト画面での操作と、オートトリマーについて説明しています。初めて「テブラ」PRO シリーズをお使いになる方は、「使いかた編1」から順を追って読まれることをお勧めします。

機能編

ラベルの見栄えをよくする書式やスタイルなどの機能や、ファイル、あて名といった各種登録機能など、「テブラ」をさらに使いこなしていただくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。「使いかた編」の内容を十分に理解されたうえで読みみくださるようお願いいたします。

本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【 表 記 】	【 説 明 】
① 、 ②	操作の手順を示しています。
 、 	文字ボタンを示しています。
 、  、 	機能ボタンを示しています。
 、  、  、 	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
参照 	関連する事項の参照ページを案内します。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
!! 注意 !!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について：本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

目次

はじめに

- 安全上のご注意…必ずお守りください！ 1
 - テープカートリッジ取り扱いについての
ご注意 4
 - テープカートリッジをセットするときの
ご注意 5
 - その他のご注意 6
- 本書の使いかた 7
 - 本書の構成 7
 - 本書の見かた 7
- 目次 8
- 同梱品の確認 10
- 別売品のご案内 11
- 「テブラ」PRO SR520Xの特長 12
- まず、使ってみよう…
 - すぐ使いたい人のために 13
 - 1. 準備 13
 - 2. 電源を入れる 13
 - 3. 文字を入力する(例:伊藤) 13
 - 4. 文字の大きさ(文字サイズ)を
変えてみよう 14
 - 5. たて書きにしてみよう 15
 - 6. 印刷する 15
 - 7. ラベルを貼る 16
 - 8. 電源を切る 16

準備編

- 各部の名前とはたらき 18
 - 本機各部の名前(表) 18
 - 本機各部の名前(内部) 18
 - 本機各部の名前(裏) 19
 - 本機各部の名前(背面) 19
 - 操作パネルの名前とはたらき 20
- ディスプレイの見かたとはたらき 22
 - ディスプレイ(画面)の見かた 22
 - 表示の切り換え(みえ²) 24
- 使う前の準備 25
 - 1. ACアダプタを接続する 25
 - 2. 電池(別売)を入れて使用するときは 25
 - 3. テープカートリッジをセットする 27
 - 4. 電源を入れる 29
 - 5. テープ送りをする 30

使いかた編 1

- 手順どおりに作ってみよう
(文字入力～ラベルの完成まで) 32
 - 1. ひらがな・カタカナを入力する 33
 - 2. 「|」などを入力する 34
 - 3. 漢字を入力する 35
 - 4. 英数字を入力する 37
 - 5. スペースを入力する 38
 - 6. 記号を入力する 39
 - 7. 印刷イメージを確認する
(プレビュー) 41
 - 8. 印刷する 42
 - 9. ラベルを貼る 43
- 使い終わったら(電源を切る) 44

使いかた編 2

- 文章を作る 46
 - カーソルボタンの使いかた 46
 - 文章を入力する 46
 - 文字を削除/挿入する 47
 - 削除した文字をもとに戻す(復活) 47
 - すべての文章を消去する 48
- 行を増やす(改行) 49
 - 新しい行を作る 49
 - 文字を次行に移動する 50
 - 改行を取り消す 50
- 段落を増やす(改段落) 51
 - 新しい段落を作る 52
 - 段落を分割する 52
 - 特定の段落を消去する 53
- カドを丸く仕上げる 54
 - オートトリマーのお手入れ 55

機能編

- ラベルの向きを変える(縦・横) 58
 - [縦・横]ボタンを使う 58
- ラベルの長さを整える(らく²) 60
- ラベルの見栄えをよくする
～装飾機能を使おう～ 61
 - 機能を指定する 62
- 文章書式のメニュー一覧 64
- 段落スタイルのメニュー一覧 65
- 文字モードのメニュー一覧 68
 - 機能の説明(文章書式) 70
 - 機能の説明(段落スタイル) 73
 - 機能の説明(文字モード) 76

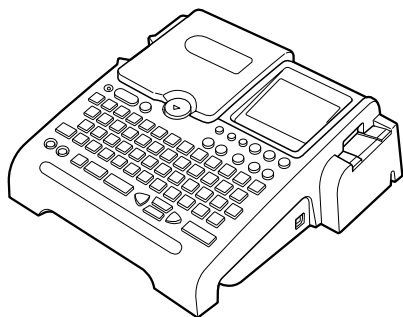
● デザインされたラベルを呼び出す (フォーム)	80
ラベルの作りかた	80
フォーム/特殊フォームメニュー一覧	82
フォーム見本	83
● 文章を呼び出す・登録する	90
[ファイル]ボタンを使う	90
ファイルとは	91
ファイルを登録する	92
ファイルを呼び出す	93
ファイルを消去する	94
ファイルを複写する	95
● あて名や語句を登録する (あて名 / 辞書) ..	96
あて名ラベルを作る	96
あて名を登録する	96
あて名を修正する	98
あて名を消去する	98
あて名を複写する	99
あて名ラベルを印刷する	100
カスタマバーコードについて	102
変換できない語句を登録する (辞書の登録)	104
登録した語句を呼び出す	105
登録した語句を修正する	105
登録した辞書を消去する	106
● 名前ラベルを作る	107
名前メニュー一覧	107
名前を登録する	108
名前を修正する	109
名前を消去する	110
名前ラベルを印刷する	111
● 外字を使う	113
外字を作成し、登録する	115
外字を修正する	116
外字を呼び出す	116
外字を複写する	117
外字を消去する	117
外字を参照作成し、登録する	118
● 読みのわからない漢字を入力する	119
漢字検索メニュー一覧	119
部首・画数による漢字検索	120
コードで入力する	121
● 連番やバーコードを印刷する	122
連番/バーコードメニュー一覧	122
連番を印刷する	123
バーコードを印刷する	125
● 特殊な印刷 (そく ² 、でか ²)	127
特殊印刷メニュー一覧	127
同じラベルを連続して印刷する (そく ²)	128
テープ幅より大きなラベルを作る (でか ²)	129
鏡文字を印刷する	131
● 「自動カットなし」で印刷	132
「自動カットなし」にする	132
● 各種の初期値 (保存値) を設定する	133
環境設定メニュー一覧	134
保存値を変更する	135
保存値を初期設定値に戻す	135
● 印刷濃度を調整する	136
● ディスプレイの濃度を調整する	137
● 本機を初期化する	138
初期化する	139
● デモ印刷をする	140

付録

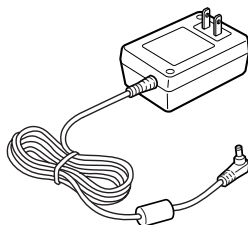
● メニュー一覧	142
記号メニュー一覧	142
テープ送りメニュー一覧	144
消去メニュー一覧	144
● テープカートリッジを使いわける	145
● こんな表示が出たときは	146
エラーメッセージが表示されたときは ..	146
● 故障かな?と思ったら	149
● お手入れについて	152
ヘッド・クリーニングテープ(別売) を使う	153
● 入力文字一覧表	154
文字ボタン配列	154
入力文字表	154
● 漢字変換表	155
JIS第1水準	155
JIS第2水準	159
その他	162
● 部首一覧表	163
部首一覧表	163
● 記号一覧表	173
● ローマ字変換表	178
● おもな仕様	179
● 索引	182
● アフターサービスについて	188

●同梱品の確認

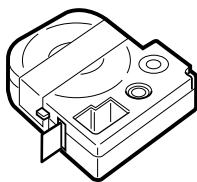
同梱品がすべてそろっているか、確認してください。



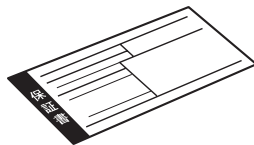
「テプラ」PRO SR520X本体



ACアダプタ (AC1116J)



試用PROテープカートリッジ
(18mm幅)



保証書 (箱の側面に添付)



SR520X取扱説明書 (本書)



PCラベルソフト取扱説明書



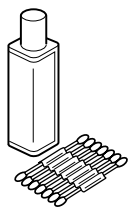
PCラベルソフト (SPC9C)

MEMO

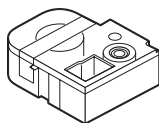
本機にはパソコン接続用のUSBケーブルは同梱されていません。パソコン接続には市販のUSBケーブルをご使用ください。
ケーブルはA-Bタイプです。

●別売品のご案内

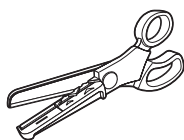
本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。



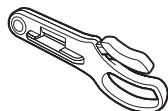
ヘッド・クリーニングキット(RC15)
印刷ヘッド専用クリーニング液です。



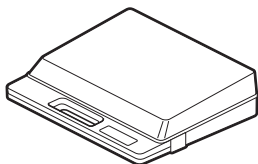
ヘッド・クリーニングテープ(SR24C)
テプラ本体のヘッドクリーニング用のテープです。



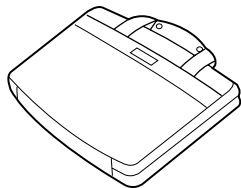
トリマー(RT36W)
ラベルのカドを丸くカットし、ラベルをはがれにくく、見た目にも美しく仕上げるハサミ型トリマーです。4～36mm幅のラベルの「カド丸」加工が可能です。ラベルの前後余白調整にも便利です。



ハーフカッター(RH24)
ラベルの印刷面にスリットを入れて、ラベルの裏紙をはがしやすくします。



システムトランク(SR9BTN)
耐衝撃性に優れたトランクです。「テプラ」PRO 本体をはじめ、テープカートリッジ、同梱品、別売品などを一括して持ち運び、また保管することができます。



システムバッグ(SR8B)
「テプラ」PRO 本体とテープカートリッジ、取扱説明書などが収納可能です。ウレタン・ボンディング・ナイロンを使用しており、クッション性に優れています。

MEMO

詳細については、当社ホームページ(アドレス <http://www.kingjim.co.jp/>)をご覧くださいか、またはお買い上げ販売店、「テプラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。

参照 P.188 「アフターサービスについて」

●「テブラ」 PRO SR520Xの特長

■「JIS第2水準漢字」をすべて搭載。

使用できる文字として、JIS第1水準、第2水準漢字を全文字搭載。さらにその他漢字も132文字追加。人名、地名などの特殊な漢字にも対応できます。

■人名・地名に強い、優れた「漢字変換辞書」！

豊富な搭載漢字を有効に活かす「漢字変換辞書」。人名・駅名・地名などの固有名詞を幅広くカバーした漢字辞書を内蔵しています。珍しい人名や地名などの変換がスムーズです。

■部首からの漢字検索で簡単入力

部首や画数による漢字検索機能を内蔵しているので、読みかたのわからない漢字も簡単に入力できます。

■オートカッターで手間いらず！

印刷が終わると自動的にラベルをカットするオートカッター装備。多量にラベルを印刷するとき便利です。

※一部対応できないテープがあります。

■オートトリマーでカド丸仕上げ

ラベル(9~24mm幅)のカドを丸く仕上げるオートトリマーを装備。ラベルがハガレに強く美しい仕上がりになります。

※一部対応できないテープがあります。

■豊富な記号、イラスト

さらに記号が充実。「お店」や「建設」、「学校」、「病院」など、カテゴリ別の記号を用意しました。加えて、2文字分で表現する「イラスト」についても、同様の分類で用意しました。

■120種の外枠・4種の表組みがラベルを演出

太枠・丸囲み・点線からイラスト付きの「飾り外枠」まで、85種の基本外枠のほか、「お店」や「建設」、「学校」、「病院」のカテゴリに分類した外枠をさらに35種類用意しました。外枠を利用して手軽に仕上がり感を演出できます。また、4種の表組みで簡単に表組みラベルが作れます。

■選べる漢字3書体+かな5書体+英数5書体

明朝体・ゴシック体・行書体の基本書体に加え、かな書体にはさらにえれん・ハッピーを加えた5書体を搭載！英数書体では明朝体・ゴシック体・行書体・HV体・BR体の5書体を装備。用途に合わせ、表現力が広がります。




●まず、使ってみよう…すぐ使いたい人のために

1. 準備

- ① ACアダプタを本機に接続する
参照 P.25 「1.ACアダプタを接続する」
- ② テープカートリッジをセットする
参照 P.27 「3.テープカートリッジをセットする」

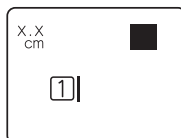
2. 電源を入れる

- ① を押す
タイトルが表示され、設定されている入力状態が表示されたあと、行頭マーク①とカーソルが表示されます。








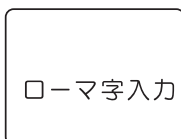
MEMO

より詳しい説明については、P.29「4.電源を入れる」を参照してください。



3. 文字を入力する(例：伊藤)

- ① を押して、「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ
- ② 文字ボタンを次のように押す
「ローマ字入力」の場合：
「かな入力」の場合：
「いとう」と表示されます。入力後のひらがなはネガ表示されています。
- ③ 「伊藤」が表示されるまで を押す
- ④ を押す
「伊藤」が確定し、行頭マークが①に変わります。同時に、ラベルの長さや印刷イメージが表示されます。



MEMO

より詳しい説明については、P.32「手順どおりに作ってみよう」を参照してください。




4. 文字の大きさ(文字サイズ)を変えてみよう




伊藤



伊藤

- ①  を押す
段落スタイルメニューが表示されます。

段落スタイル
縦・横
文字サイズ
割付け

- ②   で「文字サイズ」を選び  を押す




段落スタイル
縦・横
文字サイズ
割付け

- ③   で「1行」を選び  を押す

文字サイズ
自動
1行
2行

- ④   で「 中1c」を選び  を押す

1行
大 1b
中 1c
小 1d

- ⑤   で「終わり?」を選び  を押す

段落スタイル
外枠・表組
終わり?

- ⑥   で「この文章」を選び  を押す

有効範囲は?
この文章
この段落

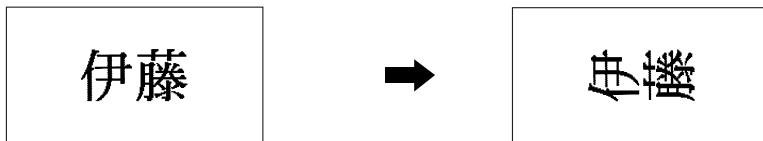
文字の大きさが変更されます。

X.X
cm 伊藤
1 伊藤

MEMO

より詳しい説明については、P.61「ラベルの見栄えをよくする」を参照してください。

5. たて書きにしてみよう



1 縦横を押す

「たて書き」と表示され、文字がたて書きのラベルになります。

たて書き

X.X
cm

伊藤

1 伊藤 |

MEMO

より詳しい説明については、P.58「ラベルの向きを変える(縦・横)」を参照してください。

6. 印刷する

1 シフトを押しながら(みえ)(=プレビュー)を押す

印刷のイメージが流れるように表示されます(プレビュー)。

伊藤

2 印刷を押す

画面に、印刷されるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷がはじまります。印刷が終了すると、テープが自動カットされて出てきます。

テープは絶対に手で引っ張らないでください。

長さ X.Xcm
幅 xxmm

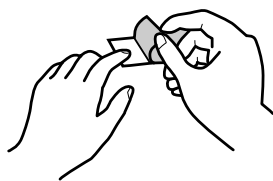
1 枚

MEMO

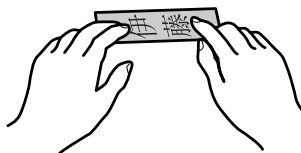
より詳しい説明については、P.42「8.印刷する」を参照してください。

7. ラベルを貼る

- ① 裏紙をはがす



- ② しっかりとこすって貼り付ける



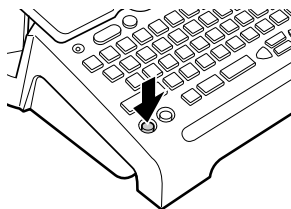
MEMO

より詳しい説明については、P.43「9.ラベルを貼る」を参照してください。

8. 電源を切る

- ①  を押す

- ② ACアダプタ(AC1116J)をはずす



MEMO

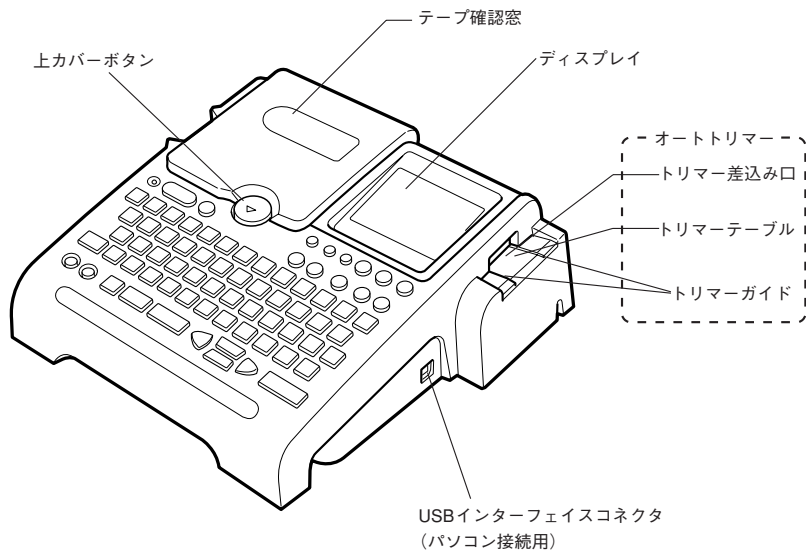
より詳しい説明については、P.44「使い終わったら〈電源を切る〉」を参照してください。

準備編

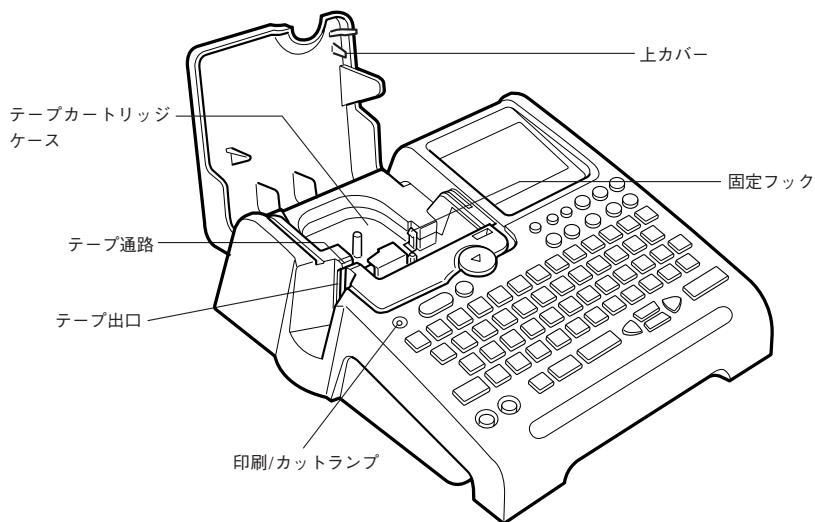
本機にACアダプタを接続し、電源を入れます。
本機をはじめてお使いの方は、ここからお読みください。

●各部の名前とはたらき

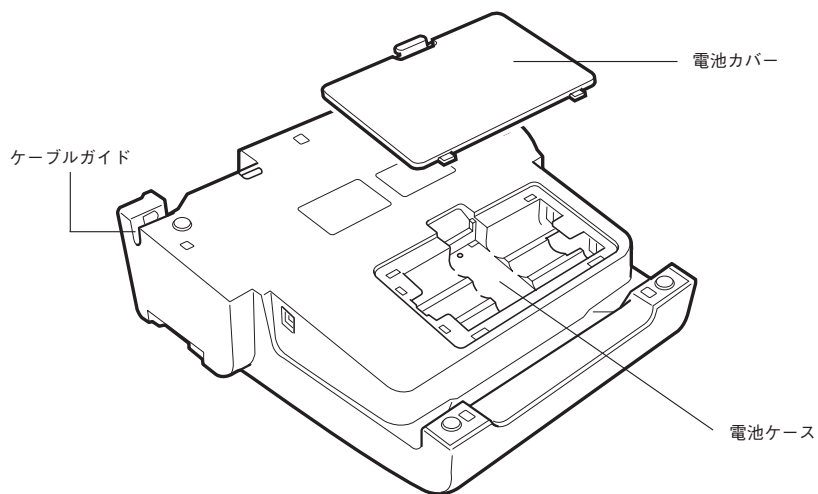
本機各部の名前(表)



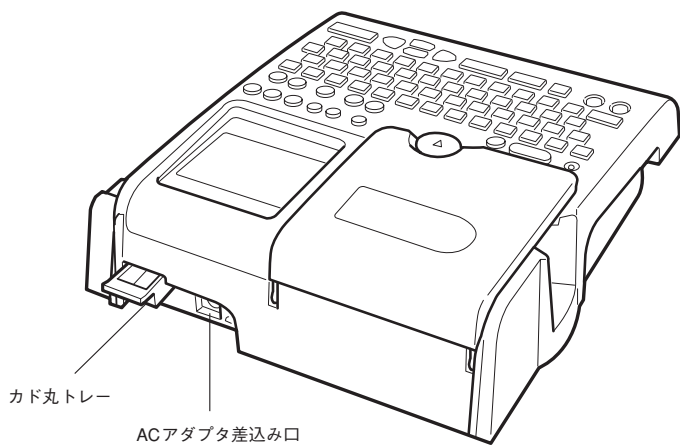
本機各部の名前(内部)



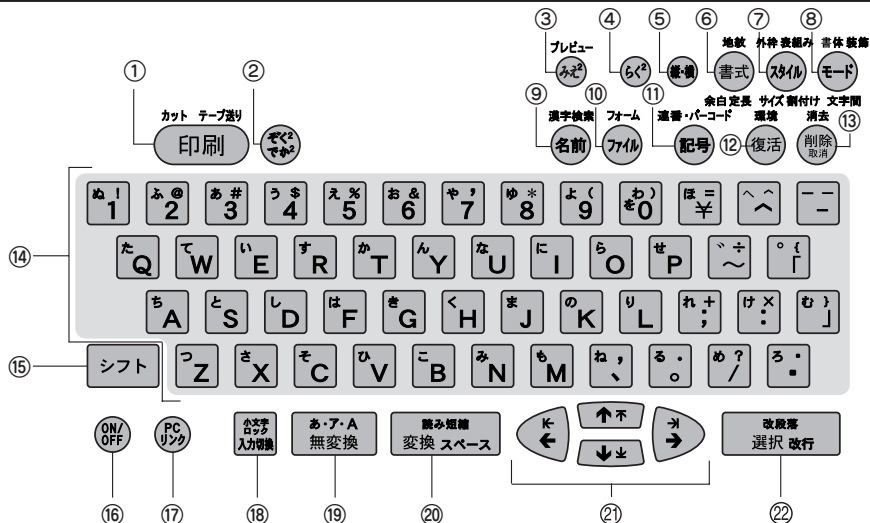
本機各部の名前(裏)



本機各部の名前(背面)



操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。**シフト**+**■**となっている表記は、**シフト**を押しながらそのボタンを押したときの機能です。

① **印刷** (印刷)

入力した文章をテープに印刷し、テープを自動的にカット(オートカット)します。

参照 [P.42](#)

シフト+**印刷**(=送り/カット)

テープを約17mm空送りしたり、カットします。

参照 [P.30](#)

② **特殊印刷**

連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷をします。

参照 [P.127](#)

また、印刷後に自動カットをしない印刷を実行できます。参照 [P.132](#)

③ **みえ** (みえ²)

テキスト画面の表示を切り換えます。参照 [P.24](#)

シフト+**みえ**(=プレビュー)

印刷イメージ全体を流れるように表示して確認することができます。

参照 [P.41](#)

④ **らく²**

文字サイズを自動に設定しているとき、カーソルのある段落の文字サイズを「らく²」または「均等」に切り換えます。参照 [P.60](#)

⑤ **縦・横**

たて書き/よこ書きを切り換えます。

参照 [P.58](#)

⑥ **書式** (文章書式)

印刷時のラベルの長さ、余白、地紋を指定します。これらを「文章書式」と呼びます。

⑦ **段落スタイル**

たて書き/よこ書き、文字の大きさ、割付け、外枠・表組みを指定します。これらを「段落スタイル」と呼びます。

⑧ **文字モード**

書体、飾り字や伸縮や囲み・網などの各種装飾、文字間を指定します。これらを「文字モード」と呼びます。

⑨ **名前** (名前)


名前の登録・印刷をおこないます。

参照 [P.107](#)



シフト+**名前**(=漢字検索)


読みのわからない漢字を検索します。

参照 [P.119](#)


⑩  (ファイル)

作成した文章を保存したり、あて名、辞書を登録します。参照  P.90


 +  (=フォーム/特殊フォーム)

デザインフォームや特殊フォームの呼び出しをおこないます。参照  P.80

⑪  (記号)

記号の入力や外字の登録・呼び出しなどをおこないます。参照  P.39



 +  (=連番/バーコード)

連続番号やバーコードの入力をおこないます。参照  P.122

⑫  (復活)


削除した文字や文章をもとに戻します。

参照  P.47

 +  (=環境設定)

画面の表示濃度や印刷の濃度、各種保存値を変更します。参照  P.134


⑬  (削除、取消)

カーソル位置(カーソルの左側)の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。参照  P.47

 +  (=消去)

段落や文章を消去します。参照  P.48、53

⑭ 文字ボタン(    など)

文字を入力します。参照  P.33

⑮  (シフト)

機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能が働きます。文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号などを入力できます。


⑯  (ON/OFF)

電源を ON/OFF します。参照  P.29



⑰  (PCリンク)


PCラベルソフト(SPC9)およびファイル転送ソフト(SDM9)使用時に、本機をパソコンと接続する状態に切り換えます。

⑱  (入力切換)

入力状態を「ローマ字→かな→ABC」の順で切り換えます。参照  P.33

「ABC入力」時のみ

 +  (=小文字ロック)

小文字入力状態に切り換えます。参照  P.37

⑲  (無変換)


ネガ表示のひらがなを、「ローマ字入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かな入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。



参照  P.33


 +  (=文字変換)

ネガ表示のひらがなを、「ローマ字入力」時は、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。「かな入力」時は、押すたびに「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。


⑳  (漢字変換、スペース入力)

ネガ表示のひらがなを漢字に変換します。ネガ表示の文字がないときは、スペースを入力します。漢字変換時は、次の変換候補を表示します。参照  P.35、38


 +  (=読み短縮)

漢字変換中、変換対象となる「読み」を短縮します。参照  P.36


㉑  (カーソルボタン)

カーソルや選択候補を上下左右に移動します。参照  P.46


 +  (=カーソルジャンプ)

カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。参照  P.46

㉒  (選択、改行)

機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。ネガ表示の文字がないときは、新しい行を作ります(改行)。参照  P.33、49

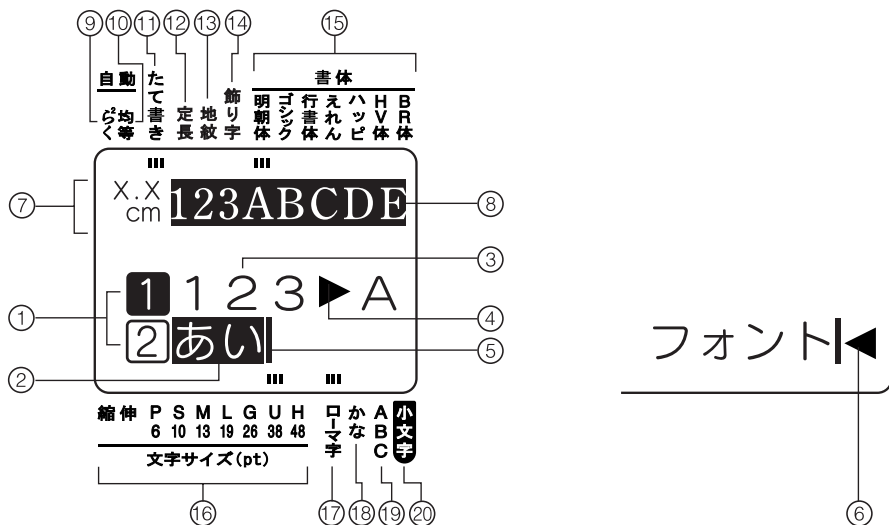
 +  (=改段落)

新しい段落を作ります。参照  P.52

●ディスプレイの見かたとはたらき

ディスプレイ(画面)の見かた

〈テキスト画面〉



① 行頭マーク(1 2...☒, 1 2...☒)

行頭に表示され、その行が何行目かを表示します。**1 2**はその行に印刷できる文字が入力されていることを表し、**1, 2**はその行に文字がまだ入力されていない(確定していない)ことを表しています。**☒, ☒**は印刷できない行を表しています。**☒**が表示されているときは、印刷することはできません。参照 P.49

② ネガ文字(例: あい)

仮確定の文字でネガ表示されます。**変換スペース**ボタンで漢字に、**無変換**ボタンでひらがな、カタカナ、英数字に変換できます。ネガ表示の文字は印刷されません。

③ 確定文字(例: 12AB)

入力が確定した文字で、印刷することができます。

④ 文字モード指定マーク(▶)

文字、行、段落単位で、書体、飾り字などの文字モードを変更すると表示されます。

参照 P.63

⑤ カーソル(|)

操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入したり削除することができます。参照 P.46

⑥ フルメモリーマーク(◀)

入力可能文字数(約175文字)をオーバーして、これ以上文字が入力できないときに表示されます。

⑦ 印刷情報

セットされているテープ幅と印刷したときの目安の長さを表示します。「みえ²」の設定によっては表示されないこともあります。

参照 P.24

⑧ 印刷イメージ

印刷したときのイメージを表示します。「みえ²」の設定によっては表示されないこともあります。参照 P.24

- ⑨ **自動/らく²インジケータ**
文字サイズが「自動-らく²」に指定されているときに点灯します。
- ⑩ **自動/均等インジケータ**
文字サイズが「自動-均等」に指定されているときに点灯します。
- ⑪ **たて書きインジケータ**
「たて書き」が指定されているときに点灯します。
- ⑫ **定長インジケータ**
定長印刷が指定されているときに点灯します。
- ⑬ **地紋インジケータ**
地紋印刷が指定されているときに点灯します。
- ⑭ **飾り字インジケータ**
カーソル位置の文字に飾り字が指定されているときに点灯します。
- ⑮ **書体インジケータ**
カーソル位置の文字に対応した書体が点灯します。
- ⑯ **文字サイズインジケータ**
カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケータが点灯します。
数字はポイント数を表しています。
*1ptは約1/72インチ(約0.35mm)です。
- ⑰ **ローマ字入力インジケータ**
「ローマ字入力」状態のときに点灯します。
- ⑱ **かな入力インジケータ**
「かな入力」状態のときに点灯します。
- ⑲ **ABC入力インジケータ**
「ABC入力」状態のときに点灯します。
- ⑳ **小文字入力インジケータ**
シフトボタンを押しているときや、小文字入力状態のときに点灯します。参照 **字P.37**

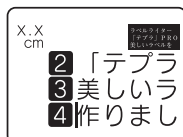
表示の切り換え（みえ²）

本機では、入力した文章や印刷イメージ、できあがるラベルの長さや幅を確認しながら入力することができます。

○**みえ¹**を押すと、次のようにディスプレイの表示が切り換わります。

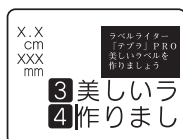
<みえ¹>（初期設定値）

初期設定値では、入力した文章が3行まで表示されます。
印刷イメージのほか、ラベルの長さも表示されます。



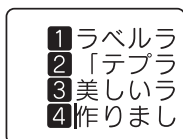
<みえ²>

入力した文章が2行まで表示されます。おおまかな印刷イ
メージのほか、ラベルの長さや幅なども表示されます。



<みえ³>

入力した文章のみ4行表示します。多行入力時などに便
利です。



!! 注意 !!

- みえ¹** ボタンでディスプレイが切り換わるのは、テキスト画面のときだけです。メニュー画面や漢字変換候補の表示中に○**みえ²**を押しても、ディスプレイは切り換わりません。
参照 P.22 「ディスプレイ（画面）の見かた」
- 広い幅のテープや入力した内容によっては、「みえ²」表示の反応が遅くなることがあります。

MEMO

- シフト**を押しながら○**みえ²**（=プレビュー）を押すと、ディスプレイ全体に印刷イメージを流れるように表示します。
参照 P.41 「7.印刷イメージを確認する（プレビュー）」
- ディスプレイが見えにくいときは、表示濃度を調整することができます。
参照 P.137 「ディスプレイの濃度を調整する」

●使う前の準備

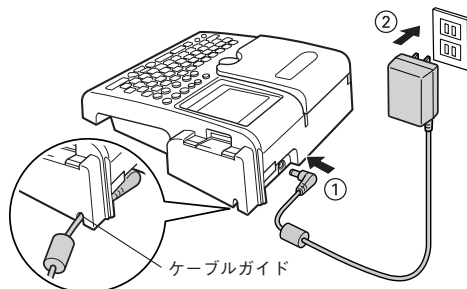
1. ACアダプタを接続する

同梱のACアダプタ(AC1116J)で、家庭用コンセント(AC100V)から電源を取ります。

- 1 ACアダプタのプラグを本機奥面のACアダプタ差込み口にしっかりと差し込み、ケーブルガイドを通す

※差し込みが不十分ですと電源が入らない場合があります。

- 2 ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む



!! 注意 !!

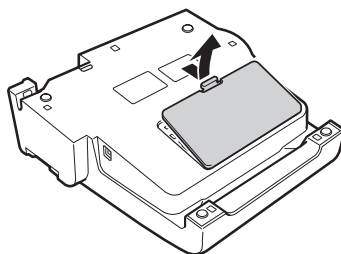
- 使い終わったらすぐにACアダプタを本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどにより、安全機能がはたらきACアダプタの回路が遮断されることがあります。
- ACアダプタは保証対象外です。

2. 電池(別売)を入れて使用するときは

本機に単3アルカリ乾電池6本をセットします。外出先などでACアダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷することもできます。

- 1 電池カバーをはずす

レバーを手前に引きながら電池カバーを持ち上げます。

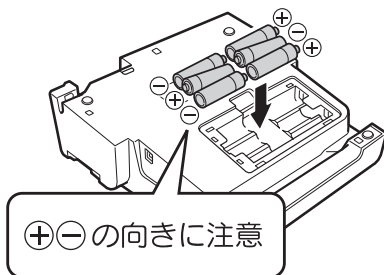


!! 注意 !!

必ず、電源を切ってからおこなってください。

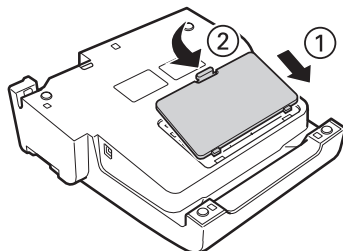
2 電池を入れる

電池の向きに注意して、単3アルカリ乾電池6本を入れます。



3 電池カバーをはめる

電池カバーの手前の突起を本機のカバーに合わせ、「パチン」と音がするまでしっかりカバーをはめます。



!! 注意 !!

- 本機には単3アルカリ乾電池をお使いください。その他の乾電池を使用したときは、乾電池の寿命が短い、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことがあります。
- 電池でも印刷できるだけの電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
- ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ (AC1116J)をお使いください。

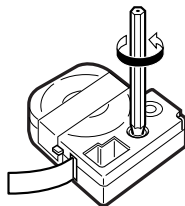
MEMO

- 電池での印刷の場合、ACアダプタ使用時より印刷スピードが遅くなります。
- 広い幅のテープに大きな文字を印刷する場合、一時的に大量の電力が消費されるため、新品の電池でも「電池を交換!」と表示されることがありますが、故障ではありません。
- 電池が消耗すると、印刷スピードが遅くなります。さらに使い続けるとディスプレイに「電池を交換!」と表示されます。直ちにすべての電池を新しい単3アルカリ乾電池(6本)に交換するか、ACアダプタ (AC1116J)をお使いください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。
- 新品の単3アルカリ乾電池(6本)では、常温で18mm幅のテープカートリッジ(8m)を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、幅広テープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。できるだけACアダプタをお使いください。ACアダプタを使用する際は、必ず専用のACアダプタ (AC1116J)をお使いください。
- ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。
- 本機では、文章やファイル、外字などのデータを保存するため、リチウム電池を内蔵しています。内蔵リチウム電池の交換は、本体裏面に貼り付けられているシールに記載してある交換時期を目安に、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。有料となります。

3. テープカートリッジをセットする

1 インクリボンの「たるみ」を取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、「たるみ」をとってください。

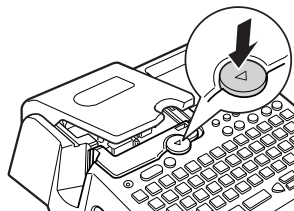


2 上カバーボタンを押す

上カバーボタンを押すと、上カバーが少し開きます。

!! 注意 !!

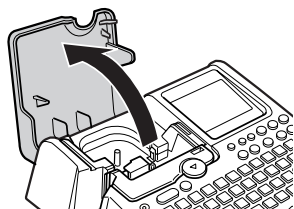
必ず、電源を切ってからおこなってください。



3 上カバーを開ける

!! 注意 !!

- 上カバーはストッパーで止まります。無理に開けないでください。
- 上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。

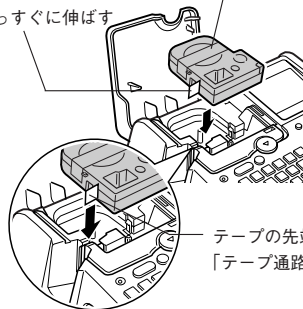


4 テープカートリッジをセットする

セットするテープカートリッジを、ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。

テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミンに通します。

テープの先端をまっすぐに伸ばす



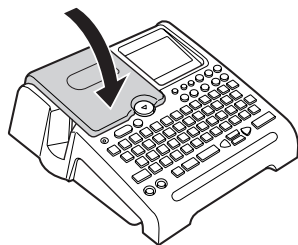
テープの先端を「テープ通路」に通す

5 上カバーを閉じる

上カバーを指で軽く押し閉じます。

!! 注意 !!

テープカートリッジをしっかり押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。

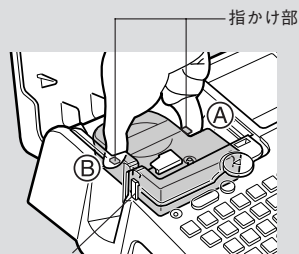


MEMO

テープカートリッジの取り出しかた

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本体にしっかりと固定されています。取り出すときは、次の手順でカートリッジ側面の指かけ部に指をかけて取り出します。

- ① A側の指かけ部を上を持ち上げ固定フックをはずします。
- ② B側の指かけ部を上を持ち上げ固定フックをはずし、カートリッジを取り出します。



固定フック
(両側にあります)

!! 注意 !!

- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mmの6種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。

参照 P.49 「テープ幅と印刷できる行数」

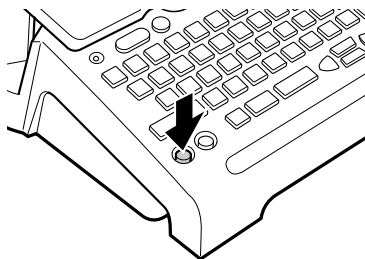
- テープカートリッジは、直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- テープカートリッジは奥までしっかりセットしてください。

4. 電源を入れる

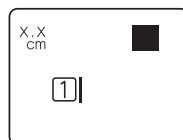
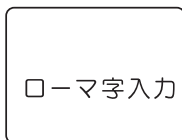
電源を入れる前にもう一度確認してください。

- ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？
- 電池は正しくセットされていますか？(電池で使用する場合)

1  を押す



電源が入るとタイトル画面が表示されます。



※設定されている入力状態が
約1秒間表示されます。


※行頭マーク(1)とカー
ソル (I)が表示されます。

すでに文章が入力されているときは、タイトル画面のあとに文章が表示され、指定されている機能のインジケーターが点灯します。

参照  P.22 「ディスプレイ(画面)の見かた」

MEMO

オート・パワーオフ

電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます(電源が切れても入力した文章はなくなりません)。 をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

外字データの作成・修正をしているとき、またはACアダプタを使ったPCリンクの状態では、オート・パワーオフ機能は働きません。

電源を切ると、オート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。使わないときはこまめに電源を切るようにしましょう。

5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープの「たるみ」を取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

- ① **シフト**を押しながら **印刷** (=送り/カット)を押す
「送り/カット」メニューが表示されます。

送り/カット
テープ送り
送りカット
カット

- ② **↑** **↓** で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ

- ③ **選択**を押す
「テープ送り」の場合はテープが約17mm空送りされます。
「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます。

!! 注意 !!

「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンの「たるみ」が取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

つづいて

ラベルを作る準備が整いました。それでは、実際にラベルを作ってみましょう。

参照  P.32 「手順どおりに作ってみよう」

使いかた編 1

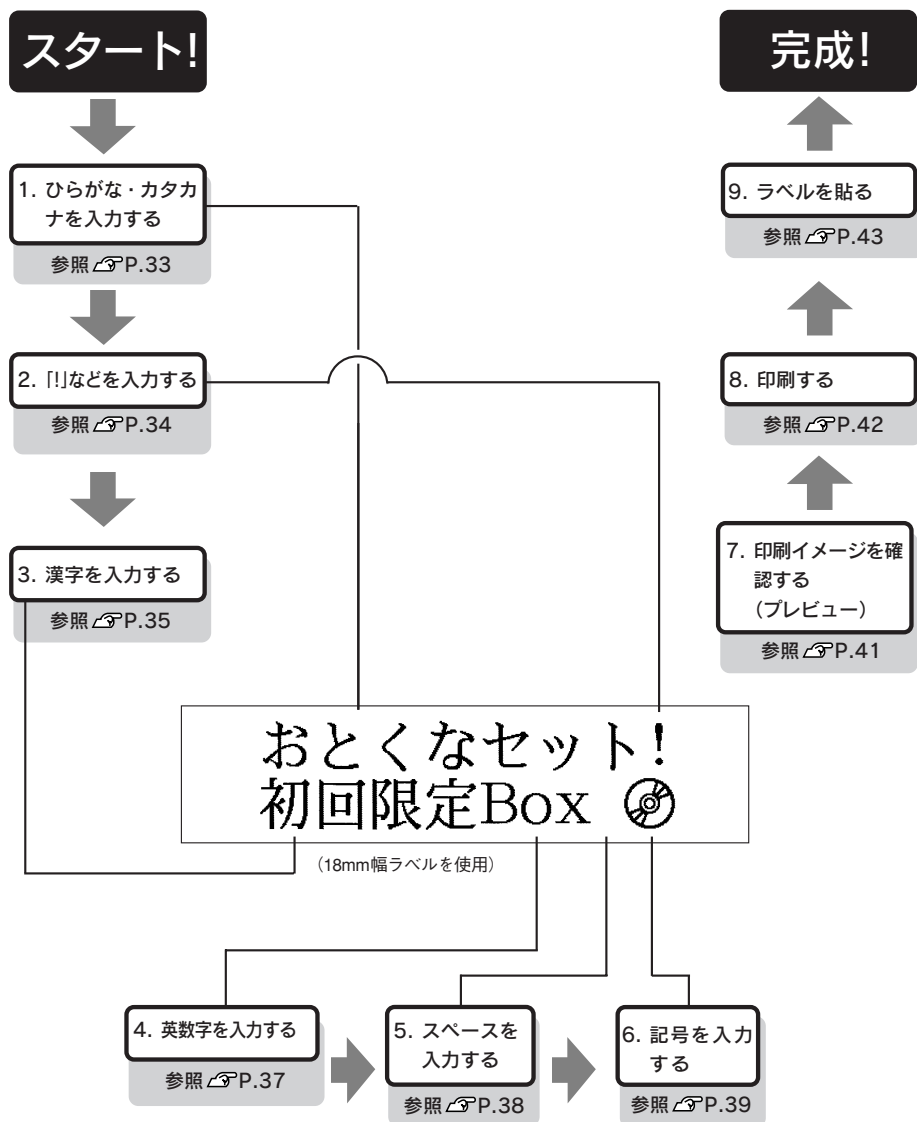
～簡単なラベルを作ろう～

最初に簡単なラベルを作ってみましょう。
文字入力、印刷など「テプラ」の基本操作を確認してください。


●手順どおりに作ってみよう(文字入力～ラベルの完成まで)

以下のサンプルラベルを、手順どおりに作ると基本的な操作がカンタンに覚えられます。

使いかた編 1



本機の準備ができたなら、まずサンプルラベルを作って基本的な操作を覚えましょう。

■ それではスタート! 

1. ひらがな・カタカナを入力する

読みを入力してから **無変換** を1回押すとひらがなに、**無変換** を2回押すとカタカナになります。

例：

ここを入力します

おとくなセット!
初回限定Box 

1 **入力** を数回押して「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ

ローマ字入力

かな入力

2 「おとくな」を入力する

ローマ字入力： **o** **t** **o** **k** **u** **n** **a**

かな入力： **お** **と** **く** **な**

X.X
cm
1 おとくな

「おとくな」が仮確定文字としてネガ表示されます。

3 **無変換** を押し、**選択** で確定する

X.X
cm
1 おとくな

「おとくな」が確定します。行頭マークは**1**から**1**に変わります。

4 「せつと」を入力する

ローマ字入力： **s** **e** **t** **t** **o**

かな入力： **せ** **つ** **と**

X.X
cm
1 くなせつと

5 **無変換** を2回押し、**選択** で確定する

X.X
cm
なセット
1 くなセット

「セット」が確定します。

MEMO

- ローマ字入力の場合、**無変換** を3回押すと英字になります。また、**シフト** を押しながら **無変換** を押すと、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」に変わります。
- ボタンを押しまちがえたときは、**削除** ボタンで文字を消し、正しい文字ボタンを押しなおします。
- 無変換やカタカナ変換・アルファベット変換は、カーソル位置までのネガ文字に対して有効です。カーソル位置より後ろのネガ文字は、変換できません。
- 無変換** ボタンで変換した直後なら、**復活** ボタンで変換前のネガ表示に戻すことができます。
- 無変換やカタカナ変換・アルファベット変換を確定する最後の **選択** ボタンは省略できます。変換したあと、続けて次の文字を入力すれば、前の文字は自動的に確定します。
- 無変換** ボタンを省略し、**選択** だけを押すとネガ文字をひらがなに確定することができます。

特殊なひらがな・カタカナの入力方法

- ローマ字入力の場合
「を・ヲ」… **W** **O** を続けて押す
「ん・ン」… **N** を2回押す
「ゐ・ヰ」… **W** **I** を続けて押す
「ゑ・ヱ」… **W** **E** を続けて押す
- かな入力の場合
「を・ヲ」… **シフト** を押しながら **o** を押す
「ん・ン」… **v** を押す

参考

濁音や拗音の入力について

濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

	濁音(「ざ」「ば」など) 半濁音(「ぱ」など)	拗音(「ゃ」「ぁ」など) 促音(「っ')
ローマ字 入力	濁音・半濁音用のスペルで入力 します。 参照 P.178 「ローマ字変換 表」	次のいずれかの方法で入力します。 • 「きゃ」([Ⓚ] K [Ⓨ] Y [ⓐ] A) などのように前の文字と組 み合わせたスペルで入力する。 参照 P.178 「ローマ字変換表」 • 促音「っ」は、直後の文字の子音を2つ重ねる。 例: [Ⓢ] S [ⓐ] A [Ⓚ] K [Ⓚ] K [ⓐ] A … 「さっか」 • [Ⓛ] L を押してから通常の文字ボタンを押す。 例: [Ⓛ] L [Ⓣ] T [Ⓤ] U … 「っ」 [Ⓛ] L [ⓐ] A … 「あ」
かな入力	仮確定の清音の後に、 [゛] や [゜] を入力します。	^{シフト} を押しながら文字ボタンを押します。

2. 「!」 などを入力する

操作パネルに表記された表記号「!」「*」「.」などは、^{シフト} を押しながら該当する文字ボタンを押して入力します。

例：

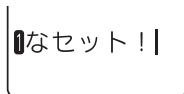


1 ^{入力初期} を数回押して「ローマ字入力」または「ABC入力」を選ぶ



2 「!」を入力する

^{シフト} を押しながら [Ⓛ]L を押します。
「!」が確定された状態で入力されます。



3 ^{選択 改行} を押して改行する



MEMO

文字ボタンに表記された数字や英記号「¥」「~」「/」は、「ローマ字入力」または「ABC入力」であれば、文字ボタンを押して入力できます。「かな入力」の状態では入力できない文字があるので、その場合は「ローマ字入力」または「ABC入力」に切り換えてください。

3. 漢字を入力する

「読み」を入力したあと、**変換スペース**を押すと漢字に変換できます。

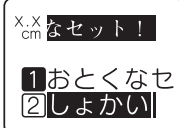
例：

ここを入力します

おとくなセット!
初回限定Box 

1 「しょかい」を入力する

ローマ字入力：**o s** **h o** **p k** **b a** **e i**
かな入力：**し** **よ** **か** **い**



「しょかい」がネガ表示されます。

2 変換スペースを押す

1番目の候補が点滅します。



変換スペースを押すたびに、候補が次々と表示されます。熟語と単漢字の両方の候補があるときは、熟語から先に表示されます。

3 「初回」が点滅表示されている状態で

選択改行を押す

「初回」が確定します。



4 「げんてい」を入力する

ローマ字入力：**g e** **n n** **t e** **e i**
かな入力：**げ** **ん** **て** **い**



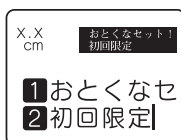
5 変換スペースを押す

1番目の候補が点滅します。



6 選択改行を押す

「限定」が確定します。



MEMO

- 操作手順②で漢字の候補が表示されているときに、**無変換** (または **←** **→**) を押すと、前の候補が順番に表示されます。
← **→** **↓** **↑** のボタンは、押し続けると表示が速くなります。**シフト** を押しながら **→** **↓** を押すと一番最後の候補が、**シフト** を押しながら **←** **↑** を押すと一番最初の候補が表示されます。
 - 一度選択した語句は、次回から優先して一番最初に表示されるようになります(学習機能)。
 - 変換をやめるときは **削除** を押します。
- まちがえて確定してしまったら
文字を確定した直後なら **復活** ボタンで変換前のネガ表示に戻すことができます。

!! 注意 !!

- 一度に入力できる「読み」は30文字以内です。ただし、ディスプレイに表示されるのは、末尾6文字だけとなります。
- 長い「読み」を入力すると変換効率が悪くなったり、うまく変換できないことがあります。20文字程度を入力したらいったん漢字に変換し、そのあとで次の読みを入力してください。

参考

漢字の読みを短くする(読み短縮)

目的の漢字が変換した漢字候補の中に見つからないときは、**シフト**+**変換スペース**で漢字変換の対象とする「読み」を短くすることができます。

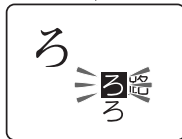
例：「ろくがつ」の読みを短くする

1 「ろくがつ」を入力して**変換スペース**を押す

1番目の候補が点滅します。

2 **シフト**を押しながら**変換スペース**を押す

押すたびに読みが短くなり、順に「ろくが」、「ろく」、「ろ」という読みの候補が表示されます。



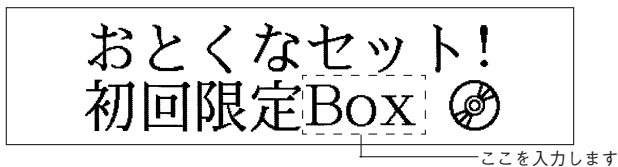
MEMO

- 変換を確定する最後の**選択**ボタンは省略できます。変換したあと、続けて次の文字ボタンを押すと、前の文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。
- **選択**ボタンで確定した直後であれば、**復活**ボタンで確定前の状態に戻すことができます。

4. 英数字を入力する

「ABC入力」「ローマ字入力」にすると直接英数字を入力できます。小文字の入力には`[シフト]`ボタンを使います。文字ボタンに表記された英記号「¥」「～」「/」なども文字ボタンを押して入力します。

例：



ABC入力するとき

- ① `[入力切替]`を数回押して「ABC入力」を選ぶ



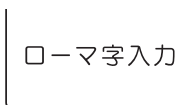
- ② 「Box」を入力する

`[B]`を押して、`[シフト]`を押しながら`[O]`、`[X]`を押します。「Box」が入力されます。



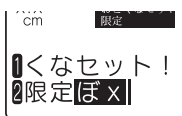
ローマ字入力するとき

- ① `[入力切替]`を数回押して「ローマ字入力」を選ぶ



- ② 「Box」を入力する

`[B]`を押して、`[シフト]`を押しながら`[O]`、`[X]`を押します。「ぼx」がネガ表示されます。



- ③ `[シフト]`+`[無変換]`を押してアルファベットに変換する


「Box」が入力されます。



MEMO

- 「ローマ字入力」で「読み」を入力した直後に`[無変換]`を押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。また、`[シフト]`を押しながら`[無変換]`を押すと、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
- 小文字ロック
「ABC入力」時に、`[シフト]`を押しながら`[入力切替]`を押すと、小文字入力状態に切り換わり、`[シフト]`を押していないときに小文字入力インジケータが点灯します。もとに戻す場合には、もう一度`[シフト]`を押しながら`[入力切替]`を押します。

5. スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「」(半角スペース)が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

例：




ここにスペースを入力します

1 ネガ文字がないことを確認する

2 を押す

半角スペースが入力されます。

1 なセット!
2 定BOX 

テキスト画面には「」が表示されますが、印刷時にはスペース(空白)として扱われ、印刷されません。

!! 注意 !!





ネガ文字があるときに  を押し、漢字に変換されます。

MEMO

「ローマ字入力」「かな入力」「ABC入力」のいずれでも半角スペースが入力できます。

参考

全角スペース

スペースには半角スペース()のほかに、全角スペース()があります。全角スペースは、印刷すると約1文字分の空白となります。全角スペースを入力するには、を押して表示される記号メニューから「編集」を選び、その中の「」を選択します。

ただし、「文字間」で「ピッチ」が「ピッチ固定」に指定されているときは、半角スペースでも約1文字分の空白として印刷されます。

参照  P.79 「文字間」


	テキスト画面	ピッチ自動で印刷	ピッチ固定で印刷
半角スペース	1 田中慶介	田中 慶介	田中 慶介
全角スペース	2 田中慶介	田中 慶介	田中 慶介

6. 記号を入力する

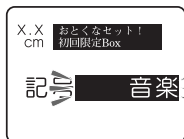
例 :


おとくなセット!
初回限定Box 

ここを入力します

1 を押す
「記号」メニューが表示されます。

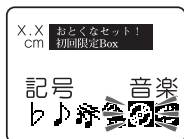
2  で「音楽」を選ぶ



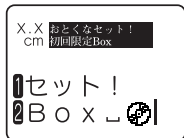
3 を押す
「音楽」の記号が表示されます。












4  で「」を選ぶ



5 を押す
「」が入力されます。



MEMO

- ネガ文字があるときは、ボタンで記号を入力することはできません。
- 記号の一覧は記号一覧表を参照してください。
参照  P.173 「記号一覧表」
- 操作を途中でやめるときは  または  を押してください。
- 一度選択した記号のメニューや記号は、次回から優先して一番最初に表示されるようになります(学習機能)。
- 記号メニューの「2桁数字」は、2桁で1文字となる数字を入力します。
参照  P.59 「たて書きで2桁の数字を印刷する」
- 記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下の働きをします。
 -  : 罫入力記号
縦罫線を入力します。
参照  P.75 「外枠・表組み」
 -  : 全角スペース
全角のスペースを入力します。
参照  P.38 「全角スペース」

「イラスト」を入力する

例：イラスト「**新製品**」

1 **記号**を押す

「記号」メニューが表示されます。



2 **↑** **↓**で「イラスト」を選ぶ



3 **選択**を押す

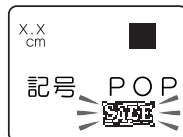
「イラスト」の項目が表示されます。



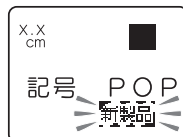
4 **↑** **↓**で項目「POP」を選ぶ

5 **選択**を押す

「POP」の候補が表示されます。



6 **↑** **↓**で項目「**新製品**」を選ぶ



7 **選択**を押す

「**新製品**」が入力されます。

MEMO

- ネガ文字があるとき、**記号**ボタンでイラストを入力することはできません。
- 操作を途中でやめるときは**記号**または**削除**を押してください。
- 横長のイラストは、たて書きには対応していません。

参照 P.176 「記号一覧表-イラスト」

7. 印刷イメージを確認する(プレビュー)







文字の入力が終わったら印刷します。印刷前に、印刷するイメージをディスプレイに表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

① テープカートリッジを正しくセットしているか確認する

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

② を押しながら (=プレビュー)を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。

イメージの表示中に       のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。

おとくな
初回限定

使いかた編
1

MEMO

プレビューを途中でやめるときは  または  を押してください。

!! 注意 !!

- プレビューが表示されるのは、テキスト画面・特殊フォーム入力時です。
- テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープ無し！」と表示されプレビューは表示されません。
- 本機では、16m以上のラベルは印刷できません。印刷結果が16mを超える文章を入力した場合、プレビューは表示されず、ディスプレイに「長さオーバー」のメッセージが表示されます。この場合は、いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻ってから、文字数を減らすか文字サイズの調整などをおこなってください。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー」が表示され、プレビューは表示されません。
- プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

8. 印刷する

印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、ACアダプタ(AC1116J)を正しく接続しているかを確認してください。

1 印刷を押す

「準備中」と表示された後、できあがるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。

長さ	7.5cm
幅	18mm
	1枚

印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。印刷を途中でやめるときは^(ON/OFF)を押してください。

MEMO

- 印刷中に^(ON/OFF)ボタンを押すと印刷を中止し、テープをカットした後に電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと、ディスプレイに印刷枚数が表示されます。
- 印刷枚数表示は、印刷内容(文字や書式など)を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。また、印刷枚数99枚の次は「100枚」その次は「1枚」と表示されます。
- 余白「極少、少なめ、自動少なめ」を指定すると、印刷前にテープがカットされます。4mm、6mm幅テープで余白を「自動多め」に指定した場合も、印刷前にテープがカットされます。
- テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 特殊印刷(連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷、自動カットなし)をおこなう場合は、^(STOP)ボタンで印刷します。

参照 P.127 「特殊な印刷(ぞく²、でか²)」

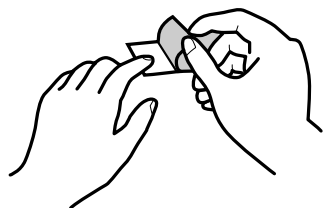
!! 注意 !!

- 反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベルは「自動カット」を無効で印刷し、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
参照 P.132 「「自動カットなし」で印刷」
参照 P.145 「テープカートリッジを使いわける」
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷を開始するまでの処理時間が長いことがあります。
- テープ出口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- ネガ文字は印刷されません。
- 印刷中に上カバーを開けると、保護回路のはたらきで電源が切れ印刷が中断します。印刷中には上カバーを開けないでください。
- テープ出口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープ無し!」が表示されます。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。
- 16mを超える印刷はできません。

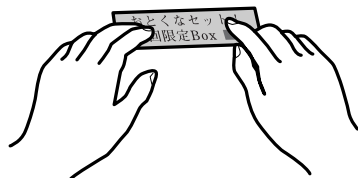
9. ラベルを貼る

印刷されたラベルの裏紙をはがして貼ります。

① 裏紙をはがす



② しっかりとこすって貼り付ける



MEMO

印刷したラベルのカドを丸くすることができます。

参照  P.54 「カドを丸く仕上げる」


!! 注意 !!

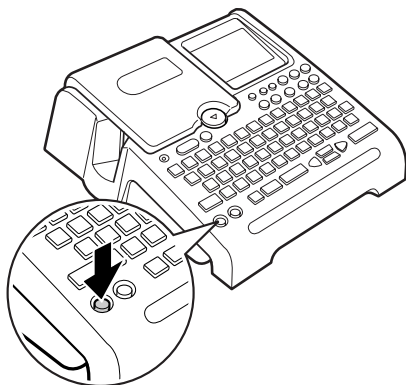
- ラベルの種類によっては、裏紙をはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするともとに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなったりすることがあります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにむやみにラベルを貼るのはやめましょう。
- 「テプラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

●使い終わったら 〈電源を切る〉

1 を押す

電源が入っている状態で  を押し、電源が切れます。電源を切っても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。再度電源を入ると、入力した文章が表示されます。



2 ACアダプタ(AC1116J)をはずす

ACアダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

!! 注意 !!

- 長期間使わないときは、電池、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。電池を取りはずしても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
- 本機では、文章やファイル、外字などのデータを保存するため、リチウム電池を内蔵しています。内蔵リチウム電池の交換は、本体裏面に貼り付けられているシールに記載してある交換時期を目安に、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。有料となります。

つづいて

以上で基本的な操作は終了です。続いて「使いかた編2」で複数行、複数段落のラベルを作りましょう。また、「機能編」では、さらにいろいろな機能が利用できるようになるので、楽しいラベルが作れます。

使いかた編 2

～目的にあったラベルを作ろう～

複数行のラベルにしたり、文章を段落に分けるなど、レイアウトを仕上げる機能を確認しましょう。

また「カド丸仕上げ」にするなど用途に合わせたラベルを作りましょう。

●文章を作る

入力した文章に文字を挿入したり、入力した文章を消去するなどの変更ができます。

カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「|」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入・削除する位置を表します。



カーソル

カーソルの移動にはカーソルボタン(← ↑ ↓ →)を使います。
本機のディスプレイには最大6文字×4行まで表示できます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソルボタン	カーソルの移動方向
	右方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	左方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	前(上)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
	次(下)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
	行頭へ移動します。 繰り返すと、前の行の行頭、さらに前の行頭……と移動します。
	行末へ移動します。 繰り返すと、次の行の行末、さらに次の行末……と移動します。
	段落の先頭へ移動します。 繰り返すと、前の段落の先頭、さらに前の段落の先頭……と移動します。
	段落の終わりへ移動します。 繰り返すと、次の段落の終わり、さらに次の段落の終わり……と移動します。

+ となっている表記は、 を押しながらそのボタンを押す操作です。

文章を入力する



文字はキーボードの文字ボタンで入力し、 を押して漢字などに変換します。



参照 P.32 「手順どおりに作ってみよう」

文字を削除/挿入する

文字の後ろ(右側)にカーソルを合わせ^{削除}を押すと文字が削除されます。

文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。

例：「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

1   で「期」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

1 定期点検実施

2 ^{削除} を2回押して「定期」を削除する

1 定期点検実施



1 点検実施

カーソル位置は行頭になります。

3 「特別」を入力する

1 特別点検

!! 注意 !!

挿入によって文字数が入力可能文字数(約175文字)をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク(◀)が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

MEMO

間違っ文字を削除した場合は、削除した直後なら^{復活}ボタンで復活できます。

削除した文字をもとに戻す(復活)

削除した文字や文章は、削除した直後なら^{復活}ボタンで復活できます。

例：「定期点検実施中」の「定期」を削除してから復活する

1   で「期」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

1 定期点検実施

2 ^{削除} を2回押して「定期」を消す

1 定期点検実施








1 点検実施

3 ^{復活} を押す
削除した文字が^{復活}を押すたびに1文字ずつ復活します。

1 定期点検

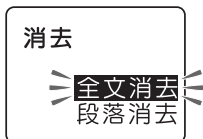
MEMO

- ネガの状態では削除した文字は、復活できません。
- 削除直後に     シフト  ^{みえ} 以外のボタンを押した場合は、次に^{復活}を押しても復活できません。
- ^{削除} ボタンで削除した文字は30文字まで記憶できます。
- 全文消去、段落消去も復活できます。

すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

- ① **シフト**を押しながら **削除段落**(=消去)を押す
「消去」メニューが表示されます。



- ② 「全文消去」を選び、**選択**を押す
ディスプレイが一瞬消灯し、全文消去されます。消去後は、テキスト画面に戻ります。



カーソルのある段落のみを消去したいときは「段落消去」を選びます。

参照 [P.53](#) 「特定の段落を消去する」

!! 注意 !!

入力した文章には、各機能の指定内容と一緒に含まれています。全文消去をおこなうと、これらの内容もすべて消去されます。消去してもよいかを充分に確認してから全文消去をおこなってください。

MEMO

- 削除した直後なら **復活** ボタンで復活できます。
- 全文消去では、以下の内容は消去されません。
ファイル・あて名・辞書・名前・外字データ、保存値、漢字や記号などの学習内容、文字の入力状態、「みえ²」の状態
- すべてを購入時の設定に戻りたいときは、本機の初期化をおこなってください。
参照 [P.138](#) 「本機を初期化する」

●行を増やす(改行)

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます(**選択 改行** を押します)。

テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから24mmまでの幅のテープを使うことができます。

セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24*mm
印刷可能な行数	1行まで	2行まで	3行まで	4行まで	6行まで	8行まで

MEMO

- 24mm幅テープは2種類あります。品番末尾に「*」のついた24*mm幅テープは8行まで印刷できます。品番末尾に「*」のつかない24mm幅テープは6行まで印刷できます。
- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク **1 2**……**☒**、**1 0**……**☒**と、実質行頭マーク **1 2**……**☒**、**1 0**……**☒**の2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- **☒**はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。**☒**の表示がある時に **印刷** を押しても「行数オーバー」が表示されます。**☒**のある行を削除してから印刷をおこなってください。
参照 **P.146** 「こんな表示が出たときは一行数オーバー」

新しい行を作る

行の終わりで **選択 改行** を押すと、新しい行に入力することができます(改行)。

例 : 3行の文章を入力する

営業1課
営業2課
営業3課

1 「営業1課」を入力し、**選択 改行** を押す

1 営業 1 課 |



選択 改行

2行目に行頭マークが表示されます。

1 営業 1 課
2 |

2 「営業2課」を入力し、**選択 改行** を押す

1 営業 1 課
2 営業 2 課 |



選択 改行

3行目に行頭マークが表示されます。3行目を
入力します。

1 営業 1 課
2 営業 2 課
3 |

MEMO

ネガ文字があるときは、**選択 改行** を押しても改行
できず、文字が確定します。

文字を次行に移動する

行の途中で改行すると、カーソルより後ろ(右側)の文字は次の行に移ります。

例：「営業1課田中慶介」を2行にする

営業1課田中慶介

↓途中で改行すると

営業1課
田中慶介

- 1   で「課」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

X.X
cm 営業1課田中
1 課|田中慶介


- 2 **選択改行**を押す
2行目に行頭マークが表示され、「田中慶介」は2行目に移動します。

営業1課
明神勇太
1 営業1課
2 田中慶介

MEMO

ネガ文字があるときは、**選択改行**を押しても改行はできず、文字が確定します。

改行を取り消す


行頭マークにカーソルを合わせて  を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。

例：2行目での改行を取り消す


株式会社 ○×商事
営業部
営業1課
田中慶介

↓途中の改行を取り消すと

株式会社 ○×商事
営業部営業1課
田中慶介




- 1 3行目の行頭マーク  の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

1 株式会社
2 営業部
3 営業1課
4 田中慶介

- 2  を押す
3行目の「営業1課」が2行目に連結されます。
4行目の「田中慶介」が3行目になります。

1 株式会社
2 営業部
3 田中慶介

MEMO

- 最終行の先頭にカーソルを合わせ、 を押すと4行目の文章が3行目に連結され、4行目は自動的に削除されます。
- 第1段落の1行目の行頭マーク   は削除できません。

●段落を増やす(改段落)

下のラベルは3つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼んでいます。段落とはテーブル幅に積み重ねて印刷される「行の集まり(または1行)」のことです。1つのラベルの中にかくつかの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えたりすることができます。

段落は1つのラベル(文章)の中に最大10段落まで作ることができます。

段落が3つのラベル

☎	内線 営業部	営業1課 営業2課 営業3課	131 132 133
段落1	段落2	段落3	

印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では下記のように各段落が縦にならんだ形になります。

【画面上では】

段落1	☎
段落2	1 内線 2 営業部
段落3	1 営業1課_131 2 営業2課_132 3 営業3課_133

新しい段落を作る

段落の終わりで「シフト」を押しながら「選択 改行」(=改段落)を押すと、新しい段落ができます。

例：2段落の文章を入力する

☎ 内線	営業1課	131
営業部	営業2課	132
	営業3課	133

段落1 段落2

1 段落1を入力する

1行目に「☎内線」、2行目「営業部」と入力します。

1 ☎ 内線
2 営業部

2 文末にカーソルを合わせ、「シフト」を押しながら「選択 改行」(=改段落)を押す

新しい段落が発生し、その1行目の行頭マーク①が表示されます。

1 ☎ 内線
2 営業部
①

3 段落2を入力する

1行目「営業1課 131」
2行目「営業2課 132」
3行目「営業3課 133」
と入力します。

改行のときは、行の終わりで「選択 改行」を押してください。

①課	131
②課	132
③課	133

段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ(右側)の文字は新しい段落に移ります。

例：新しい段落を増やす

☎ 内線	営業1課	131
営業部	営業2課	132
	営業3課	133

段落1 段落2



段落1の「☎」の後ろ(右側)で改段落すると

☎ 内線	営業1課	131
営業部	営業2課	132
	営業3課	133

段落1 段落2 段落3

1 段落1の1行目「☎」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

1 ☎ 内線
2 営業部

2 「シフト」を押しながら「選択 改行」(=改段落)を押す

改段落され、カーソルより後ろ(右側)の文字は新しくできた段落に移ります。カーソルは新しい段落の1行目にあります。段落2はそのまま段落3に移ります。

1 ☎
① 内線

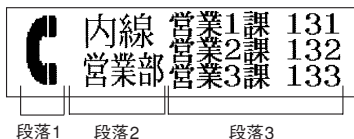
MEMO

- ネガ文字があるときは、「シフト」を押しながら「選択 改行」を押しても改段落はできません。
- 段落分割によって新しくできた段落の段落スタイルの内容は、もとの段落と同じです。
参照 P.73 「機能の説明(段落スタイル)」
- もとの段落スタイルの文字サイズに行数が指定されていると、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しなくなります。このとき、文字サイズは「均等」で印刷されます。
参照 P.73 「文字サイズ」

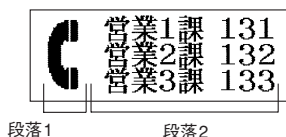
特定の段落を消去する

不要な段落を消去します。段落を消去すると、文字だけではなくその段落に指定された段落スタイル指定、文字モードの指定内容もすべて消去されます。

例：段落2を消去する



段落2を消去すると



1 消去する段落2にカーソルを合わせる

カーソル位置は消したい段落内ならどこでもかまいません。



2 シフト を押しながら (削除) (=消去) を押す

「消去」メニューが表示されます。



!! 注意 !!

「全文消去」で **選択** を押すと、入力したすべての文章が消去されます。ご注意ください。

3 ← ↑ ↓ → で「段落消去」を選ぶ



4 **選択** を押す

ディスプレイが一瞬消灯し、段落が消去されます。消去が終わるとテキスト画面に戻ります。



MEMO

- 段落消去をおこなうと、カーソル位置の段落内容がすべて消去されます。段落消去は十分に確認してからおこなってください。
- 間違っ て消去した全文・段落は、消去した直後なら **復活** ボタンで復活させることができます。ただし、段落消去後に **シフト** **入力** **みえ** 以外のボタンを押すと、消去された全文・段落を復活させることはできません。
- 段落消去を途中でやめるときは、 **削除** を押してください。

●カドを丸く仕上げる

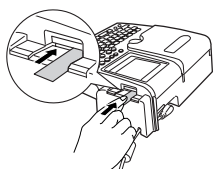
ラベルをトリマー差込み口に挿入すると、ラベルのカドを丸く仕上げるができます。「カド丸仕上げ」にすると、見栄えがよければかりでなく、ラベルがカドからはがれにくくなります。

おとくなセット!
初回限定Box

9mm、12mm、18mm幅テープのとき

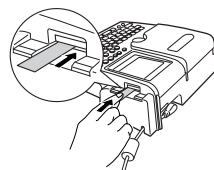
ラベルのカドを片側ずつ仕上げます。

- 1 ラベルの片側をトリマー差込み口の左右どちらかのガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む



- 2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

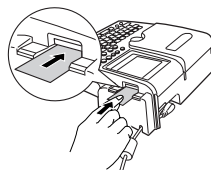
- 3 ラベルの反対側をガイドに沿わせ、同様にカットする



24mm幅テープのとき

左右のカドが同時にカットされます。

- 1 ラベルの左右をトリマー差込み口のガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む



- 2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

MEMO

- ラベルはトリマーガイドに沿わせてまっすぐ差し込んでください。
- ラベルはつき当たるまでしっかりと差し込んでください。

!! 注意 !!

- 印刷中および上カバーが開いているときはオートトリマーが作動しません。
- オートトリマーにラベルを差し込んだままラベルを左右に動かさないでください。途中で引っかかり、うまくカドが丸くカットされないことがあります。
- トリマー差込み口には、シャープペンシルやクリップなどラベル以外のものを入れないでください。オートトリマーが故障する原因となります。
- 4mm幅、6mm幅ラベルには、オートトリマーを使用できません。トリマー(RT36W)を使ってカットしてください。
参照 P.11 「別売品のご案内」
- 反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・上質紙ラベル・ふせん紙ラベルはカットできませんので、オートトリマーに差し込まないでください。
参照 P.145 「テープカートリッジを使い分ける」
- 別売品のハーフカッター(RH24)でハーフカットしたラベルのスリット部分を折り曲げた状態でオートトリマーに差し込まないでください。

オートトリマーのお手入れ

「カド丸トレイ」にはオートトリマーの切りクズがたまります。ときどき「カド丸トレイ」をはずして掃除してください。

1 を押して電源を切る



警告

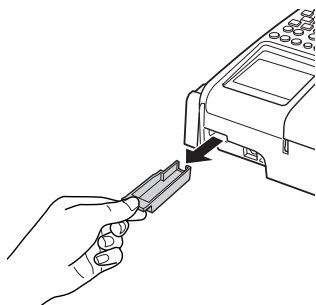


「カド丸トレイ」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「カド丸トレイ」をはずしたまま作動させると刃で指を切ったりするなど、大変危険です。

また、オートトリマーを掃除するときはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。

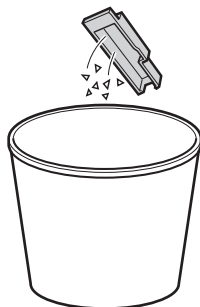
2 「カド丸トレイ」をはずす

「カド丸トレイ」の下側に指を入れ手前に引きます。



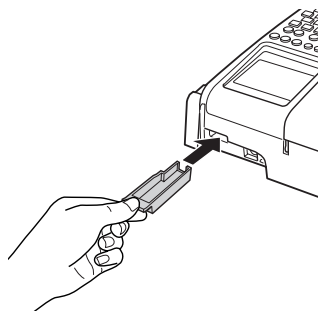
3 切りクズを取りのぞく

「カド丸トレイ」内にたまった切りクズを市販の綿棒などで取りのぞきます。




4 「カド丸トレイ」をはめる

「カド丸トレイ」をもとのように取り付けます。



MEMO

- ご購入時、「カド丸トレイ」に製造工程での切断検査の切りクズが残っていることがあります。
- オートトリマーは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照  P.188 「アフターサービスについて」

機能編

～「テプラ」の機能を使いこなそう～

「ラベルの向きを変えたい」

「ラベルを見栄えよくしたい」

「入力した文章を保存しておきたい」

こんなときは各機能のボタンでレイアウトの変更や各種指定をおこないます。

●ラベルの向きを変える(縦・横)

本機には、ラベルの向きをワンタッチで変えられる**縦・横**ボタンがあります。

縦・横 ボタンを使う

縦・横 ボタンを使うと、ラベルの向きを「縦」または「横」で切り換えられます。

よこ書きラベル

◇◇◇工業(株)
さいたま営業所
さいたま市浦和区駒場X-12



たて書きラベル

◇◇◇工業(株)
さいたま営業所
さいたま市浦和区駒場X-12

1 **縦・横** を押す

「たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。
「よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。
たて書きのときは、ディスプレイのインジケータも点灯します。

たて書き

たて書き

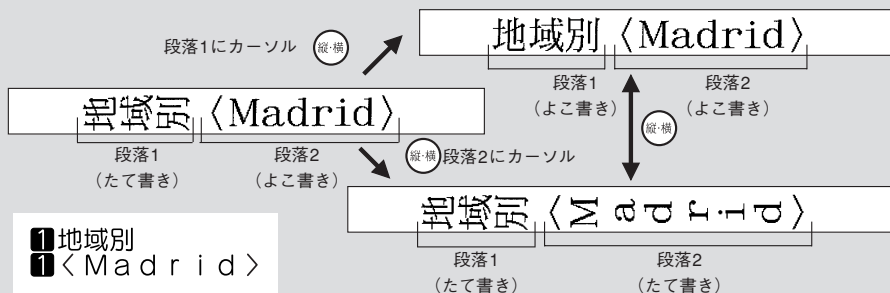
よこ書き

MEMO

- ネガ文字があるとき、「たて書き」「よこ書き」は変更できません。
- 段落スタイル機能の「縦・横」では文章単位または段落単位で指定できます。
参照 [P.61](#) 「指定範囲とカーソルの位置について」
- 横長のイラストは縦書きには対応していません。
参照 [P.176](#) 「記号一覧表—イラスト」

!! 注意 !!

縦・横 ボタンは文章全体のラベルの向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が文章全体に反映されます。



1 地域別
1 <Madrid>

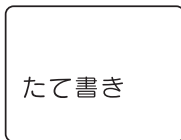
たて書きで2桁の数字を印刷する

「2桁数字」は2桁の数字を1文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

例：「02年大会記録」を入力する



① **縦構**を押して、「たて書き」を指定する



② **記号**を押す

「記号」メニューが表示されます。



③ 「2桁数字」を選び、**選択**を押す

2桁数字の候補が表示されます。



④ 選択肢から「00」を選び **選択**を押す

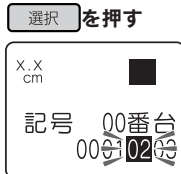


ここでは「十の位」は00番台なので「00」を選びます。

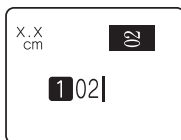
00番台の選択肢が表示されます。



⑤ 00番台の選択肢から「02」を選び、**選択**を押す



カーソル位置に「02」が表示されます。



⑥ 続けて文章を入力する

MEMO

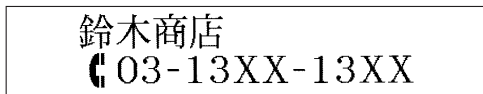
- 操作を途中でやめるときは **削除** または **記号** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 2桁の数字は、**記号** を押して「2桁数字」を選んで入力します。テキスト画面での入力では2桁数字にはなりません。
- ネガ文字があるときは、**記号** ボタンで2桁数字は入力できません。

●ラベルの長さを整える(らく²)

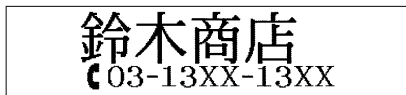
らく² ボタンを使うと、文字サイズを「均等」または「らく²」に切り換えられます。

「らく²」を選ぶと、すべての行ができるだけ同じ長さになるように文字サイズを自動調整します。1行の場合でも、文字数が多い場合は全体が長くなりすぎないように文字サイズを調整します。「均等」を選ぶとすべての行を同じ文字サイズにします。

2行で「均等」を指定



2行で「らく²」を指定



らく²

1 ラベルの文章を入力する
参照 P.35 「漢字を入力する」

2 らく² を押す
「均等」または「らく²」は、ディスプレイのインジケータで確認できます。
「らく²」の場合は、文字サイズを自動調整します。「均等」の場合は、すべての行を同じ文字サイズにします。



MEMO

- ネガ文字があるとき、「均等」「らく²」は変更できません。
- 「均等」、「らく²」は段落スタイル機能の「文字サイズ」でも指定できます。
参照 P.73 「文字サイズ」
- らく² ボタンは段落スタイル機能の「文字サイズ」が「均等」または「らく²」に指定されているときのみ有効です。「おまかせフォーマット」で文字サイズを行ごとに指定している場合は、変更できません。
参照 P.73 「文字サイズ」

機能編

●ラベルの見栄えをよくする～装飾機能を使おう～

文字の書体や大きさを変えて、見栄えの良いラベルにすることができます。

ラベルの見た目を変えるには、**書式**や**スタイル**、**モード**を押して表示されるメニューから機能を選択します。

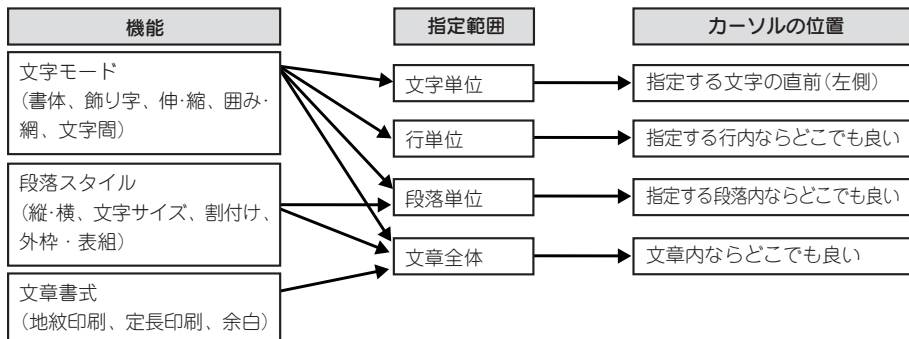
各ボタンの機能

機能は、指定可能な範囲の違いによって、文章書式・段落スタイル・文字モードにボタン別に分類されています。

機能のボタン	指定範囲	機能	内容
文字モード	文字単位 行単位 段落単位 文章全体	書体	漢字、かな、英数字の書体を指定します。
		飾り字	白抜き、影文字、白抜き影の装飾と斜体、強調、斜強調の装飾をします。
		伸・縮	文字を伸縮して変形します。
		囲み・網	訂正線、下線、網かけ、囲みの装飾をします。
		文字間	文字の間隔を狭くしたり、広くしたりします。
段落スタイル	段落単位 文章全体	縦・横	たて書きや、よこ書きにします。
		文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。
		割付け	各行の割りつけ位置を指定できます。
		外枠・表組	飾り枠、表組みを指定します。
文章書式	文章全体	地紋印刷	背景全体に地紋を入れます。
		定長印刷	できあがるラベルの長さを指定します。
		余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。

指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、機能のボタンを押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。このカーソル位置を基準にして、メニュー操作の途中で有効範囲の指定をおこないます。カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。次の図を参考にカーソルの位置を確認してください。



書式

スタイル

モード

機能編

機能を指定する

機能は以下のような流れで指定します。

1 カーソルを合わせる

文字に指定するときは、指定する文字の直前(左側)にカーソルを合わせます。
行全体に指定するときはその行に、段落に指定するときはその段落内にカーソルを合わせます。
文章全体に指定するときは、カーソル位置はどこでもかまいません。
参照 P.61「指定範囲とカーソルの位置について」

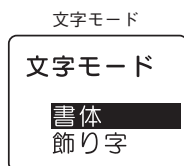
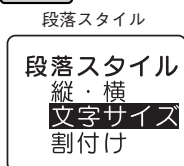
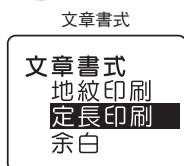
2 機能のボタン(書式)または(スタイル)または(モード)を押す

!! 注意 !!

文章中にネガ文字があるときは、機能は指定できません。

3 機能を選ぶ

↑ ↓ で目的の機能を選び、**選択**を押します。



4 各機能の選択肢を指定する

↑ ↓ で目的の選択肢を選び、**選択**を押します。

例：文字モードの「書体」の選択肢



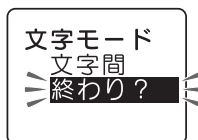
5 「終わり？」を選ぶ

1つの機能の指定が終わると、同じ分類の次の機能が表示されます。

同じ分類の機能(この場合「文字モード」)であれば、続けて指定することができます。↑ ↓ で目的の機能を選び、**選択**を押します。

以降の手順は4・5と同様です。

指定を終了する場合は、「終わり？」を選び、**選択**を押します。
手順6へ進みます。






MEMO

他の機能(この場合「段落スタイル」「文章書式」)を指定したい場合は、手順6の後、テキスト画面に戻ってから他の機能のボタンを押します。

6 指定した機能の有効範囲を決める

指定した機能の有効範囲を指定します。

下表を参考に、  で指定する範囲を選び、 を押します。

指定が終了し、テキスト画面に戻ります。

(「文章書式」の機能を選択した場合は、有効範囲の画面は表示されず、手順⑤でテキスト画面に戻ります。)

有効範囲は？
この文章
この字から
この行

● 「文字モード」の機能を指定した場合

この文章	文章全体に、指定した文字モードを反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。
この字から	カーソルを合わせた位置に「▶(文字モード指定マーク)」が表示され、「▶」直後の文字から行末(または、次の「▶」)まで、指定した文字モードを反映します。
この行	カーソルを合わせた行の行頭に「▶(文字モード指定マーク)」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。
この段落	カーソルを合わせた段落の行の先頭すべてに「▶(文字モード指定マーク)」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。

● 「段落スタイル」の機能を指定した場合


この文章	文章全体に、指定した段落スタイルを反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。
この段落	カーソルを合わせた段落に、指定した段落スタイルを反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。

● 「文章書式」の機能を指定した場合

有効範囲の画面は表示されません。







手順⑤で「終わり？」を選択した時点で、文章全体に指定した文章書式を反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。

MEMO

- ▶(文字モード指定マーク)は印刷されません。
- ▶は削除することができます。▶を削除すると、その前にある▶の指定を反映します。▶がない場合は、「この文章」で指定した内容、または保存値を反映します。
- 各機能のご購入時の状態(初期設定値)はP.64「文章書式のメニュー一覧」、P.65「段落スタイルのメニュー一覧」、P.68「文字モードのメニュー一覧」で確認できます。また、この設定はP.133「各種の初期値(保存値)を設定する」で変更することもできます。
- 指定の途中で^(削除取消)または各機能のボタンを押すと、1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すと、指定を解除しテキスト画面に戻ることができます。
- 一部の指定内容は、インジケータの点灯で確認できます。
参照  P.22 「ディスプレイの見かたとはたらき」
また、各機能のボタンを押して、機能の選択肢を表示させても確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブれることがあります。

●文章書式のメニュー一覽

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
文章書式 地紋印刷 ▶ 地紋印刷 定型地紋の入ったラベルを作ります。ピクトグラフを参考に地紋の柄を選びます。 参照 P.70	なし00  海波01 菱形02  桜 03 カト`04  唐草05 点網06  切抜07	
定長印刷 ▶ 定長印刷 決まった長さのラベルを作ります。 参照 P.70	音楽テープ MD ▶ ミニDV 8mmビデオ VHS FD・MO CDケース B5ファイル A4ファイル しない 1.0cm~50cm	 前寄せ  中寄せ  割付け  後寄せ
余白 ▶ 余白 ラベルの前後の余白を調整します。 参照 P.72	極少 少なめ ふつう 多め 自動少なめ 自動多め	
終わり? 終わり? 参照 P.62		

書式

機能編

●段落スタイルのメニュー一覽

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
段落スタイル 縦・横 ▶ 縦・横 文字の向きを指定します。 参照 ↗ P.73 文字サイズ ▶ 均等 各行を同じ文字サイズにします。 らく ² 入力文字数に応じて文字サイズを自動調整します。 おまかせフォーマット 各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。 参照 ↗ P.73	よこ書き たて書き	
	自動	らく ² 均等
	1行 ▶	(おまかせフォーマット) 1行 特大1a 大 1b 中 1c 小 1d
	2行 ▶	2行 大大2a 中中2b 大細2c 大小2d 中小2e 小中2f 小大2g 細大2h
	3行 ▶	3行 同大3a 同小3b 1大3c 1中3d 3小3e 2大3f 2中3g 1小3h 3大3i 3中3j 2小3k
	4行 ▶	4行 均等4a 1大4b 2大4c 3大4d 4大4e
	5-8行	

スタイル

機能編

段落スタイル

割付け ▶

割付け

各行の文字の配置を指定します。

参照 ↗ P.74



前揃え



中揃え



割付け



後揃え

外枠・表組 ▶

外枠

ピクトグラフのような飾り枠がつけられます。

参照 ↗ P.75

病院 ▶



01



02



03



04



05



06



07



08

建設 ▶



01



02



03



04



05



06



07



08



09



10

学校 ▶



01



02



03



04



05



06



07



08



09



10

お店 ▶



01



02



03



04



05



06



07

なし

表組み ▶



01



02



03



04

表組み

ピクトグラフのような表組みのラベルを作ります。

参照 ↗ P.75

段落スタイル

	01		02		03		04
	05		06		07		08
	09		10		11		12
	13		14		15		16
	17		18		19		20
	21		22		23		24
	25		26		27		28
	29		30		31		32
	33		34		35		36
	37		38		39		40
	41		42		43		44
	45		46		47		48
	49		50		51		52
	53		54		55		56
	57		58		59		60
	61		62		63		64
	65		66		67		68
	69		70		71		72
	73		74		75		76
	77		78		79		80
	81		82		83		84
	85						

終わり？

終わり？

参照 P.62

有効範囲は？

[この文章](#)

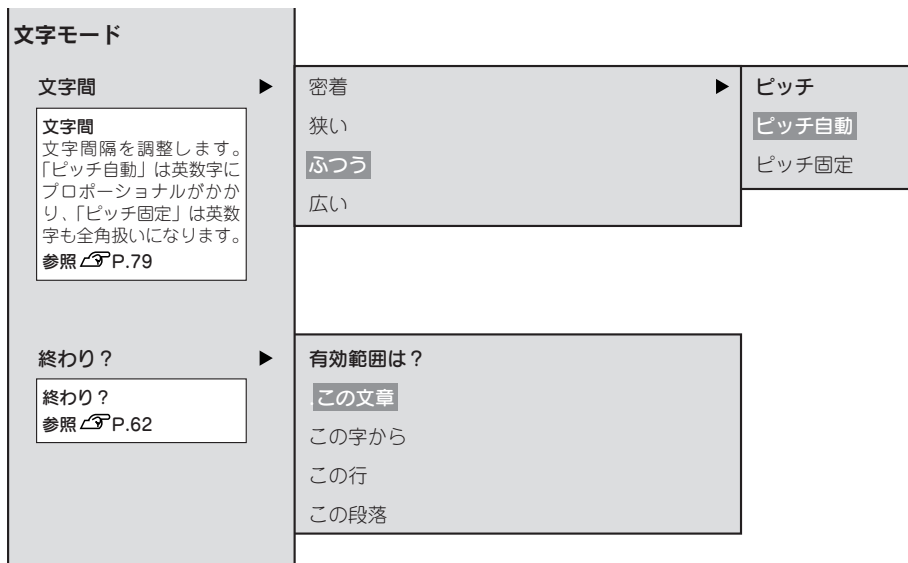
[この段落](#)

●文字モードのメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	
文字モード 書体 ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 書体 漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。 参照 P.76 </div> 飾り字 ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 飾り字 文字の装飾を指定します。 参照 P.77 </div> 伸・縮 ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 伸・縮 行中の基本文字サイズに対し、どれだけ大きく(小さく)するかを指定します。 参照 P.78 </div> 囲み・網 ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 囲み・網 下線や文字囲み、網かけなどを指定します。 参照 P.78 </div>	漢字書体 ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 明朝体 ゴシック 行書体 </div>	かな書体 ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 自動 明朝体 ゴシック 行書体 えれん ハッピー </div>	英数書体 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 自動 明朝体 ゴシック 行書体 HV体 BR体 </div>	
		飾り字 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 白抜き ▶ ぶつう 影文字 白抜影 </div>	斜体・強調 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 斜体 正体 強調 斜強調 </div>	
		<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 細かく ぶつう </div> <div style="text-align: center;"> 小さく 伸ばす </div> <div style="text-align: center;"> 縮める </div> </div>		
		<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 訂正線 角囲み 角囲網 </div> <div style="text-align: center;"> 下線 丸囲み 丸囲網 </div> <div style="text-align: center;"> なし 網かけ </div> </div>		

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
------	--------	-------



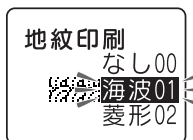
モード

機能編

機能の説明(文章書式)

●地紋印刷

ラベルの背景全体に地紋をつけます。表示されるピクトグラフで地紋の柄を確認できます。



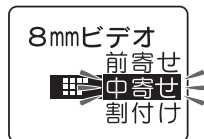
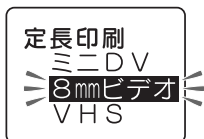
MEMO

地紋を指定した場合、テキスト画面の印刷イメージやプレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがあります。印刷に影響はありません。

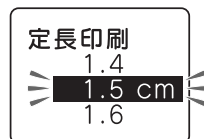
●定長印刷

印刷するラベルの長さを指定します。

長さを指定した後、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。



1.0cm～50cmは、ラベルの長さを数値で指定できます。



用途別の定長を選ぶとラベルの長さが自動的に指定されます。お使いになるテープは、下表の「推奨テープ幅」をお奨めします。

用途	長さ	推奨テープ幅
音楽テープ	9.5cm	9mm
MD	5.5cm	4mm
ミニDV	4.0cm	9mm
8mmビデオ	7.0cm	9mm
VHS	14cm	18mm
FD・MO	7.0cm	18mm、24mm
CDケース	11cm	4mm
B5ファイル	15cm	12mm
A4ファイル	20cm	12mm

MEMO

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「定長→字余り」が表示され、印刷できません。文字数を減らしたり、行の大小指定や文字の伸・縮の指定で文字の大きさを小さくしてください。
- 定長印刷で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。

定長内に文字をおさめる「つめ²」機能

「文字サイズ」で「らく²」を指定すると、入力文字数に応じて自動的に文字サイズを調整します。この「らく²」と「定長」を指定し、定長内に段落をいくつか作って文字を入力した場合、定長で指定した長さに文字がおさまらない場合があります。

そんなとき本機では、定長で指定した長さにおさまるよう文字サイズを自動的に計算し、「らく²」を指定した段落の中で、後ろから順に段落単位で文字サイズを小さくする「つめ²」機能が働きます。

① 一番最後の段落の文字を小さくする

(図A→B)

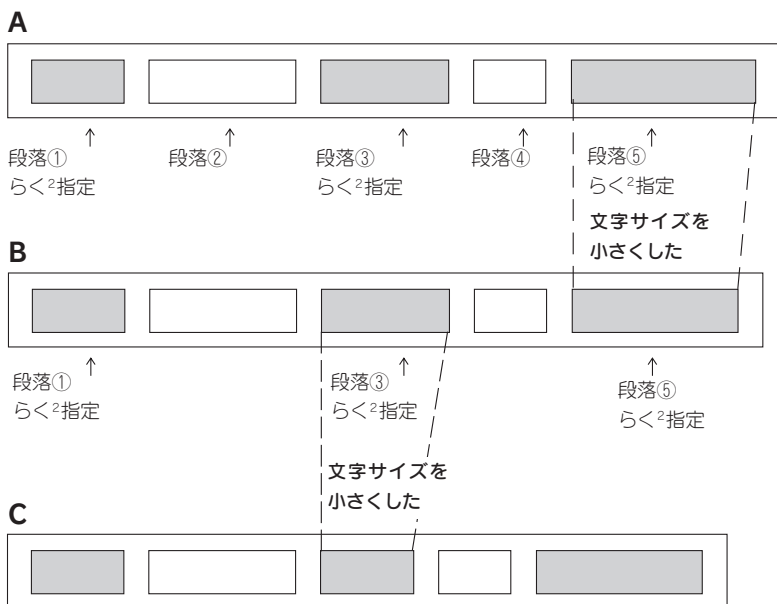
定長に入らない場合はまず、「らく²」を指定した段落の中で一番最後の段落(⑤)の文字サイズを1段階小さいサイズに置き換えます。これで定長におさまれば自動計算は終わります。

② 最後から2番目の段落の文字を小さくする(図B→C)

それでも定長内に入らない場合は、「らく²」を指定した段落の中で最後から2番目の段落(③)の文字サイズを1段階小さくします。

定長で指定した長さにおさまるまで、上記の処理をおこないます。

この処理を繰り返しても定長で指定した長さにおさまらない場合は「入力した文章が長すぎます」と表示されます。定長を指定し直すか、文字を少なくするなどの操作をおこなってください。



※段落②、④が「らく²」を指定していない段落です。

!! 注意 !!

- 「らく²」を指定していない段落は「つめ²」機能は働きません。
- 「らく²」以外の指定をしても実際の行数が指定と合わず結果的に「均等」になった段落については、「つめ²」機能による処理はおこなわれません。

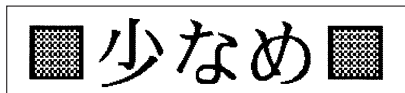
●余白

ラベルの前後の余白の長さを指定します。

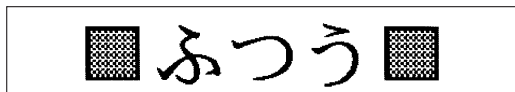
極少(余白：前後約1mm)



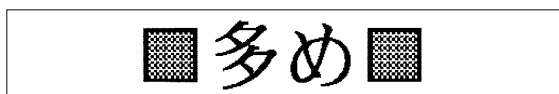
少なめ(余白：前後約3mm)



ふつう(余白：前後約10mm)

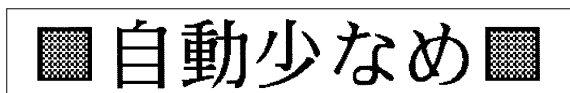


多め(余白：前後約18mm)



自動少なめ

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に少なめに調整されます。印刷するテープの幅の約1/3が前後の余白になります(12mm幅テープであれば余白は前後約4mm)。



自動多め

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に多めに調整されます。印刷するテープの幅相当が前後の余白になります(12mm幅テープであれば余白は前後約12mm)。



機能の説明(段落スタイル)

●縦・横

文字をたて書きにするか、よこ書きにするかを指定します。

たて書き/よこ書きの変更は(縦・横)ボタンでも指定できます。

参照 P.58 「ラベルの向きを変える(縦・横)」

よこ書き(ご購入時の初期設定値)

たて書き

よこ書き

たて書き

●文字サイズ

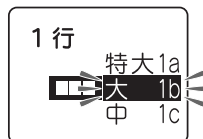
文字サイズの指定は「均等」「らく?」「おまかせフォーマット」で指定してください。

「均等」、「らく?」の変更は(らく?)ボタンでも指定できます。

<p>らく? (ご購入時の 初期設定値)</p>	<p>入力文字数に応じて、文字サイズを自動調整します(フルオート)。 1行のとき：文字数が多くなると自動的に文字サイズを小さくします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em;">「テプラ」PRO</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 1.5em;">簡単・綺麗なラベルが作れる「テプラ」PRO</div> <p>2行以上のとき：各行の長さがバランスよくなるように文字サイズを自動調整します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 1.5em;">堀之内 ◆OXO-20XX-20XX</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 1.5em;">HORINOUCHI ◆OXO-20XX-20XX</div> </div> <p>テープ幅や行数、文字数の割合に応じて、各行のできあがりの長さができるだけ揃うようにします。また、文字数が多くなってもラベル全体が長くなりすぎないように、文字サイズを自動調整します。</p>
<p>均等</p>	<p>各行を同じ文字サイズにします。 12mm幅テープ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 1.5em;">2nd アルバム発売中!</div> <p>18mm幅テープ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; font-weight: bold;">封入特典</div> ◆インスタイベント招待券 日時:6月10日 19:00~ 詳しくは店員まで </div>
<p>おまかせ フォーマット</p>	<p>各行の文字サイズ(行の大小)を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます(セミアート)。 参照 P.74 「おまかせフォーマット」</p>

おまかせフォーマット(1行~8行)

選択肢から文字サイズ(行の大小)を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。



おまかせフォーマット 1行

□□□ 特大 1a · □□□ 大 1b · □□□ 中 1c · □□□ 小 1dと選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさで印刷されます。

印字サンプル	美	美	美	美	美	美	美
文字サイズ [pt]	H [48]	U [38]	G [26]	L [19]	M [13]	S [10]	P [6]
テープ幅							
24 * mm	特大	大	中	小	-	-	-
24mm	-	特大	大	中	小	-	-
18mm	-	特大	大	中	小	-	-
12mm	-	-	特大	大	中	小	-
9mm	-	-	-	特大	大	中	小
6mm	-	-	-	-	特大	大	中、小
4mm	-	-	-	-	-	-	特大、大、中、小

スタイル

MEMO

- 24mm幅テープは2種類あります。品番末尾に「*」のついた24 * mm幅テープは8行まで印刷できます。品番末尾に「*」がつかない24mm幅テープは6行まで印刷できます。
- おまかせフォーマットは、ピクトグラフで表現しています。
- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

●割付け

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

前揃え(ご購入時の初期設定値)	行頭を揃えます。
中揃え	各行の中心を揃えます。
割付け	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割りつけます。
後揃え	行末を揃えます。

●外枠・表組み

文章(段落)のまわりに外枠や表組みをつけます。

なし(ご購入時の初期設定値)

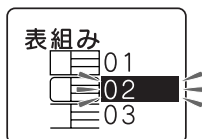
外枠・表組みをつけません。

表組み

文章(段落)を枠で囲み、行間に横罫線を引きます。

また、複数の段落に同じ表組みを指定すると、前後に区切られた表ができます。

表示されるピクトグラフで表組みの種類を確認できます。



備品名	RDS
管理番号	1103-U

MEMO

表組みのラベルの行中にさらに縦罫線を入れたいときは、(記号)を押して表示される記号メニューから「編集」を選択し、その中の罫を入力します。

ラベルの行中に縦罫線が入る

備品名	RDS本館
管理番号	1103-U

段落1

段落2

テキスト画面に罫を入力する

シフト + 選択 改行 で改段落をして、
このように段落2を入力します。

1 RDS 罫 本館
2 1103-U

スタイル

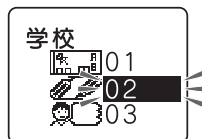
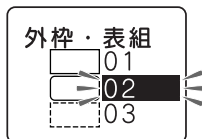
外枠

文章(段落)のまわりに外枠をつけます。

表示されるピクトグラフで外枠の種類を確認できます。



「病院」、「建設」、「学校」、「お店」には、テーマに合った外枠が用意されています。

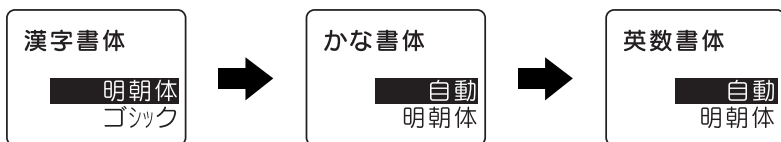


機能編

機能の説明(文字モード)

●書体

文字の書体を選びます。かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。



明朝体

美しい文字

ゴシック

美しい文字

行書体

美しい文字

えれん

うつくしい

ハッピー

うつくしい

HV体

Beautiful

BR体

Beautiful

モード

機能編

●飾り字

文字の装飾を選択します。第1の選択肢と第2の選択肢を組み合わせることができます。

第1の選択肢	第2の選択肢
白抜き	斜体
ふつつ	正体
影文字	強調
白抜き影	斜強調

太字：購入時の初期設定値

ふつつ&斜体

斜体・強調

ふつつ&強調

斜体・強調

ふつつ&斜強調

斜体・強調

白抜き&正体

飾り字

影文字&正体

飾り字

白抜き影&正体

飾り字

白抜き&斜体

飾り字

影文字&強調

飾り字

白抜き影&斜強調

飾り字

MEMO


文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブれることがあります。

●伸・縮

各行の基本文字サイズ(行の大小)は、テープ幅・入力行数・文字サイズの段落スタイル指定によって決まります。「伸・縮」はこの基本文字サイズに対して相対的な大きさを指定します。

ふつう (ご購入時の初期設定値)	これを選ぶと、基本文字サイズになります。
小さく	基本サイズより、1段階小さい文字になります。
細かく	基本サイズより、2段階小さい文字になります。
縮める	横の長さを基本サイズの約0.75倍にします。
伸ばす	横の長さを基本サイズの約1.5倍にします。

MEMO

- 基本文字に対して、よこ書きのラベルでは「下並び」(文字のベースライン揃え)となります。たて書きのラベルでは「中並び」(センター揃え)となります。
- 英数専用書体(HV体・BR体)はベースラインが漢字書体や、かな書体と異なるため、かな書体とベースラインが揃いません。
- 基本文字サイズがすでに小さい場合は、「小さく」「細かく」を指定しても、文字の大きさが変わらない場合があります。
- 各行の基本文字サイズは段落スタイルの指定で変えることができます。
参照  P.73 「文字サイズ」
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブれることがあります。
- 細いテープを使っている場合など大きな文字サイズを使えないときに「伸ばす」を指定すると、文字の大きさが少し大きく見え、より目立つラベルを作ることができます。

●囲み・網

文字につける囲みや下線、網などを選びます。表示されるピクトグラフで「囲み・網」の種類を確認できます。



●文字間

文字の間隔を選びます。

密着

□□密着

狭い

□□狭い

ふつう

□□ふつう

広い

□□ひろい

さらに文字間「ピッチ自動」、「ピッチ固定」を選びます。

ピッチ自動

世界選抜 1-1 キングFC
UEHA選抜 0-2 キングFC

「ピッチ自動」にすると、英数字にプロポーショナルがかかり、文字間を美しく調整して並べます。プロポーショナルとは英数字が美しく見えるように文字間を自動的に調整する機能です。

ピッチ固定

世界選抜 1 - 1 キングFC
UEHA選抜 0 - 2 キングFC

「ピッチ固定」にすると、プロポーショナル機能が解除され、英数字(半角スペースを含む)をすべて全角文字として扱います。複数行で上下の文字の並びをきちんと揃えたいときは、「ピッチ固定」を選んでください。

MEMO

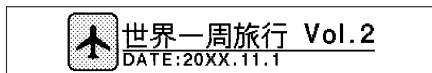
文字間の指定について

- あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えないことがあります。
- 複数個の外字をつなげたロゴを作るときは、「密着」を指定すると完全につながったロゴが印刷できます。
参照 P.113 「外字を使う」
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルが作れます。

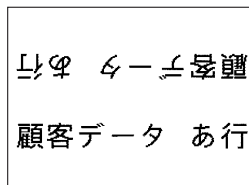
●デザインされたラベルを呼び出す(フォーム)

本機には名前ラベルやビデオラベルなどデザインされたフォームが登録されています。また特殊フォームとして通常の文章書式や段落スタイル、文字モードの指定では作ることのできない、特殊なデザインのラベルも用意されています。

例 : 「8mm ビデオ」のラベル
(デザインフォーム)



例 : 「見出し(横)」長さ3.2cmのラベル
(特殊フォーム)



シフト + ファイル フォーム

ラベルの作りかた

フォームは以下のような流れで利用します。

1 使用するフォームを決める

使いたいフォームを選んでください。

2 シフトを押しながら、**ファイル**(=フォーム)を押す

「フォーム」メニューが表示されます。

3 「フォーム」または「特殊フォーム」を選ぶ

↑ **↓** で目的のフォームが含まれる項目(「フォーム」または「特殊フォーム」)を選び、**選択**を押します。

それぞれのメニューが選択され、選択肢を指定する画面になります。



4 使用するフォームを指定する

↑ **↓** で目的のフォーム名を選び、**選択**を押します。

特殊フォームの見出し(縦)、見出し(横)、ケーブル用の場合は、ここでラベル長さを選択します。



機能編

!! 注意 !!

フォームを呼び出すと、テキスト画面に入力した文章は消えてしまいます。フォームを呼び出す前に、必要な文章はファイルに登録してください。

参照 P.92 「ファイルに登録する」

MEMO

操作を途中でやめるときは または を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

5 文字を入力する

フォームの場合は、テキスト画面にデザインされたフォームの内容が表示されます。次のようにはじめから入力されていますので、文字や記号を削除して内容を変更します。

例 : ▶
 ▶ 世界一周旅行_Vol.2
 DATE : 20XX.11.1

特殊フォームの場合は、入力画面になります。入力ガイドの後ろ(右側)にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。



複数行の特殊フォームのときは、 を押すと次の行にカーソルが移ります。

見出し(縦)と見出し(横)では、「おもて」の行で を押すと、「おもて」の行に入力した内容が「うら」の行に自動的にコピーされます。

MEMO

- 特殊フォームでの入力を途中でやめるときは または を押して1つ前の状態に戻ります。
- 文章書式、段落スタイル、文字モードの指定内容は、インジケーターで確認できます。
- デザインフォームで指定されている文章書式、段落スタイル、文字モードの指定は変更できますが、特殊フォームで指定できる機能には制限があります。

参照 P.88 「特殊フォーム」

6 印刷する

参照 P.42 「8.印刷する」

MEMO

特殊フォームの印刷をした後は、特殊フォームの画面に戻ります。テキスト画面に戻るときは を押して1つ前の状態に戻ります。

フォーム/特殊フォームメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
フォーム フォーム ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>フォーム あらかじめ作られたフォームに文字や記号を入力するだけで、いろいろなデザインのラベルを簡単に作ることができます。 参照 P.83</p> </div>	A4ファイル B5ファイル フォルダー山 回覧の捺印 税込値札 備品管理票 CDケース FD・MO VHS(縦) VHS(横) 8mmビデオ ミニDV MD 音楽テープ DAT ケーブル 注意! 禁止! メッセージ 誕生祝い 住所&氏名 なまえ(縦) なまえ(横) 学校持ち物 お祝い 銘板	
特殊フォーム ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>特殊フォーム 通常のテキスト画面からでは作ることのできない特殊なデザインのラベルを作ることができます。 参照 P.88</p> </div>	見出し(縦) ▶ 見出し(横)	見出し(縦/横)長さ 1.8cm 3.2cm 6.0cm 8.0cm 11 cm
	ケーブル用 ▶	ケーブル用 2.6cm 5.0cm

ソフト + ファイル フォーム

機能編

フォーム見本

デザインフォーム

- A4ファイル/B5ファイル..... A4判/B5判ファイルの背見出しラベルとして最適です。
(推奨テープ幅：12mm)

出張案内	出張先 : 東京都 出張日 : 10月10日
------	---------------------------

1段落目

記号：2桁数字

2段落目

- フォルダー山... フォルダーの山の部分に最適です。(推奨テープ幅：12mm)

TITLE 出張ホテルデータ

1段落のみ

- 回覧の捺印..... 回覧文書に最適です。(推奨テープ幅：12~24mm)

回覧							
----	--	--	--	--	--	--	--

1段落目

2~8段落目

MEMO

段落を増やすと捺印の枠が増えます。

- 税込値札..... 値札に最適です。(推奨テープ幅：18~24mm)

キングジム XXXXX ¥1,050 (税込価格)

1段落のみ

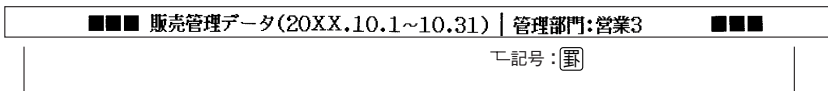
- 備品管理票..... 備品管理の表示に最適です。(推奨テープ幅：18~24mm)

備品名	デジタルPBX
管理番号	0512-S
購入年月	20XX年10月
管理部署	営業部

1段落目

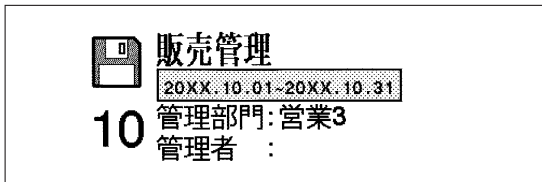
2段落目

■CDケース CDケースの背ラベルに最適です。(推奨テープ幅：4mm)



1段落のみ

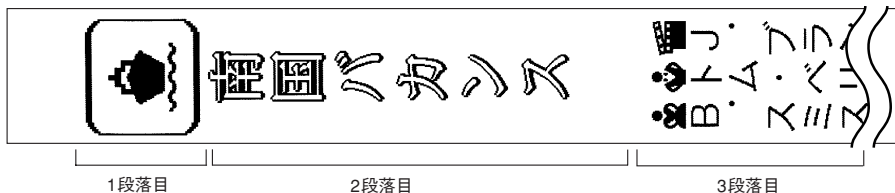
■FD・MO FDやMOのラベルに最適です。(推奨テープ幅：18~24mm)



1段落目

2段落目

■VHS(縦) VHSビデオテープのたて書きラベルに最適です。(推奨テープ幅：18mm)

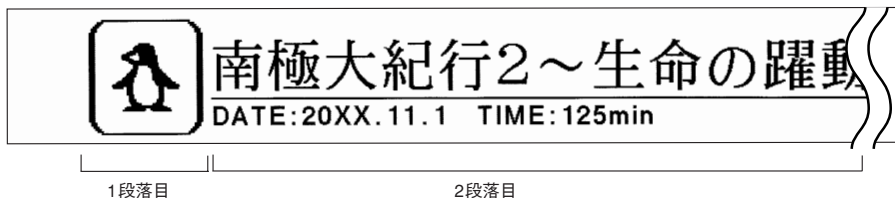


1段落目

2段落目

3段落目

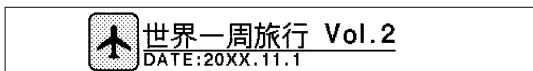
■VHS(横) VHSビデオテープのよこ書きラベルに最適です。(推奨テープ幅：18mm)



1段落目

2段落目

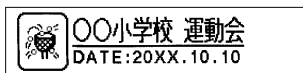
■8mmビデオ 8mmビデオのラベルに最適です。(推奨テープ幅：9mm)



1段落目

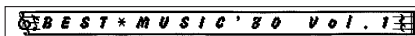
2段落目

■ミニDV ミニDV(デジタルビデオ)のラベルに最適です。(推奨テープ幅：9mm)



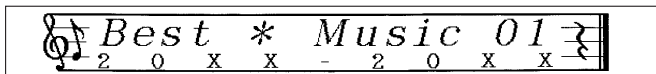
1段落目 2段落目

■MD MDのタイトルラベルに最適です。(推奨テープ幅：4mm)



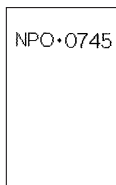
1段落のみ

■音楽テープ/DAT 音楽テープやDATのタイトルラベルに最適です。(推奨テープ幅：9mm)



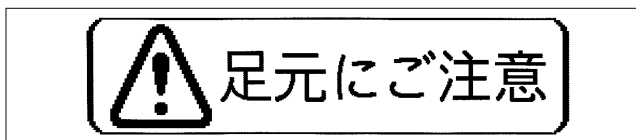
1段落のみ

■ケーブル 24mm幅ケーブル表示ラベル専用のフォームです。(推奨テープ幅：24mm)



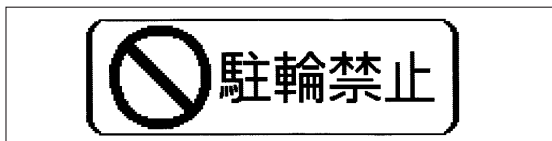
1段落のみ

■注意！ 注意喚起表示、警告表示に最適です。(推奨テープ幅：9～24mm)



1段落目 2段落目

■禁止！ 禁止表示に最適です。(推奨テープ幅：9～24mm)



1段落目 2段落目

■メッセージ..... インパクトのあるメッセージに最適です。(推奨テープ幅：9～24mm)



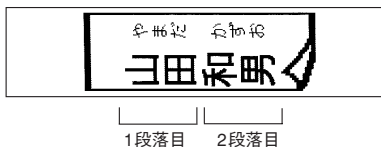
■誕生日..... 誕生日の表示に最適です。(推奨テープ幅：9～24mm)



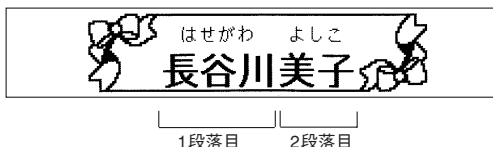
■住所&氏名..... 住所、氏名の表示に最適です。(推奨テープ幅：12～24mm)



■なまえ(縦)..... 名札や表札に最適です。(推奨テープ幅：6～24mm)



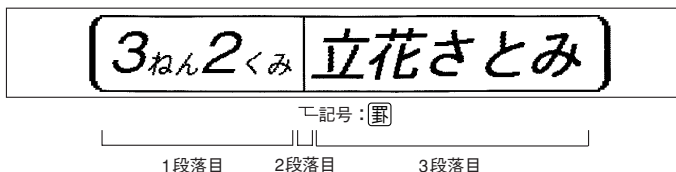
■なまえ(横)..... 名札や表札に最適です。(推奨テープ幅：6～24mm)



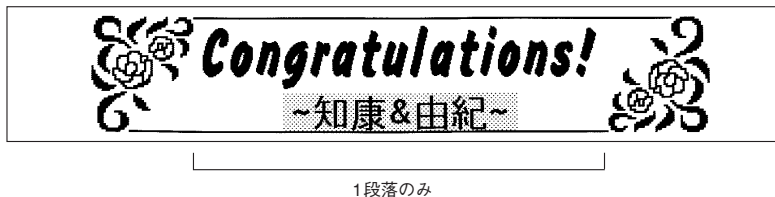
シフト
+
ファイル
フォーム

機
能
編

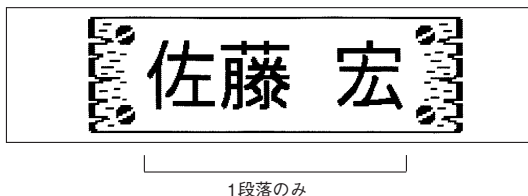
■学校持ち物 持ち物表示に最適です。(推奨テープ幅：4～24mm)



■お祝い お祝いのラベルに最適です。(推奨テープ幅：9～24mm)



■銘板 名札や表札に最適です。(推奨テープ幅：4～24mm)



特殊フォーム

!! 注意!!

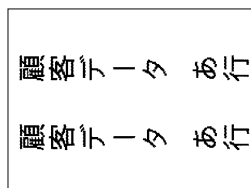
- 特殊フォームを呼び出すと、テキスト画面に入力した文章は消えてしまいます。特殊フォームを呼び出す前に、必要な文章はファイルに登録しておいてください。
参照 P.92 「ファイルに登録する」
- 入力内容にある「おもて」「うら」や「入力」は入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
- 特殊フォームで作成した文章は、ファイル登録できません。

MEMO

特殊フォームでも を押しながら (=消去) を押すと、入力した内容の全文消去ができます。

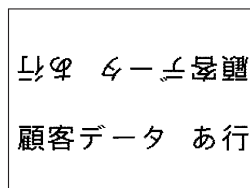
シフト + ファイル

■見出し(縦) ... たて書きのインデックスに最適です。



24mm幅テープ(長さ3.2cm)の印刷見本

■見出し(横) ... よこ書きのインデックスに最適です。



24mm幅テープ(長さ3.2cm)の印刷見本

入力内容

おもて [顧客データ] あ行
うら [顧客データ] あ行

指定可能な機能		文字モードのすべての機能	
入力条件	入力可能な行数	2行	
	入力可能な文字数	各行27文字	
印刷可能な文字数		長さ1.8cm	各行4文字
		長さ3.2cm	各行8文字
		長さ6.0cm	各行17文字
		長さ8.0cm	各行23文字
		長さ11cm	各行27文字

!! 注意!!

- 印刷可能な文字数は、文字モードを指定しない状態での文字数です。「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。また英数字のプロポーショナル対応文字を含む場合も印刷可能な文字数は変わります。ただし、入力可能な文字数は27文字までです。
- 文字間で「密着」を選ぶと「中寄せ」の状態で印刷されます。
- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは「定長→字余り」が表示されます。 または 以外のボタンを押して印刷を中止し、文字数を減らすか、「伸・縮」で文字を小さくしてください。そのまま または を押すと、定長を解除して印刷します。
- 4mm幅、6mm幅のテープには印刷できません。

MEMO

「おもて」の行で を押すと、「おもて」の行に入力した内容が「うら」の行に自動的にコピーされます。

■ケーブル用 ケーブル表示ラベル用の特殊フォームです。24mm幅テープに対応しています。

本館 5F

24mm幅テープ
(長さ2.6cm)1行
の印刷見本

入力内容

入力 [本館] 5F

指定可能な機能		文字モードのすべての機能	
入力条件	入力可能な行数	1行	
	入力可能な文字数	20文字	
印刷条件	印刷可能な行数	1行(24mm幅テープ時)	
	印刷可能な文字数	長さ2.6cm	10文字
		長さ5.0cm	20文字

!! 注意 !!

印刷可能な文字数は、文字モードを指定しない状態での文字数です。「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。また、英数字のプロポーショナル対応文字を含む場合も、印刷可能な文字数が変わります。ただし、入力可能な文字数は20文字までです。

MEMO

文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは「定長→字余り」が表示されます。 または 以外のボタンを押して印刷を中止し、文字数を減らすか、「伸・縮」で文字を小さくしてください。そのまま または を押すと、定長を解除して印刷します。

参考

「ケーブル用」には、ケーブル表示ラベル

印刷部分を汚れなどから保護する「セルフラミネート」タイプ。
白エリアに印刷し、透明エリアを巻きつけることによりラミネートできます。
SV24K: 24mm幅(ケーブル径 ϕ 2.1mm~ ϕ 5.4mm用)

「見出し(縦/横)」には、インデックスラベル

キングファイルのインデックス表示に最適。
ミシン目入りラベルなので、折りやすくキレイに貼れます。
STY24KM: インデックス山に貼り付けるタイプです(24mm幅 透明つや消し)。
SSY24K : 書類などに直接貼り付けるタイプです(24mm幅 白)。

●文章を呼び出す・登録する

本機の  ボタンでは、作成した文章を保存したり、あて名、辞書を登録できます。

ボタンを使う

作成した文章やあて名などのデータを登録するには、 ボタンを押して表示されるメニューから機能を選択します。

ファイルメニュー画面



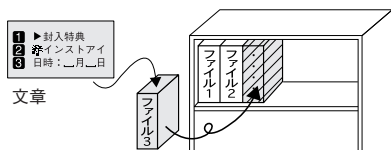
ファイルボタンのメニュー一覧 (**太字** は購入時の初期設定値です。)

メニュー	最初の選択肢	機能	参照ページ
ファイル ▶	登録	作成した文章にファイル名をつけて保存します	P.92
	呼出	登録した文章を呼び出します	P.93
	消去	登録した文章を消去します	P.94
	複写	登録した文章を別のファイルに複写します	P.95
あて名 ▶	登録	あて名を登録します	P.96
	修正	登録したあて名を修正します	P.98
	消去	登録したあて名を消去します	P.98
	複写	登録したあて名を複写します	P.99
	印刷	登録したあて名ラベルを印刷します	P.100
辞書 ▶	登録	語句に読みをつけて辞書登録します	P.104
	消去	登録した辞書を消去します	P.106

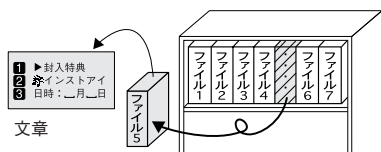
ファイルとは

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文章のほかに文章書式や段落スタイル、文字モードの指定内容などラベルの状態がそのまま登録されます。

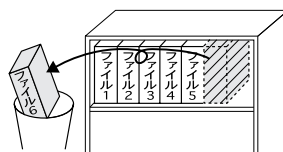
登録…文章を保存します。



呼出…ファイルを画面上に呼び出します。



消去…ファイルを削除します。



MEMO

- ファイル機能には、このほか、登録した文章を別のファイルに複写する「複写」機能があります。
- ファイルとあて名、名前は、同じエリアに保管されています。たくさんあて名、名前を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。

!! 注意 !!

大切なファイルやあて名、名前、外字のデータは、ファイル転送ソフト「DATAメモリーシステムSDM9」を利用し、パソコンにバックアップすることをお奨めします。

ファイルを登録する

ファイルに文章を登録します。ファイルはファイル番号01～99(99件)の中から番号を選んで登録します。

① を押す

② 「ファイル」を選び、を押す



「ファイル」メニューが表示されます。


③ 「登録」を選び、を押す

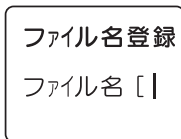


ファイル登録画面が表示されます。

④     または  ~  で登録するファイル番号を選び、を押す



⑤ ファイル名を入力し、を押す
ファイル名は15文字まで自由に付けられます。
入力しなくても登録できます。



⑥ 内容を確認し、を押す





「登録実行」と表示され、登録後にテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

「登録実行」表示中にACアダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる場合があります。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは  または  を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- ネガ文字があると「ファイル」メニューを表示できません。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリー満員」が表示されます。不要なファイル、あて名、名前データを消去してください。
- 本機には、約5,000文字(最大で99個のファイル、ファイル名を含む)を登録することができますが、たくさんのあて名や名前を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。
- ファイル登録できるのはテキスト画面の文章のみです。特殊フォームで作成した文章はファイル登録できません。
- 手順⑤で入力するファイル名は、ファイル転送ソフト「DATAメモリーシステムSDM9」を利用してパソコンにファイルを転送するときにSDM9の画面上に表示されます。わかりやすい名前をつけておくとう便利です。

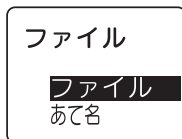
ファイルを呼び出す

ファイルに登録した文章をテキスト画面に呼び出します。「上書き呼出」と「連結呼出」の2つの呼び出し方法があります。「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面の文章は全消去され、呼び出したファイルの文章と置き換わります。

「連結呼出」を選ぶと、カーソルのある段落の直後に新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。ただし、カーソルが段落1の1行目の行頭マークにある場合は、カーソルのある段落の前に、新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。

① **ファイル**を押す

② 「ファイル」を選び、**選択**を押す



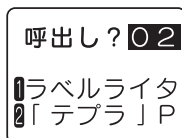
「ファイル」メニューが表示されます。

③ 「呼出」を選び、**選択**を押す



ファイル呼出画面が表示されます。

④ **←** **↑** **↓** **→** または **0** ~ **9** で呼び出したいファイルを選び、**選択**を押す



呼び出す内容の確認画面になります。

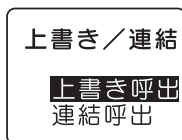
⑤ 内容を確認し、**選択**を押す

← **↑** **↓** **→** で文章を確認できます。



呼出方法を選択する画面になります。

⑥ 「上書き呼出」「連結呼出」のいずれかを選び、**選択**を押す



ファイルの文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

!! 注意 !!

- 「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面で作成していた文章は消え、**復活**を押しても復活させることはできません。「上書き呼出」を選ぶ前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。
- 「連結呼出」で呼び出す場合は、連結によって入力できる文章の制限をオーバーしても警告せず、そのまま呼び出します。オーバーした部分は自動的に文末から削除されます。

MEMO

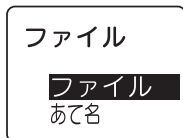
操作を途中でやめるときは **戻る** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

ファイルを消去する

ファイルは、1件ごと消去できます。

① **ファイル** を押す

② 「ファイル」 を選び、**選択** を押す



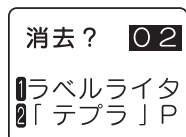
「ファイル」メニューが表示されます。

③ 「消去」 を選び、**選択** を押す



ファイル消去画面が表示されます。

④ **←** **↑** **↓** **→** または **☐** **0** ~ **☐** **9** で消去したいファイルを選び、**選択** を押す



消去する内容の確認画面になります。

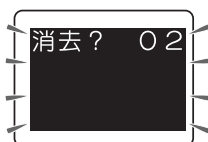
⑤ 内容を確認し、**選択** を押す

← **↑** **↓** **→** で文章を確認できます。



再確認の画面になります。

⑥ **選択** を押す



ファイルが消去され、テキスト画面に戻ります。


MEMO

- 消去したファイルは、**復活** を押しても復活させることはできません。
- 操作を途中でやめるときは **戻る** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことで、テキスト画面に戻ります。

ファイルを複写する

登録したファイルを別の番号のファイルへ複写します。

1 を押す

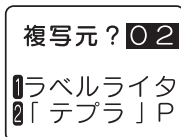
2 「ファイル」を選び、を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

3 「複写」を選び、を押す




ファイル複写画面が表示されます。

4 または  ~  で複写元のファイルを選び、を押す



複写する内容の確認画面になります。

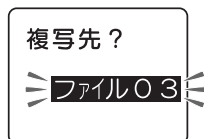
5 内容を確認し、を押す

で文章を確認することができます。



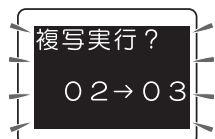
ファイル複写先選択画面が表示されます。

6 または  ~  で複写先のファイル番号を選び、を押す





複写の確認画面になります。

7 内容を確認し、を押す



ファイルが複写され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

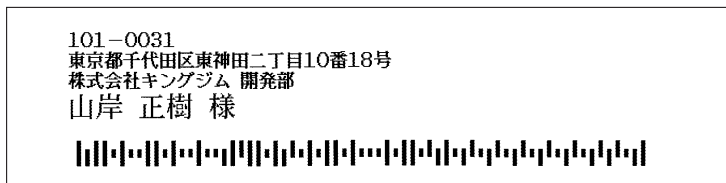
- 操作を途中でやめるときは  または  を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- ファイル複写をおこなっても、複写元のファイルは残ります。
- 複写先には文章だけでなくファイル名も複写されます。

●あて名や語句を登録する(あて名/辞書)

あて名ラベルを作る

あて名データとして郵便番号や住所・名前などを登録しておく、あて名ラベルをまとめて印刷することができます。

■登録できる項目とあて名ラベル



項目	入力内容	入力可能文字
〒番号(郵便番号)	[101-0031	8文字
住所1	[東京都千代田区東神田二丁目10番18号	20文字
住所2	[20文字
会社	[株式会社キングジム	20文字
部署	[開発部	20文字
氏名	[山岸 正樹	20文字
〒■■■■■(カスタマバーコード)	[10100312-10-18	20文字

バーコードに入力した内容は、カスタマバーコードとして印刷されます。

参照 P.102 「カスタマバーコードについて」

本機内に登録できるあて名は約5,000文字(最大99件のあて名)です。

!! 注意 !!

- あて名ラベルは24*mm幅テープに対応しています。
- 郵便番号に入力した先頭の2桁に対応する都道府県名を、「住所1」に自動的に入力することができます。郵便番号変換は、2003年12月時点のデータをもとにおこなっています。そのため、お客様が入力したい都道府県が候補として表示されない場合もありますのであらかじめご了承ください。

あて名を登録する

あて名データを登録します。あて名はあて名番号01~99(99件)の中から番号を選んで登録します。

① **ファイル**を押す

② 「あて名」を選び、**選択**を押す



「あて名」メニューが表示されます。

③ 「登録」を選び、**選択**を押す



あて名登録画面が表示されます。

- 4 ◀ ▶ ▲ ▼ または  ~  で登録する
あて名番号を選び、**選択** を押す

あて名登録 0 1
〒番号 [
住所 1 [

- 5 数字ボタンで郵便番号を入力する

あて名登録 0 1
号 [1 0 1 |
1 [

4桁目を入力すると、自動的にハイフン(ー)が挿入されます。

- 6 **変換スペース** を押す
郵便番号に対応する都道府県名と市区町村名の候補が表示されます。

- 7 地名が正しいときは、**選択** を押す
地名が違うときは、◀ ▶ ▲ ▼ で適切な地名を選びます。

あて名登録 0 1
京都千代田区
1 0 1 - 0 0


- 8 住所1を入力し、**選択** を押す

- 9 住所2、会社名、部署名、氏名を入力し、**選択** を押す

- 10 必要に応じてカスタマバーコードを入力します

カスタマバーコードの項目で **変換スペース** を押すと、郵便番号が自動的に入力されます。

続けて住所部分を入力します。

参照  P.102「カスタマバーコードについて」



あて名登録 0 1
1 0 - 1 8 |

- 11 全項目入力後、**選択** を押す
「登録実行」と表示され、登録後にテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

「登録実行」表示中にACアダプタや電池を抜かないでください。あて名の内容がこわれる可能性があります。

MEMO

- 未入力の項目があっても登録できます。
- 操作を途中でやめるときは  または  を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリー満員」が表示されます。不要なファイル・あて名・名前データを消去してください。
- たくさんの文章をファイルしていたり、名前を登録していると、登録できるあて名の件数が少なくなります。

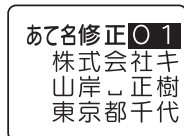
あて名を修正する

登録したあて名を修正します。

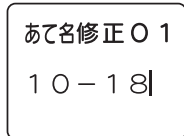
- 1 **ファイル**を押す
- 2 「あて名」を選び、**選択**を押す
「あて名」メニューが表示されます。
- 3 「修正」を選び、**選択**を押す



- 4 **←** **↑** **↓** **→** または **⓪** ~ **⓱** で修正したいあて名を選び、**選択**を押す



- 5 内容を修正し、**選択**を押す



「修正実行」と表示され、登録後にテキスト画面に戻ります。

MEMO

操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

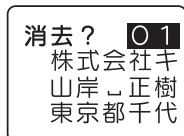
あて名を消去する

あて名は、1件ごと消去できます。

- 1 **ファイル**を押す
- 2 「あて名」を選び、**選択**を押す
「あて名」メニューが表示されます。
- 3 「消去」を選び、**選択**を押す



- 4 **←** **↑** **↓** **→** または **⓪** ~ **⓱** で消去したいあて名を選び、**選択**を押す



消去する内容の確認画面になります。

- 5 内容を確認し、**選択**を押す
← **→** で文章を確認できます。



再確認の画面になります。

- 6 **選択**を押す



あて名が消去され、テキスト画面に戻ります。


MEMO

- 消去したあて名は、**復活** を押しても復活させることはできません。
- 操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

あて名を複写する

登録したあて名を別の番号のあて名へ複写します。

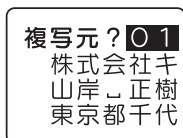
1  を押す

2 「あて名」を選び、 を押す
「あて名」メニューが表示されます。

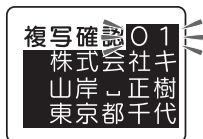
3 「複写」を選び、 を押す



4     または  ~  で複写元のあて名を選び、 を押す



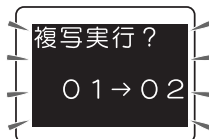
5 内容を確認し、 を押す



6     または  ~  で複写先のあて名番号を選び、 を押す





7 内容を確認し、 を押す



あて名が複写され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

操作を途中でやめるときは  または  を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

あて名ラベルを印刷する

あて名は、1件ごとのほか、全件まとめて印刷できます。

① **ファイル** を押す

② 「あて名」 を選び、**選択** を押す



「あて名」メニューが表示されます。

③ 「印刷」 を選び、**選択** を押す



ファイル
〔あて名〕

④ 印刷する範囲を選び、**選択** を押す

1部 : 1件のみ印刷します。

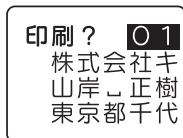
全部 : すべてのあて名を印刷します。



「全部」を選んだ場合は、すぐに印刷がはじまります。

「1部」の場合は次の手順であて名を選びます。

⑤ **←** **↑** **↓** **→** または **F0** ~ **F9** で印刷したいあて名を選び、**選択** を押す



あて名が印刷されます。

!! 注意 !!

- あて名ラベルは24*mm幅テープに対応しています。
- カスタマバーコード付きのあて名ラベルを印刷するときは、バーコードリーダーで読み取りやすい白ラベルに黒文字のテープで作成することをお奨めします。

MEMO

- あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的につきます。あて名登録時に氏名を入力しないと、会社名または部署名の後に「御中」がつきます。氏名まで入力すると、氏名の後に「様」がつきます。

氏名を入力しない「あて名」

101-0031
東京都千代田区東神田二丁目10番18号

株式会社キングジム
開発部 御中



「御中」がつきます

氏名まで入力した「あて名」

101-0031
東京都千代田区東神田二丁目10番18号

株式会社キングジム
開発部
山岸 正樹 様

「様」がつきます

- 操作を途中でやめるときは  または  を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

カスタマバーコードについて

郵便局では、郵便番号とあて名を合わせた情報からバーコードを作成し、処理していますが、差出し側があらかじめバーコードを印刷することもできます。このバーコードを「カスタマバーコード」といいます。本機では、郵便番号と住所表示番号を入力するだけで、「カスタマバーコード」を印刷することができます。

MEMO

- 「カスタマバーコード」は印刷する義務はありません。
- 「カスタマバーコード」は7桁郵便番号時のみご利用頂けます。
- 「カスタマバーコード」、「カスタマバーコード割り引き制度」などの利用についての詳細は、お客様の配達を受け持つ郵便局におたずねください。

カスタマバーコード指定の基本ルール

カスタマバーコードを印刷する場合、「あて名登録」の「カスタマバーコード(〒[|||||])」欄に「郵便番号」+「住所表示番号」を入力します。基本ルールを以下に示します。

例：千葉県鎌ヶ谷市右京塚
東3丁目20-5 鈴木・A&BコーポB604号

- 住所データを次のAとBの部分に分割する
住所A：「郵便番号」で指定される町域名まで
住所B：町域名以降の住所
- 住所Aを郵便番号に置き換える
〔-〕（ハイフン）は省略
- 住所Bにあるアルファベットの小文字は大文字に置き換える
- データ内にある以下の文字は取り除き、後ろのデータを詰める
「&」（アンパサント） 「/」（スラッシュ）
「・」（中黒） 「.」（ピリオド）
- ③および④で処理したデータから、算用数字、ハイフンおよび連続していないアルファベットを抜き出す
- 抜き出された文字の前にある下記の文字等は、ハイフン1文字に置き換える
「漢字」、「かな文字」、「カナ文字」、「漢数字」、
「空白」、「2文字以上連続したアルファベット文字」
- ⑥の置き換えで、ハイフンが連続する場合は1つにまとめる
- 先頭がハイフンの場合は取り除く
- アルファベットの前後にある（-）を取り除く
- ②で処理したデータに⑨で処理したデータをつなげる

	郵便番号	住所B
	XXX-XXXX	東3丁目-20-5 鈴木・A&BコーポB604号
(2)の処理	XXXXXXX	
(3)の処理	東3丁目-20-5	鈴木・A&BコーポB604号
(4)の処理	東3丁目-20-5	鈴木ABコーポB604号
(5)の処理	3	-20-5 B604号
(6)の処理	東 丁目	鈴木ABコーポ
	「-」に置き換え	
(6)の処理後	-3--20-5-B604	
(7)の処理	-3-20-5-B604	
(8)の処理	3-20-5-B604	
(9)の処理	3-20-5B604	
(10)の処理	XXXXXXXX3-20-5B604	

カスタマバーコードの記入例

- 漢数字が「丁目」「丁目」「番地」「号」「地割」「線」「の」「ノ」の前にある場合は、住所Bとし、算用数字に変換して指定します。

例 : 東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号
永井タワー601
郵便番号 : xxx-xxxx
住所B : 十一丁目六番地一号永井タワー601
バーコード [xxxxxxxx11-6-1-601]

例 : 北海道帯広市稲田町南七線西28
郵便番号 : xxx-xxxx
住所B : 七線西28
バーコード [xxxxxxxx7-28]

- 連続していないアルファベットは指定しますが、算用数字に続くアルファベット1文字「F」（ビル等の階数表示の略）については指定しません。
もし、「F」以降に指定対象となるデータがある場合は、「F」はハイフンに置き換えます。

例 : 茨城県日立市宮田町6丁目7-14
ABCビル2F
郵便番号 : xxx-xxxx
住所B : 6丁目7-14ABCビル2F
バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2]

例 : 茨城県日立市宮田町6丁目7-14
ABCビル2F201号室
郵便番号 : xxx-xxxx
住所B : 6丁目7-14ABCビル2F201号室
バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2-201]

- アルファベットの前後にあるハイフンは取り除きます。また、アルファベットの前後にあるハイフンを取り除いた結果、アルファベットが2文字以上連続してもアルファベットは取り除きません。

例 : 神戸市中央区港島中町9丁目7-6
南シティA棟1F1号
郵便番号 : xxx-xxxx
住所B : 9丁目7-6南シティA棟1F1号
バーコード [xxxxxxxx9-7-6A1-1]

例 : 京都府綾部市青野町綾部6-7
LプラザB106
郵便番号 : xxx-xxxx
住所B : 6-7 LプラザB106
バーコード [xxxxxxxx6-7LB106]

- バーコードの合計桁数が20文字を超えた場合、以降の文字については切り捨てます。

例 : 札幌市中央区南四条西29丁目 1524-23
第2山瀬ハウス501
郵便番号 : xxx-xxxx
住所B : 29丁目 1524-23第2山瀬ハウス501
バーコード [xxxxxxxx29-1524-23-2]

MEMO

本機ではバーコードは20文字まで入力できます。

変換できない語句を登録する(辞書の登録)

難しい人名や長い熟語など一度に漢字変換することが難しい「語句」に「読み」をつけて辞書登録しておく、通常の漢字変換と同じ操作で、簡単に変換できるようになります。

辞書には漢字だけでなく、記号・外字・英数字・英記号も登録できます。辞書番号01～30に最大30個まで登録できます。

例：特許出願書(とつきよしゆつ)を登録する

1 **ファイル**を押す

2 「辞書」を選び、**選択**を押す



「辞書」メニューが表示されます。

3 「登録」を選び、**選択**を押す

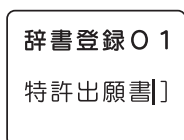


4 **←** **↑** **↓** **→** で登録する辞書番号を選び、**選択**を押す

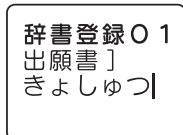


辞書の登録画面になります。

5 「語句」を入力し、**選択**を押す



6 「読み」をひらがなで入力する



7 **選択**を押す

語句が登録され、登録後にテキスト画面に戻ります。

MEMO

- 登録できる「語句」の文字数は5文字以内、「読み」の文字数は16文字以内です。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- 入力できる「読み」はひらがなのみです。
- 操作を途中でやめるときは、入力した文字をすべて削除してから**削除**または**ファイル**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 登録済みの辞書と同じ「語句・読み」を登録しようとする、「辞書にあり!」と表示され、登録できません。違う「語句・読み」を入力してください。
- 辞書登録では文章書式・段落スタイル・文字モード・連番・バーコードの登録はできません。
- 辞書がいっぱいでこれ以上登録できなくなると、「辞書満員!」が表示されます。それでも辞書の登録をしたい場合は、辞書消去で不要な辞書データを削除してください。

登録した語句を呼び出す

通常の漢字変換と同じように呼び出すことができます。

例：特許出願書を「とつきよしゅつ」で呼び出す

1 「とつきよしゅつ」を入力する



2 **変換スペース**を押す

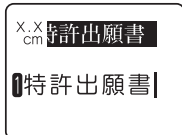
辞書登録した「特許出願書」が変換候補として表示されます。



3 「特許出願書」になっている状態で **選択**を押す



「特許出願書」が確定されます。

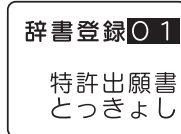


登録した語句を修正する

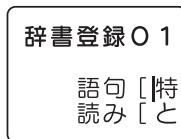
例：「読み」の「とつきよしゅつ」を「とくしゅつ」に変える

1 P.104「変換できない語句を登録する」の手順**1**～**3**をおこなう

2 修正したい語句を選び、**選択**を押す

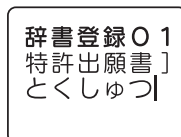


登録した語句が表示され、修正できる状態になります。



3 新しい「読み」を入力する

「とつきよしゅつ」を削除し、「とくしゅつ」と入力しなおします。



4 **選択**を押す

「読み」を修正した辞書が登録されます。

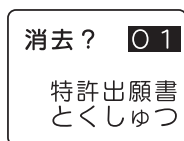
登録した辞書を消去する

登録されている辞書を消去します。

- 1 **ファイル**を押す
- 2 「辞書」を選び、**選択**を押す
「辞書」メニューが表示されます。
- 3 「消去」を選び、**選択**を押す



- 4 **← ↑ ↓ →**で消去したい辞書を選び、**選択**を押す



消去する内容の確認画面になります。

- 5 内容を確認し、**選択**を押す
← ↑ ↓ →で文章を確認できます。



- 6 **選択**を押す



辞書が消去され、テキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

消去した辞書は**復活**を押しても復活させることはできません。十分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

MEMO

操作を途中でやめるときは**削除取消**または**ファイル**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

● 名前ラベルを作る

名前 ボタンでは、名前を登録し、印刷できます。名前は、グループに登録できるので、1件だけで印刷することも、グループでまとめて印刷することもできます。

わたなべ のりひろ
渡辺 了洋

かるべ れいこ
軽部 禮子

名前メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
名前 登録 ▶ 登録 名前を登録します。 参照 P.108 修正 ▶ 修正 名前を修正します。 参照 P.109 消去 ▶ 消去 名前を消去します。 参照 P.110 印刷 ▶ 印刷 名前ラベルを印刷します。 参照 P.111	名前登録 ▶ 01~40	ふりがな修正 ▶	グループ登録 グループ無 グループ1 グループ2	
	ふりがな ▶	名前修正 ▶	ふりがな修正	グループ修正 グループ無 グループ1 グループ2
	ふりがな ▶	消去確認		
	名前印刷 ▶ 一部 全部 グループ1 グループ2	ふりがな ▶	ラベル指定 おまかせ おこのみ	(印刷指定)

名前
名前

機能編

名前を登録する

名前データを登録します。名前は名前番号01～40(40件)の番号に順に登録します。グループを指定して登録しておくと、印刷時にグループをまとめて印刷することができます。

1 名前を押す

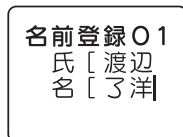


「名前」メニューが表示されます。

2 「登録」を選び、「選択」を押す

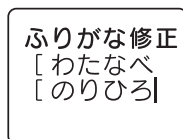


3 名前(氏と名)を入力し、「選択」を押す 各7文字まで入力できます。

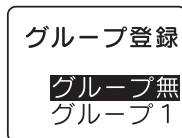


ふりがな修正画面が表示されます。

4 ふりがなを確認し、「選択」を押す 必要に応じてふりがなを修正します。



5 登録するグループを選び、「選択」を押す グループに登録しない場合は「グループ無」を選びます。



登録する内容の確認画面になります。

6 内容を確認し、「選択」を押す



「登録実行」と表示され、登録後にテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

「登録実行」表示中にACアダプタや電池を抜かないでください。名前の内容がかわれる可能性があります。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは **削除** または **名前** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリー満員」が表示されます。不要なファイル・あて名・名前データを消去してください。
- たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できる名前の件数が少なくなります。
- ネガ文字があるときは、**名前** ボタンで名前を登録できません。

名前を修正する

登録した名前を修正します。

- ① **名前**を押す
「名前」メニューが表示されます。

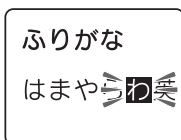


- ② 「修正」を選び、**選択**を押す

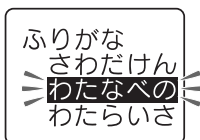


登録したふりがなの先頭文字の行候補が表示されます。

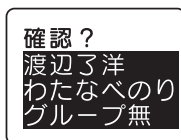
- ③ 名前の行を選び、**選択**を押す
ふりがなの先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな・英数以外の場合は「他」を選択します。



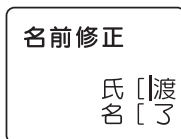
- ④ **← ↑ ↓ →**で修正したい名前を選び、**選択**を押す



- ⑤ 内容を確認し、**選択**を押す



- ⑥ 内容を修正し、**選択**を押す
以降は、P.108登録操作(手順③以降)と同様に登録します。



MEMO

- 操作を途中でやめるときは**削除**または**名前**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- ネガ文字があるときは、**名前**ボタンで名前を修正できません。

名前を消去する

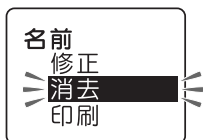
登録した名前を消去します。

1 名前を押す

「名前」メニューが表示されます。



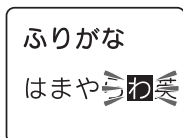
2 「消去」を選び、「選択」を押す



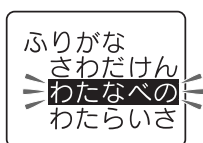
登録したふりがなの先頭文字の行候補が表示されます。

3 名前の行を選び、「選択」を押す

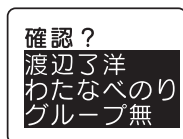
ふりがなの先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな・英数以外の場合は「他」を選択します。



4 方向キーで消去したい名前を選び、「選択」を押す



5 名前を確認し、「選択」を押す



6 名前を確認し、「選択」を押す

左右の方向キーで内容を確認できます。



7 「選択」を押す



「名前消去実行」メッセージが表示され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、**削除** または **名前** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- ネガ文字があるときは、**名前** ボタンで名前を消去できません。

名前ラベルを印刷する

名前は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。
また、印刷時に「おこのみ印刷」を選ぶと、書体やラベルの長さ(定長)などを指定できます。

1 「名前」を押す



「名前」メニューが表示されます。

2 「印刷」を選び、「選択」を押す



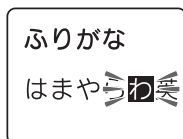
3 印刷する範囲を選び、「選択」を押す

- 一部 : 1件のみ印刷します。
- 全部 : すべての名前を印刷します。
- グループ1 : 選択したグループ内のすべて
- グループ2 : での名前を印刷します。

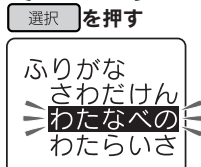


全部またはグループを選んだ場合は、ラベル指定の画面に変わります(手順7)。
一部の場合は次の手順で名前を選びます。

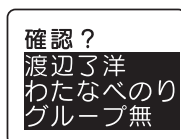
4 印刷したい名前の行を選び、「選択」を押す



5 < 上 下 > で印刷したい名前を選び、「選択」を押す



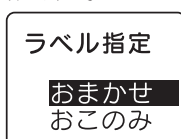
6 名前を確認し、「選択」を押す



ラベル指定の画面になります。

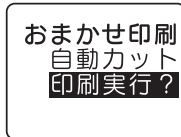
7 そのまま印刷する場合は「おまかせ」を選び、「選択」を押す

ここで「おこのみ」を選ぶと、定長印刷、書体、飾り字、ふりがなの有無が指定できます。





8 「印刷実行？」を選び、「選択」を押す

ここで「自動カット」を選ぶと、自動カットの有無が指定できます。



名前ラベルが印刷されます。

MEMO

操作を途中でやめるときは  または  を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

!! 注意 !!

4mm幅テープでは「ふりがな」が入力されていても、名前1行のラベルが印刷されます。

9mm幅テープ(「ふりがな」あり)

わたなべ のりひろ
渡辺 了洋

9mm幅テープ(「ふりがな」なし)

渡辺 了洋

4mm幅テープ

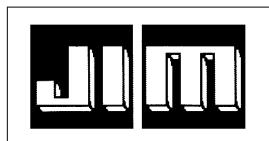
渡辺 了洋

●外字を使う

自分でデザインしたマークや会社のロゴ、対応していない漢字や内蔵されていない文字・記号は、外字として登録すると、文中に入力し印刷できます。

外字は正方形です。横長のロゴタイプなどは複数の外字に切り分けて登録し、「文字モード」で文字間を「密着」に指定すると、つながったロゴとして印刷できます。

外字2つに分けて登録(文字間「ふつう」)



文字間「密着」



MEMO

- 外字は4文字まで登録できます。
- データ転送ソフト「DATAメモリーシステムSDM9」を利用すると、パソコンで外字を作成・編集できます。

外字を作る概要

外字を登録するときは、1つの外字について、16・24・32・48ドットの4段階の大きさの字形データを作成します。これは、複数の文字サイズを美しく印刷するためです。

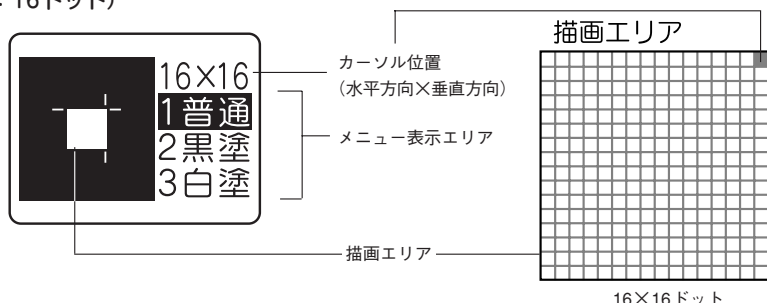
ただし、4段階すべての外字を始めから作る手間をなくすため、最初に16ドットのデータを入力すると、これをもとに自動的に拡大して24・32・48ドットの字形データを作り、後から細部を補正して作るしくみになっています。

画面表示と描画方法

外字の作成は、方眼紙のマス目を埋めていくような作業です。画面に表示された描画エリアを方眼紙に見立て、点(ドット)を塗りつぶしていきます。

画面表示

(例：16ドット)



描画方法(メニュー表示エリアで選択)

描画方法(メニュー)には、1ドットずつ塗りつぶす「普通」のほか、ブロックで黒く塗りつぶす「黒塗」、ブロックで白く塗りつぶす「白塗(=消去)」があり、それぞれ数字ボタン \square_{1} / \square_{2} / \square_{3} で選択します。

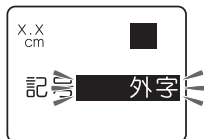
メニュー	描画方法	手順
普通	1つ1つの点(ドット)ずつ塗りつぶす方法	<ol style="list-style-type: none"> \square_{1}を押す。 メニュー「1普通」がネガ表示されます。 塗りつぶすドットにカーソルを \leftarrow \uparrow \downarrow \rightarrowで移動する。 シフトを押す。 カーソル位置が黒く塗りつぶされます。もう一度押すと、白く塗りつぶされます。
黒塗	広い範囲のブロックを黒く塗りつぶす方法 指定範囲	<ol style="list-style-type: none"> \square_{2}を押す。 メニュー「2黒塗」がネガ表示されます。 塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを \leftarrow \uparrow \downarrow \rightarrowで移動する。 シフトを押す。 対角線上のもう一方の頂点にカーソルを \leftarrow \uparrow \downarrow \rightarrowで移動する。 シフトを押す。手順②と④で指定した範囲全体が黒く塗りつぶされます。
白塗	広い範囲のブロックを白くする(消す)方法 指定範囲	<ol style="list-style-type: none"> \square_{3}を押す。 メニュー「3白塗」がネガ表示されます。 塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを \leftarrow \uparrow \downarrow \rightarrowで移動する。 シフトを押す。 対角線上のもう一方の頂点にカーソルを \leftarrow \uparrow \downarrow \rightarrowで移動する。 シフトを押す。手順②と④で指定した範囲全体が白く塗りつぶされます。

外字を作成し、登録する

例：外字番号「2」に「記号」を登録する

① 記号を押す

② 「外字」を選び、「選択」を押す
「外字」メニューが表示されます。



③ 「登録」を選び、「選択」を押す



描画エリアと外字番号が表示されます。

④ 登録する番号に「2」を選び、「選択」を押す



⑤ 16ドットのデータを描画する

シフトと ← ↑ ↓ → で描画します。
参照 P.114 「画面表示と描画方法」



⑥ 16ドットの描画が終わったら、「選択」を押す

16ドットのデータをもとに、24・32・48ドットのデータが自動的に拡大作成されます。



⑦ 24・32・48ドットのデータを補正する

手順⑤と同様の操作で、拡大されたデータを補正します。「選択」を押すと、次のサイズの描画に移ることができます。

!! 注意 !!

24～48ドットすべてのデータを補正しないと、文字サイズによってはきれいに印刷されません。

⑧ 48ドットの描画が終わったら、「選択」を押す

「外字登録完了」と表示され、登録後にテキスト画面に戻ります。

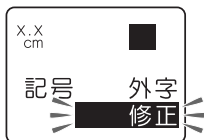
MEMO

- 操作を途中でやめるときは、**削除** または **記号** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- ネガ文字があるときは、**記号** ボタンで外字を新規作成できません。

外字を修正する

例：外字番号「2」の48ドットデータを修正する

- 1 記号を押す
- 2 「外字」を選び、選択を押す
「外字」メニューが表示されます。
- 3 「修正」を選び、選択を押す



登録されている外字番号が表示されます。

- 4 修正する外字番号「2」を選び、選択を押す



16ドットの描画画面が表示されます。

- 5 48ドットの描画画面が表示されるまで 選択を押す



- 6 48ドットのデータを修正する
参照 P.114 「画面表示と描画方法」

- 7 選択を押す
外字が修正され、テキスト画面に戻ります。

外字を呼び出す

登録した外字を入力します。

- 1 外字を入力する部分にカーソルを合わせる
- 2 記号を押す
- 3 「外字」を選び、選択を押す
- 4 「呼出」を選び、選択を押す
- 5 呼び出す外字を選び、選択を押す



カーソル位置に外字が入力されます。

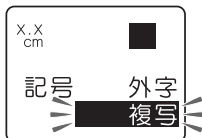
MEMO

操作を途中でやめるときは **削除** または **記号** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

外字を複写する

外字を別の外字番号に複写します。

- 1 記号を押す
- 2 「外字」を選び、**選択**を押す
- 3 「複写」を選び、**選択**を押す



- 4 複写元の外字番号を選び、**選択**を押す



- 5 複写先の外字番号を選び、**選択**を押す



複写する内容の確認画面になります。

- 6 内容を確認し、**選択**を押す



外字が複写され、テキスト画面に戻ります。

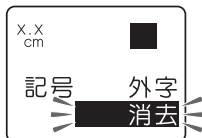
MEMO

- 複写の操作を途中でやめるときは、**削除**または**記号**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- ネガ文字があるときは、**記号**ボタンで外字を複写できません。

外字を消去する

登録されている外字を消去します。

- 1 記号を押す
- 2 「外字」を選び、**選択**を押す
- 3 「消去」を選び、**選択**を押す



- 4 消去する外字番号を選び、**選択**を押す



消去する内容の確認画面になります。

- 5 内容を確認し、**選択**を押す



外字が消去され、テキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

消去した外字は**復活**を押しても復活させることはできません。十分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、**削除**または**記号**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- ネガ文字があるときは、**記号**ボタンで外字を消去できません。
- 消去された外字が文章などに使われていた場合、その外字は空白として印刷されます。

外字を参照作成し、登録する

参照登録・参照修正は、本機に内蔵されている文字や記号のデータから外字を作成します。

●参照登録

テキストの文字(記号)を呼び出し、16ドットを修正します。修正された16ドットの文字(記号)を自動拡大(24→32→48ドット)しながら外字を作成します。

●参照修正

テキストの文字(記号)を呼び出し、16・24・32・48ドットの各サイズでテキストの文字(記号)を呼び出しそれぞれ修正し、外字を作成します。

基本の操作は「外字を登録する」・「外字を修正する」と同じように操作をしていきますが、参照登録・参照修正は、はじめにテキスト画面に参照登録・参照修正したい文字(記号)を入力しておきます。

例：「記号」の「生き物」の「」にヒゲをつけて「」にする

1 参照する文字(記号)を入力し、カーソルをその後ろ(右側)に合わせる



6 データを修正する

参照文字が16ドットで表示されますので、これをもとに修正します。

を押すと次のサイズの修正画面に移ります。

参照  P.114 「画面表示と描画方法」



7 48ドットの描画が終わったら を押す

「参照登録完了」と表示され、登録後にテキスト画面に戻ります。

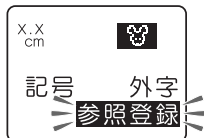
MEMO

- 連番、バーコード、編集記号、半角スペース、外字は参照できません。
- 参照できる文字は、テキスト画面でカーソルの左側にある1文字だけです。

2 を押す

3 「外字」を選び、 を押す

4 「参照登録」または「参照修正」を選び、 を押す



5 登録する外字番号を選び、 を押す



MEMO

- 操作を途中でやめるときは、 または を押してください。ただし、それまでに描画していた別のサイズの外字データもなくなります。
- ネガ文字があるときは、 ボタンで外字を参照作成できません。

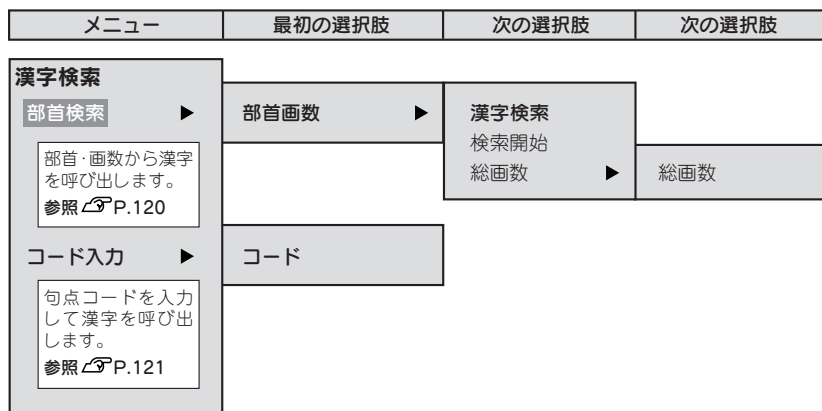
●読みのわからない漢字を入力する

「読み」のわからない漢字は、**シフト**を押しながら**名前**を押す漢字検索機能で部首・画数による検索や、コードによる入力ができます。入力できるコードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードです。本書では部首一覧表と区点コード表を掲載しております。JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書もしくはコード表をご参照ください。

参照  P.155 「漢字変換表」

漢字検索メニュー一覧

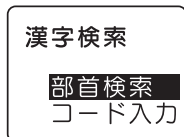
シフトを押しながら**名前**(=漢字検索)を押すと以下のメニューが表示されます(**太字**は購入時の初期設定値)。



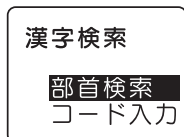
部首・画数による漢字検索

例：「画」を入力する

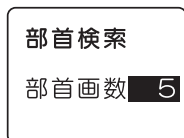
- 1** **シフト**を押しながら**名前**(=漢字検索)を押す
漢字検索メニューが表示されます。



- 2** 「部首検索」を選び、**選択**を押す

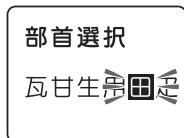


- 3** 検索する部首の画数を入力し、**選択**を押す
5を押します。

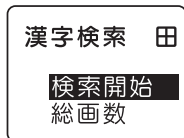


- 4** **左**、**上**、**下**、**右**で部首を選び、**選択**を押す

「田」を選択します。
選択した部首をもつ全ての漢字から選択する場合は**5**へ、
その部首を含めた総画数から選択する場合は**7**へ進んでください。



- 5** 「検索開始」を選択し、**選択**を押す



- 6** 目的の漢字を選び、**選択**を押す
「画」が入力されます。
これで入力完了です。



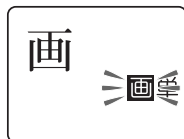
- 7** 「総画数」を選び、**選択**を押す



- 8** 検索する漢字の総画数を入力し、**選択**を押す
8を押します。



- 9** 目的の漢字を選び、**選択**を押す
「画」が入力されます。



MEMO

- ネガ文字があるときは**シフト**を押しながら**名前**(=漢字検索)を押しても、漢字検索できません。
- 部首画数で入力できる数字は1~17です。0もしくは18以上は入力できません。
- 総画数で入力できる数字は1~33です。0もしくは34以上は入力できません。

コードで入力する

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。

入力できるコードの種類は区点コード・JISコード・シフトJISコードです。

本書には区点コード表を掲載しております。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照  P.155 「漢字変換表」

例：「お休み處」と入力する

1 ネガ文字がないことを確認する



2 入力したい漢字「處」のコードを調べる

コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。

處…4961(区点コード)

参照  P.155 「漢字変換表」



3 を押しながら (=漢字検索) を押す

漢字検索メニューが表示されます。

4 「コード入力」を選び、 を押す



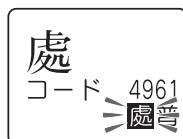
MEMO

ネガ文字があるときは、 を押しながら  を押しても漢字検索画面にならず、ネガ文字が変換されます。文字を確定したあとにおこなってください。

5 コードを入力する


    を押します。

最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。



コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961は区点コードでは「處」ですが、JISコードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

MEMO

コードの入力を間違えたときは  を押して入力しなおしてください。

6 「處」を選び、 を押す

カーソル位置に「處」が入力されます。



●連番やバーコードを印刷する

シフトを押しながら記号(=連番/バーコード)を押すと、連続番号やバーコードが入力できます。

連番/バーコードメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
連続番号 ▶ 連続番号の入ったラベルを作ります。 参照 P.123	初期値入力 ▶	繰返し回数		
		1回		
		2回		
		3回		
		4回		
		5回		
		10回		
バーコード バーコードの入ったラベルを作ります。 参照 P.125	JAN-8 ▶ JAN-13 ▶ ITF ▶ NW-7 ▶ UPC-A ▶ UPC-E ▶	全体の幅 ▶ 小さめ ふつう 大きめ	(NW-7、ITF) 細・太の比率 ▶ 2.0 2.5 3.0	(NW-7、ITF) C/D ▶ あり なし

シフト + 記号 [連番/バーコード]

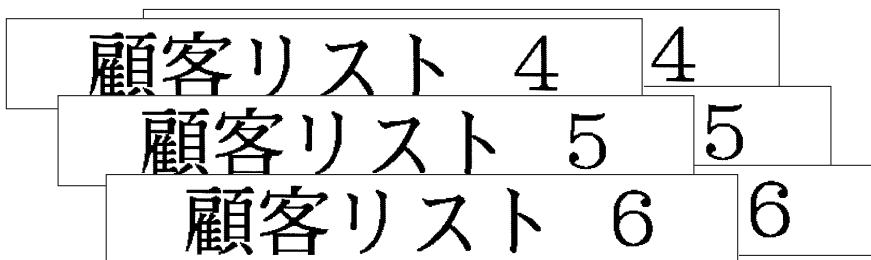
機能編

連番を印刷する

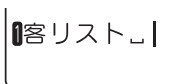
数字または英字の部分だけが異なる複数のラベルを作る場合、連続番号を指定すると、1枚印刷するたびに、自動的に加算して印刷します。

連続番号を印刷するときは、初期値と繰り返し回数(1、2、3、4、5、10回)を指定します。繰り返し回数では同じ数字を何回繰り返すかを指定します。

例 : 4、5、6…の入ったラベルを2枚ずつ作る



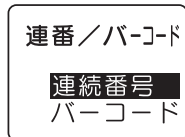
- 1 連番を入れる位置にカーソルを合わせる



- 2 **シフト** を押しながら **記号** (=連番/バーコード) を押す

「連番/バーコード」メニューが表示されます。

- 3 「連続番号」を選び、**選択** を押す



「初期値入力」画面が表示されます。

- 4 初期値に「4」を入力し、**選択** を押す



MEMO

初期値には、数字の場合2桁まで、英字の場合1文字を入力できます。

- 5 繰り返し回数「2回」を選び、**選択** を押す



テキスト画面に戻り、カーソル位置に連番(連番マーク **N** + 数値エリア「4」)が表示されます。



6 印刷を押す

「4」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト 4

7 印刷を押す

繰り返し回数「2回」を指定しているので、2枚目の「4」のラベルが印刷されます。

顧客リスト 4

印刷後、数値入力エリアの番号が加算され「5」になります。

8 印刷を押す

「5」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト 5

以降、同様に繰り返します。

MEMO

- 連番の初期値に指定できるのは、数字の0～9または00～99とアルファベットのA～Z、a～zです。小数点やマイナスは指定できません。
- 数字の場合、1、2、3、4…と99(または、01、02、03、04…と99)まで数字が1つずつ繰り返しあがります。英字の場合、A(a)、B(b)、C(c)、D(d)とアルファベット順に1つずつ繰り返しあがります。
- 1つの文章に入力できる連番は、バーコードと合わせて3個までです。
- 連番の初期値や繰り返し回数を変更する場合は、連番の直後(右側)にカーソルを合わせ、**シフト**+**記号**(=連番/バーコード)を押してください。「連番」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- 連番を削除するときは、連番の直後(右側)にカーソルを合わせ、**削除**を押してください。
- 連番(連番マーク **N** + 数値エリア)にも、通常の文字と同様に、文章書式、段落スタイル、文字モードの機能を指定できます。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルを枚数分印刷することができます。参照 [P.128](#) 「同じラベルを連続して印刷する(ぞく?)」

バーコードを印刷する

各種規格に準じたバーコードを印刷することができます。

印刷できるバーコードの規格と指定できる項目

規格	全体の幅		
	小さめ	ふつう	大きめ
JAN-13・JAN-8 UPC-A・UPC-E	○	○	○
NW-7・ITF	○	○	○

太字 は購入時の初期設定値です。

○：指定可能

－：指定不要

全体の幅：バーコード全体の幅

細・太の比率：細いバーと太いバーの太さの比率

C/D：チェックデジットの有無

!! 注意 !!

バーコードを作成する際は、そのバーコードの規則にしたがって入力してください。

例：「ITF」のバーコード（全体の幅大きめ、細・太の比率3.0、C/Dあり）を印刷する



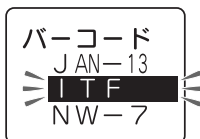
1 **シフト** を押ししながら **記号** (=連番/バーコード) を押す

「連番/バーコード」メニューが表示されます。

2 「バーコード」を選び、**選択** を押す



3 「ITF」を選び、**選択** を押す



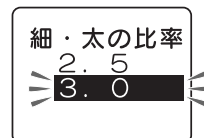
「全体の幅」メニューが表示されます。

4 「大きめ」を選び、**選択** を押す



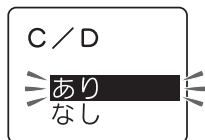
「細・太の比率」メニューが表示されます。

5 「3.0」を選び、**選択** を押す



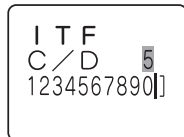
「C/D」メニューが表示されます。

6 「あり」を選び、**選択**を押す



バーコードの数値入力画面になります。

7 数値ボタンでバーコードの数値を入力する



数値が表示されます。右上の網かけ部にはチェックデジットが自動的に発生します。なお、入力できる桁数は規格によって異なります。

8 **選択**を押す

テキスト画面に戻ります。カーソル位置にバーコードマーク()が表示されます。



9 **印刷**を押す

バーコードのラベルが印刷されます。

MEMO


- 1つの文章に入力できるバーコードは、連番と合わせて3個までです。
- バーコードはデータ量が多いため、ファイルに保存するとたくさんメモリーを使用します。
- バーコードの数値を変更したり、規格などを変更する場合は、バーコードマーク()の直後(右側)にカーソルを合わせ、**シフト**+**記号**(=連番/バーコード)を押してください。「バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- バーコードの数値を修正するときは、数値入力画面に入り、前の数字を削除してから新しい数字を入力してください。
- バーコードを削除するときは、バーコードマーク()の直後(右側)にカーソルを合わせ、**削除**を押してください。
- バーコードマークにも、通常の文字と同様に、段落スタイル、文字モードの機能を指定できますが、反映されるものは以下のとおりです。

バーコードマークに反映される機能

段落スタイル	外枠・表組、割付け
文字モード	囲み・網





- 印刷したバーコードは、ご使用になっているお手持ちのバーコードリーダーで読み取りの確認をしてからご使用ください。お手持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、「全体の幅」や「細・太の比率」を調整し、再度確認してください。
- バーコードの印刷は、バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒文字のテープカートリッジをお奨めします。
- 規格によって入力できる桁数が異なります。ITFとNW-7は1~19桁です。
- ITFは偶数桁数のみの規格です。チェックデジットを「あり」に指定して偶数桁を入力した場合、または「なし」に指定して奇数桁を入力した場合は、1桁目にスペアコード(0)が自動的に発生します。
- UPC-Eのチェックデジットは数値入力画面やバーコードの数字には表示されません。
- NW-7は始めと終わりに「A、B、C、D」のいずれかを入力しなければ、作成したラベルをバーコードリーダーで読み取ることができません。
- バーコードのバーの長さ(線の部分)と数字の長さが一致しないことがありますが、ご使用上問題はありません。

●特殊な印刷(ぞく²、でか²)

 ボタンを押すと、連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷などの特殊な印刷を指定できます。

特殊印刷メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
特殊印刷 連続印刷 同じラベルを連続して印刷します。 参照  P.128	連続印刷 ▶ 止めるまで しない 2枚ぞく ² 3枚ぞく ² …… …… 100枚ぞく ²	
拡大印刷 ラベルを拡大して印刷します。 参照  P.129	拡大印刷 ▶ しない 2倍でか ² ▶ 3倍でか ³ ▶ 4倍でか ⁴ ▶	2/2 1/2 1/2 3/3 1/3 1/3 1/3 4/4 1/4 1/4 1/4 1/4
鏡文字印刷 鏡像反転して印刷します。 参照  P.131	鏡文字印刷 ▶ しない 鏡像	
自動カット 印刷後のカットの有無を設定します。 参照  P.132	自動カット ▶ する しない	
	印刷実行？	

同じラベルを連続して印刷する(ぞく²)

同じラベルを指定した枚数分だけ続けて印刷します。

例 : 同じラベルを 3 枚連続して印刷する

1 文章を入力し、**ぞく²**を押す
「特殊印刷」メニューが表示されます。

2 「連続印刷」を選び、**選択**を押す

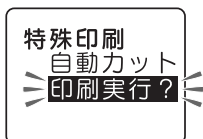


3 「3枚ぞく²」を選び、**選択**を押す



「特殊印刷」メニューに戻ります。

4 「印刷実行?」を選び、**選択**を押す



印刷が開始されます。1枚目の印刷が終了するとテープがカットされ、同様に2枚目、3枚目が印刷されます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは**削除**または**ぞく²**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 「連続印刷」メニューの「止めるまで」を選択した場合、最大100枚まで印刷を続けます。印刷を停止したいときは、いずれかのボタンを押してください。
- 指定した枚数のラベルの全長が16mを超える場合は印刷できません。枚数を減らすか、文字数を減らすなどしてラベルの長さを短くしてください。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルが枚数分印刷されます。例えば、初期値「1」繰り返し回数1回の連番を3枚連続して印刷すると、「1」「2」「3」というラベルが連続して印刷されます。参照 **P.123** 「連番を印刷する」

!! 注意 !!

- 特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行?」を選択したときのみ実行されます。**印刷**ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。
- 連続印刷をするときは、テープ出口付近にラベルがたまらないように注意し、こまめにラベルを取り除いてください。テープ出口付近にラベルをためておくと、同じラベルを再びカットするおそれがあります。
- 印刷途中でテープが終了しても、指定した枚数分の印刷カットをおこないます。刃の磨耗を防ぐため、印刷途中でテープが終了した場合は、**削除**を押して印刷を中止してください。

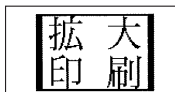
テープ幅より大きなラベルを作る(でか²)

印刷内容を2倍、3倍、4倍に拡大し、部分ごとに分けて印刷することでテープ幅より大きなラベルが作れます。できあがったラベルは貼り合わせて使用してください。

「2倍でか²」なら上下2枚で1組、「3倍でか³」なら上中下3枚で1組のラベルになります。大きさを指定した後に、「1/2」「1/3」などを選ぶと、1組のうちの該当する部分の1枚だけを印刷できます。

●拡大印刷の種類(サンプルは12mm幅のラベルです)

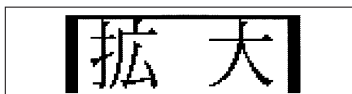
 ボタンによる
通常の印刷



2倍でか² 2倍拡大



1/2



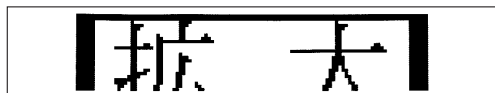
1/2



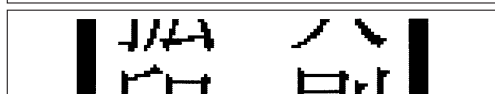
3倍でか³ 3倍拡大



1/3



1/3



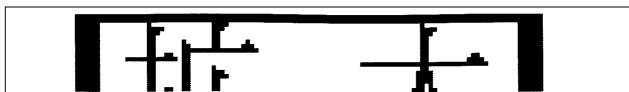
1/3



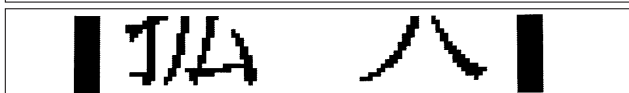
4倍でか⁴ 4倍拡大



1/4



1/4




1/4



1/4



例 : 3 倍に拡大して印刷をする

1 文章を入力したあと  を押す
「特殊印刷」メニューが表示されます。

2 「拡大印刷」を選び、 を押す




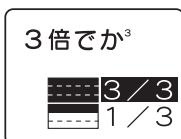
「拡大印刷」メニューが表示されます。

3 「3倍でか³」を選び、 を押す

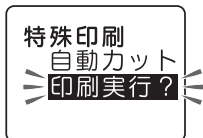


「3倍でか³」メニューが表示されます。

4 「3/3」を選び、 を押す
「3/3」が指定され、「特殊印刷」メニューに戻ります。

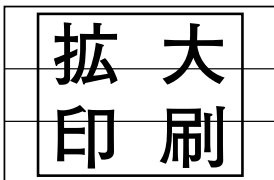


5 「印刷実行？」を選び、 を押す





3枚1組のラベルが1枚ずつ印刷されます。

6 テープを貼り合わせる




上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。


MEMO

- 操作を途中でやめるときは  または  を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 「拡大印刷」で作ったラベルを貼り合わせたと、多少のズレが生じることがあります。
- 長い文章を「拡大印刷」で印刷しようとする場合、全長が16mを超えて印刷できないことがあります。2組に分けるなど指定をし直してください。
- 「拡大印刷」は通常の印刷内容を2倍、3倍、4倍にする機能です。そのため、定長印刷を指定した場合に「拡大印刷」をおこなうと、指定した長さの2倍、3倍、4倍のラベルが印刷されます。
- 画面に表示されるテープの長さは、通常の印刷時の長さです。「拡大印刷」で印刷すると、表示される長さの2倍、3倍、4倍の長さのラベルが印刷されます。

拡大印刷	テープ幅	テープ長さ	使用するテープ量
2倍でか ²	約2倍	約2倍	約4倍
3倍でか ³	約3倍	約3倍	約9倍
4倍でか ⁴	約4倍	約4倍	約16倍

例えば「3倍でか²」で印刷をおこなうと、 ボタンによる通常の印刷に比べて、幅が約3倍、長さが約3倍のラベルになるので、使用するテープ量は約9倍になります。

!! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。 ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。

参考

カラフルな3倍でか³


「3倍でか³」の上中下をそれぞれ違う色の同じ幅のテープに印刷してカラフルなラベルを作ってみましょう。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換える際にはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。

●「自動カットなし」で印刷


本機は、印刷時にラベルを自動的にカットしますが「自動カットなし」にも設定できます。

!! 注意 !!

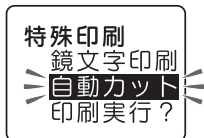
本機の cutter でカットできない反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベルを使う場合は、「自動カットなし」にして印刷してください。

参照  P.145 「テープカートリッジを使いわせる」



「自動カットなし」にする

1  (= 特殊印刷) を押す
「特殊印刷」メニューが表示されます。

2 「自動カット」を選び、 を押す

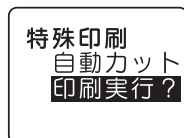


「自動カット」が表示されます。

3  で「しない」を選び、 を押す



4  で「印刷実行?」を選び、 を押す




印刷が始まります。


印刷が終わるとテープはカットされず、そのまま止まります。カートリッジを取り出してハサミなどでカットしてください。


自動カットしない場合は、毎回この操作をおこなってください。

MEMO

- 自動カットなしで印刷したラベルは、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
- 自動カットが無効でも、「テープ送り」メニューの「送りカット」ではテープをカットすることができます。

参照  P.30 「5.テープ送りをする」

参照  P.64 「文章書式のメニュー一覧」

- Cutter は刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。Cutter の刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照  P.188 「アフターサービスについて」

●各種の初期値(保存値)を設定する

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。

本機では(書式)、(スタイル)、(モード)ボタンを使って、次のような機能を指定することができます。

ボタンの機能

ボタン	指定できる機能
文章書式	地紋印刷、定長印刷、余白
段落スタイル	縦・横、文字サイズ、割付け、外枠・表組
文字モード	書体、飾り字、伸・縮、囲み・網、文字間

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値(「初期設定値」と呼びます)とは異なる場合、保存値を変更しておく、文章を作るたびに(書式)、(スタイル)、(モード)ボタンで変更する必要がなくなります。

ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておく、通常は「たて書き」のラベルになります。

なお、変更した保存値は、保存値の復元によって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

MEMO

- 各機能の初期設定値についてはP.64「文章書式のメニュー一覧」、P.65「段落スタイルのメニュー一覧」、P.68「文字モードのメニュー一覧」を参照してください。
- (書式)、(スタイル)、(モード)ボタンでの指定内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻ります。
- ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。

!! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照 P.48 「すべての文章を消去する」

環境設定メニュー一覧

シフトを押しながら復活 (=環境設定) を押すと、画面の表示濃度や機能の保存値の設定を変更できます(太字は購入時の初期設定値)。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
環境設定		
印刷濃度 ▶	-3 : ふつう : +3	
印刷濃度 印刷の濃さを設定します。 参照 P.136		
表示濃度 ▶	-5 : ふつう : +5	
表示濃度 画面表示の濃さを設定します。 参照 P.137		
保存値復元 ▶	実行?	
保存値復元 保存値を初期設定に戻します。 参照 P.135		
保存値設定 ▶	地紋印刷 ▶ 定長印刷 ▶ 余白 ▶ 縦・横 ▶ 文字サイズ ▶ 割付け ▶ 外枠・表組 ▶ 書体 ▶ 飾り字 ▶ 伸・縮 ▶ 囲み・網 ▶ 文字間 ▶ 終わり?	詳細な項目を設定できません。設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。

シフト + 復活 (環境設定)

機能編

保存値を変更する

- 1 **シフト**を押しながら^{削除}**削除**(=消去)押し、全文消去をおこなう

!! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照 **P.48** 「すべての文章を消去する」

- 2 **シフト**を押しながら^{復活}**復活**(=環境設定)を押す

- 3 「保存値設定」を選び、**選択**を押す



- 4 変更したい項目を選び、**選択**を押す



- 5 保存値に設定したい選択肢を選び、**選択**を押す



各項目の設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。

参照 **P.61** 「ラベルの見栄えをよくする」

- 6 変更したいすべての項目の設定が終わったら、「保存値設定」メニューから「終わり?」を選び、**選択**を押す



保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

保存値を初期設定値に戻す

変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値(初期設定値)に戻します。

- 1 **シフト**を押しながら^{削除}**削除**(=消去)押し、全文消去をおこなう

!! 注意 !!

保存値の設定を初期設定値に戻すときには、全文消去をする必要があります。

参照 **P.48** 「すべての文章を消去する」

- 2 **シフト**を押しながら^{復活}**復活**(=環境設定)を押す

- 3 「保存値復元」を選び、**選択**を押す



- 4 「実行?」を選び、**選択**を押す



保存値が初期設定値に戻ります。

MEMO

操作を途中でやめるときは^{削除}**削除**または^{復活}**復活**を押します。この操作により、テキスト画面に戻ることができます。

●印刷濃度を調整する

印刷濃度は7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「ふつう」でご使用ください。

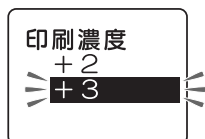
1 **シフト**を押しながら**復活**(=環境設定)を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

2 「印刷濃度」を選び、**選択**を押す



「印刷濃度」が表示されます。

3 **↑**/**↓**で濃度を調整し、**選択**を押す



印刷濃度が設定されます。

MEMO

- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度にあわせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「ふつう」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がツブレたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。
- 反射ラベル・透明つや消しラベルを使う場合や、上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベルで印字がカスレた場合は「+3」に設定してください。
参照 P.145 「テープカートリッジを使いわせる」
- 印刷濃度は電源OFFでは初期化されません。この操作によって設定し直すか、本機の初期化をおこなってください。
参照 P.138 「本機を初期化する」

●ディスプレイの濃度を調整する

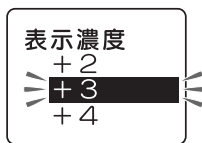
ディスプレイの表示濃度は11段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

- 1 **シフト**を押しながら**復活**(= 環境設定)を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

- 2 「表示濃度」を選び、**選択**を押す



- 3 **↑** / **↓**で濃度を調整し、**選択**を押す
初期設定値は「ふつう」に設定されています。



表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 設定を途中でやめるときは**削除**または**復活**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 表示濃度は、電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定し直すか、本機の初期化をおこなってください。参照 P.138 「本機を初期化する」

●本機を初期化する

!! 注意 !!

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- 不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、下記の手順で「本機の初期化」をおこなってください。
- 初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。
なお、初期化や、修理・検査をおこなうと、ファイルのデータや外字のデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。

初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

内容		機能	初期化	初期設定値に 戻す (P.135)	全文消去 (P.48)	特殊フォーム での全文消去
入力	テキスト画面の文章	●	●	—*1	●	●
	特殊フォームの文章	●	●	—	●	●
	入力状態と小文字ロック	●	●	—	—	—
	「みえ ² 」の設定	●	●	—	—	—
データ	ファイルデータ	●	●	—	—	—
	あて名データ	●	●	—	—	—
	名前データ	●	●	—	—	—
	辞書データ	●	●	—	—	—
	外字データ	●	●	—	—	—
設定	印刷濃度の設定値	●	●	—	—	—
	表示濃度の設定値	●	●	—	—	—
	各種の保存値	●	●	●	—	—

● : ご購入時の状態に戻ります。



— : 保持されます。

*1 : 初期設定値に戻す「保存値復元」をおこなうときには、全文消去をする必要があります。

初期化する

- 1  ボタンを押して電源を切る

!! 注意 !!


 ボタンを押しても電源が切れないときには、ACアダプタを抜いて電池も抜きます。次にもう一度ACアダプタを接続、または電源をセットし、再度  を押して電源を入れます。以降は手順 1 からの操作で初期化してください。


- 2  と  を押しながら  ボタンを押す

「本体初期化？」が点滅します。



!! 注意 !!

- 初期化をやめるときは  以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？
今まで登録したファイル・外字・辞書など、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

- 3  を押す

「初期化実行」と表示され、本機の初期化がおこなわれた後、タイトル画面、ローマ字入力モードが表示され、テキスト画面になります。

●デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。また、書体など本機の機能を参照することができます。

- 1 **シフト** を押しながら **削除取消** (=消去) を押し、
全文消去をおこなう



!! 注意 !!

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。

参照 P.48 「すべての文章を消去する」

- 2 「demo」と入力する
参照 P.37 「4.英数字を入力する」



- 3 **シフト** を押しながら **変換スペース** を押す
デモ印刷がおこなわれます。

!! 注意 !!

- 4mm幅テープではデモ印刷できません。
- ご使用中に「故障かな?」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 P.188 「アフターサービスについて」

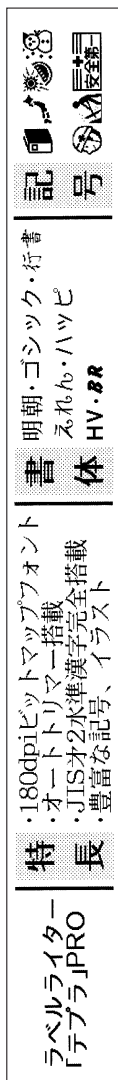
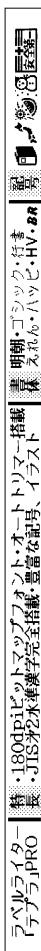
MEMO

印刷を途中でやめるときは **削除取消** を押ししてください。

見本

6mm幅テープ

18mm幅テープ



付録

●メニュー一覧



各ボタンで表示される機能は、該当ページを参照してください。

ボタン機能名	表示される機能	参照ページ
シフト + 印刷	送り/カット	P.30
特殊印刷	特殊印刷	P.127
ファイル	ファイルあて名/辞書	P.90
シフト + ファイル	フォーム/特殊フォーム	P.80
記号	記号	P.39
シフト + 記号	連番/バーコード	P.122
書式	文章書式	P.64
スタイル	段落スタイル	P.65
モード	文字モード	P.68
シフト + 復活	環境設定	P.134
シフト + 削除取消	消去	P.48
名前	名前	P.107
シフト + 名前	漢字検索	P.119
PCリンク	PC通信可能	—

記号メニュー一覧

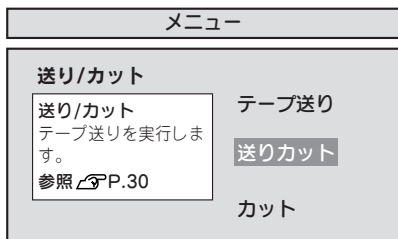
記号を押すと、記号を入力できます(太字は購入時の初期設定値です)。

メニュー	最初の選択肢
記号	外字 ▶
	登録 修正 呼出 複写 消去 参照登録 参照修正

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<ul style="list-style-type: none"> 記述 ▶ 省略 ▶ カッコ ▶ 矢印 ▶ ○△□☆ ▶ 単位 ▶ 算数 ▶ 数字 ▶ 	記号選択	
<div data-bbox="138 459 322 560" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>2桁数字 2桁の数字を1文字として入力します。 参照  P.59</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 2桁数字 ▶ 公共表示 ▶ 環境 ▶ 荷物 ▶ 警告用 ▶ 仕事 ▶ スポーツ ▶ 遊び ▶ ビデオ ▶ 音楽 ▶ 生き物 ▶ 乗り物 ▶ 食べ物 ▶ 予定 ▶ 暮らし ▶ シーズン ▶ 家族 ▶ 干支 ▶ 星座 ▶ ギリシャ ▶ 欧州 ▶ 	<div data-bbox="472 453 692 485" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>数値選択</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 記号選択 ▶ 	
<div data-bbox="138 1066 322 1166" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>編集 全角スペースや縦罫線を入力します。 参照  P.38、75</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 季節風景 ▶ お店 ▶ 学校 ▶ 建設 ▶ 病院 ▶ 	イラスト ▶	
	<ul style="list-style-type: none"> POP ▶ 顔文字 ▶ お店 ▶ 学校 ▶ 建設 ▶ 病院 ▶ 	記号選択

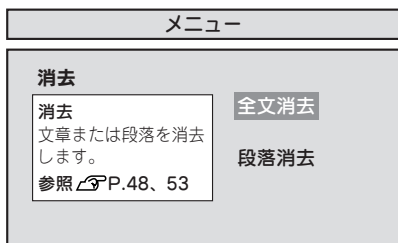
テープ送りメニュー一覧

シフトを押しながら**印刷**(=送り/カット)を押すと、テープ送りや送りカットを実行できます(**太字**は購入時の初期設定値です)。



消去メニュー一覧

シフトを押しながら**削除**(=消去)を押すと、文章全体または段落全体を消去できます(**太字**は購入時の初期設定値です)。



●テープカートリッジを使いわける

反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・グレー文字ラベルをご使用の際は下記のとおり対応してください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター 使用禁止	反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベル	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、「自動カット」無効で印刷する。②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。 参照 P.132 「自動カットなし」で印刷
オートトリマー 使用禁止	反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル	オートトリマーにラベルを差し込まない。
印刷濃度の調整が必要	反射ラベル・透明つや消しラベル	印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル	印刷がカスれた場合、印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。 参照 P.136 「印刷濃度を調整する」

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

!! 注意 !!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみをとってください。

参照 P.30 「5.テープ送りをする」

MEMO


- 以下の商品は生産を中止しています。
 - 夜光ラベル：2002年6月中止
 - 反射ラベル：2003年3月中止
 - 転写テープ：2003年5月中止
 - ふせん紙ラベル：2004年4月中止
 - 伸縮ラベル：2004年12月中止
- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。







●こんな表示が出たときは















エラーメッセージが表示されたときは



MEMO

同じエラーでも、画面の表示状態によってメッセージの表示が変わります。

参照  P.24 「表示の切り換え(みえ?)」


エラーメッセージ	原因・対処
電池を交換！	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しい単3アルカリ乾電池に交換してください。または、電池の⊕⊖の向きが間違っている場合があります。電池の⊕⊖の向きを確認してください。また、できるだけ付属のACアダプタを使用してください。 参照  P.25 「1. ACアダプタを接続する」 参照  P.25 「2. 電池(別売)を入れて使用するときは」
上カバーを閉じて！	電源が入っている状態で上カバーを開くと表示され、電源が切れます。上カバーを閉じ、再度電源を入れてください。
テープ無し！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 参照  P.27 「3. テープカートリッジをセットする」
ヘッド過熱！	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。電源を切り、テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバー	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷イメージの表示ができません。または、あて名印刷を24*mm幅以外のテープで印刷しようとした。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、幅の広いテープカートリッジをセットするか、  の出ている行を削除するか、行数を減らしてください。 参照  P.49 「テープ幅と印刷できる行数」
連番／バ-コードは3個まで！	連番とバーコードは、合わせて3個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照  P.122 「連番やバーコードを印刷する」

エラーメッセージ	原因・対処
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> サイズが指定 されています </div>	<p>段落スタイルの文字サイズが指定されている段落を  ボタンで自動切り換えしようとした。この場合は、 均等切換はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。</p> <p> ボタンは、文字サイズ「自動」に指定されているときにのみ有効です。</p> <p>参照  P.73 「文字サイズ」</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 特殊印刷不能 </div>	<p>指定した拡大印刷や連続印刷の内容では、長すぎて一度に印刷できるテープの長さ(16m)におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください。</p> <p>参照  P.127 「特殊な印刷(ぞく²、でか²)」</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 定長→字余り 強行？ </div>	<p>定長で指定した長さに文章がおさまりません。</p> <p>いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らす、文字の大きさを小さくする、余白を少なくするなどの対処をおこなってください。このまま  または  を押し、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。</p> <p>参照  P.70 「定長印刷」</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> メモリー満員 </div>	<p>ファイル・あて名・名前を登録するメモリーがいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイル・あて名・名前を消去してください。</p> <p>参照  P.94 「ファイルを消去する」</p> <p>参照  P.98 「あて名を消去する」</p> <p>参照  P.110 「名前を消去する」</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ファイル無し </div>	<p>ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去、複写の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。</p> <p>参照  P.92 「ファイルを登録する」</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> あて名無し！ </div>	<p>あて名が登録されていない状態で、あて名の修正、消去、複写、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。</p> <p>参照  P.96 「あて名を登録する」</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 辞書満員！ </div>	<p>辞書がいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要な辞書を消去してください。</p> <p>参照  P.106 「登録した辞書を消去する」</p>

エラーメッセージ	原因・対処
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content;">辞書にあり！</div>	<p>辞書登録ですでに登録してある「語句・読み」をふたたび登録しようとしてしまいました。この場合は、その登録はおこなわれず、テキスト画面に戻ります。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content;">登録辞書無し</div>	<p>辞書が登録されていない状態で、辞書の消去の操作をしようとしてしまいました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照  P.104 「変換できない語句を登録する(辞書の登録)」</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content;">名前無し！</div>	<p>名前が登録されていない状態で、名前の修正、消去、印刷の操作をしようとしてしまいました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照  P.108 「名前を登録する」</p>

MEMO

上記項目を確認しても解決しないときは、当社お客様相談室までご相談ください。

参照  P.188 「アフターサービスについて」

●故障かな？と思ったら

MEMO

パソコンと接続しているときの問題は、PCラベルソフトの取扱説明書も参照してください。

正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。

不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったときは、本機の初期化をおこなってください。

参照 P.138 「本機を初期化する」

ON/OFF ボタンを押してもディスプレイに何も表示されない

- ACアダプタはしっかりと接続されていますか？

本機のACアダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。

- 電池は正しくセットされていますか？

電池の向きが⊕⊖逆にセットされていると電源はONになりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、正しくセットされているか確認してください。

- 専用ACアダプタ以外のACアダプタを使用していますか？

同梱のACアダプタ (AC1116J) 以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

- 電池が消耗していませんか？

消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。


- ディスプレイの表示濃度は適切ですか？

ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないときがあります。ディスプレイが見にくいときは、表示濃度を調整することができます。

参照 P.137 「ディスプレイの濃度を調整する」

キーボードが動作しない

- ディスプレイに「PC通信可能」と表示されていませんか？

「PC通信可能」のときは、パソコンからの操作が優先されます。「テブラ」本体でラベルを作るときは、を押してPCリンクを解除してください。

ディスプレイが消える

- オート・パワーオフ機能ではありませんか？

本機では、5分間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します。(オート・パワーオフ)

- 上カバーが開いていませんか？

本機では上カバーを開くと、保護回路のはたらきで電源が切れます。

- 操作を間違えませんでしたか？

本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

印刷 を押しても何も印刷されない

- 文章が入力されていますか？

テキスト画面や特殊フォームに何も入力されていないと印刷はされません。

- オートトリマーが動作中ではありませんか？

オートトリマー使用中は、印刷できません。

- 消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？

テープカートリッジのテープがなくなっていたり、上カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかり閉じてください。

文字がきちんと印刷されない

- テープカートリッジは正しくセットされていますか？

テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。

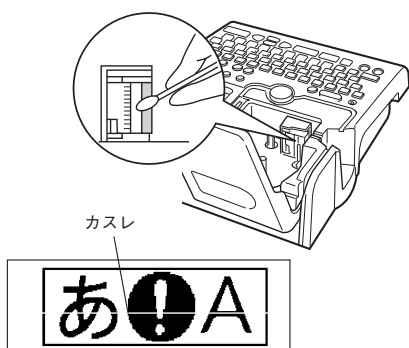
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順にしたがってセットしてください。

参照  P.27「3.テープカートリッジをセットする」

- 印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ (SR24C) またはヘッド・クリーニングキット (RC15) をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール (エチルアルコール) を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。

参照  P.152「お手入れについて」




- 電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電池を交換！」が表示されます。速やかにすべての電池を新しい単3アルカリ乾電池と交換するか、同梱のACアダプタ (AC1116J) を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

ラベルを印刷後、オートカットされない

- 自動カットを「しない」に設定していませんか？

印刷設定の自動カットを「しない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。

参照  P.132「[自動カットなし] で印刷」

- カッターの刃が磨耗していませんか？


カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照  P.188「アフターサービスについて」

文章の途中までしか印刷されない

- テープカートリッジにテープの残りがありませんか？






テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。

参照  P.27「3.テープカートリッジをセットする」



- 電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電池を交換！」が表示されます。速やかにすべての電池を新しい単3アルカリ乾電池と交換するか、同梱のACアダプタ (AC1116J) を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。


オートトリマーでうまくカットできない

- **印刷中ではありませんか？**
テープ印刷中はオートトリマーが作動しません。
- **ラベルをトリマー差込み口にきちんと差し込んでいますか？**
ラベルをガイドに合わせず差し込むときれいにカットできません。ガイドに沿ってラベルを差し込んでください。
参照  P.54 「カドを丸く仕上げる」
- **切りクズがつまっていますか？**
カド丸トレイをはずし、トリマーの切りクズを取り除いてください。
参照  P.55 「オートトリマーのお手入れ」
- **4mm、6mm幅テープをカットしようとしていませんか？**
4mm、6mm幅テープはオートトリマーでカットすることはできません。トリマー(RT36W)を使ってカットしてください。
参照  P.11 「別売品のご案内」
- **オートトリマーでカットのできないラベルを使用していませんか？**
本機のオートトリマーでカットできないラベルはオートトリマーに差し込まないでください。
参照  P.54 「カドを丸く仕上げる」
- **オートトリマーの刃が磨耗していませんか？**
オートトリマーの刃は、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照  P.188 「アフターサービスについて」


ファイルの内容が消えてしまった

- **内蔵電池の交換期限は過ぎていませんか？**
内蔵電池は本体裏面に貼り付けられているシールに記載してある時期を過ぎていると、入力した文章、ファイル、外字のデータや学習内容などが失われることがあります。内蔵電池の交換は、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。有料となります。
参照  P.188 「アフターサービスについて」
- **本機の初期化をしましたか？**
本機の初期化をおこなうと、ファイル・あて名・名前・外字・辞書登録などのデータがすべて失われます。
参照  P.138 「本機を初期化する」
- **動作中にACアダプタや電池を抜くませんでしたか？**
ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」が表示されているときにACアダプタや電池を抜くと登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。

ラベルを貼り付けることができない

- **裏紙をはがしていますか？**
粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。
参照  P.43 「9.ラベルを貼る」
- **貼る場所が汚れていたり、凹凸がありませんか？**
表面がザラザラしている場所や、ホコリ・油のついている場所には貼り付けられません。

MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照  P.188 「アフターサービスについて」

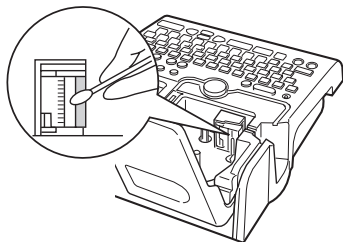
●お手入れについて

■ 本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれ布巾で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

■ 印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ (SR24C) またはヘッド・クリーニングキット (RC15) をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール (エチルアルコール) を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



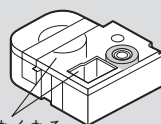
ヘッド・クリーニングテープ(別売)を使う

ヘッドクリーニングをおこなう

- 1 ヘッド・クリーニングテープを本機にセットする
- 2 **シフト**を押しながら **印刷**(= 送り/カット)を押す
- 3 「テープ送り」を選び、**選択改行**を押す
「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。1~2回 おこなってください。
参照 P.30 「5.テープ送りをする」

!! 注意 !!

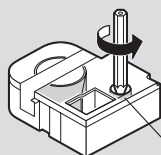
- 使用後は元の箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ・砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドを傷める原因になります。
- ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドを傷める原因となります。
- 図のようにテープがすべて「巻き取りコア」に巻き取られたら、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドを傷めるおそれがありますので、ご使用にならないでください。



白いテープがなくなる

MEMO

- 本機でご使用になるヘッド・クリーニングテープはSR24Cをお使いください。
- テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- テープがたるんでいる場合、図のように「巻き取りコア」を矢印方向に回してたるみをとってください。



巻き取りコア

- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめにみえますが、約120回のクリーニングが可能です。

●入力文字一覧表

文字ボタン配列

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	¥	^	-
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	~	「	」
A	S	D	F	G	H	J	K	L	;	:]	[
Z	X	C	V	B	N	M	,	.	/	.		

入力文字表

「大」は を押していない状態、「小」は を押した状態を表します。

ボタン	ローマ字		かな		ABC	
	大	小	大	小	大	小
1	1	!	ぬ	!	1	!
2	2	@	ふ	@	2	@
3	3	#	あ	あ	3	#
4	4	\$	う	う	4	\$
5	5	%	え	え	5	%
6	6	&	お	お	6	&
7	7	'	や	や	7	'
8	8	*	ゆ	ゆ	8	*
9	9	(よ	よ	9	(
0	0)	わ	を	0)
¥	¥	=	ほ	ほ	¥	=
^	^	^	へ	へ	^	^
-	-	-	ー	ー	-	-
Q	Q	q	た	た	Q	q
W	W	w	て	て	W	w
E	E	e	い	い	E	e
R	R	r	す	す	R	r
T	T	t	か	か	T	t
Y	Y	y	ん	ん	Y	y
U	U	u	な	な	U	u
I	I	i	に	に	I	i
O	O	o	ら	ら	O	o
P	P	p	せ	せ	P	p
~	~	÷	〜	〜	~	÷
「	「	”	「	」	「	」

ボタン	ローマ字		かな		ABC	
	大	小	大	小	大	小
A	A	a	ち	ち	A	a
S	S	s	と	と	S	s
D	D	d	し	し	D	d
F	F	f	は	は	F	f
G	G	g	き	き	G	g
H	H	h	く	く	H	h
J	J	j	ま	ま	J	j
K	K	k	の	の	K	k
L	L	l	り	り	L	l
;	;	+	れ	れ	;	+
:	:	×	け	け	:	×
]]		む	」]	
Z	Z	z	つ	つ	Z	z
X	X	x	さ	さ	X	x
C	C	c	そ	そ	C	c
V	V	v	ひ	ひ	V	v
B	B	b	こ	こ	B	b
N	N	n	み	み	N	n
M	M	m	も	も	M	m
,	,	,	ね	,	,	,
.	.	.	る	.	.	.
/	/	?	め	?	/	?
.	.	.	ろ	.	.	.

注1： ボタン の「」とボタン の「」は単独では入力できません。単独で入力した場合は「~」、 になります。

注2： ボタン で入力できる文字は次のとおりです。

ローマ字(大)、かな：「-」(長音)

ローマ字(小)、ABC(小)：「-」(マイナス)

ABC(大)：「-」(ハイフン)

注3： ボタン の「」はピリオドです。

●漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照 ㄟP.119 「読みのわからない漢字を入力する」

!! 注意 !!

- 漢字変換表はJISに基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。

参照 ㄟP.119 「読みのわからない漢字を入力する」

- 表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

JIS第1水準 *の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	
ア	1601~1609	亜啞娃阿哀愛挨始逢	カ	1880~1889	介会解回塊壞廻快怪悔	
	1610~1619	葵茜龜惡握渥旭葦芦鯁		1890~1894	恢懷戒拐改	
	1620~1629	梓庠幹扱宛姐虻飴絢綾		1901~1909	魁晦械海灰界皆絵芥	
	1630~1639	鮎或粟裕安庵按暗案闇		1910~1919	蟹開階貝凱効外咳害崖	
	1640~1641	鞍杏		1920~1929	慨概涯碍蓋街該鏗骸漣	
	1642~1649	以伊依依偉困夷委		1930~1939	馨蛙垣柿蛎鈎劃嚇各廓	
イ	1650~1659	威尉惟意慰易椅為畏異	1940~1949	拡攪格核殼獲確礎覺角		
	1660~1669	移維緯胃萎衣謂違遣医	1950~1959	赫較郭閣隔革学岳樂額		
	1670~1679	井亥域育郁磯一壹溢逸	1960~1969	顎掛笠檜櫃梶歟洩割喝		
	1680~1689	稲茨芋鯛允印咽員因姻	1970~1979	恰括活渴滑葛褐轄且鏗		
	1690~1694	引飲淫胤胤	1980~1989	叶枕樺鞞株兜窻浦釜鎌		
	1701~1705	院陰隱韻吋	1990~1994	囁鴨栢茅萱		
ウ	1706~1709	右宇烏羽	2001~2009	粥刈苻瓦乾侃冠寒刊		
	1710~1719	迂雨卯竊窺丑確白渦噓	2010~2019	勘勸卷喚堪姦完官寬干		
	1720~1729	唄鬱蔚饒媿厩浦瓜罇樽	2020~2029	幹患惑慣憾換啟柑桓棺		
	1730~1732	云運雲	2030~2039	款歛汗漢澗灌環甘監看		
	1733~1739	荏餌釵當嬰影映	2040~2049	竿管簡緘缶翰肝艦莞觀		
エ	1740~1749	曳榮永洩洩瑛盈穎穎英	2050~2059	諫貫還鑑間閑閑陞韓館		
	1750~1759	衛詠銳液疫益駝悅謁越	2060~2069	館丸含岸巖玩瘡眼岩翫		
	1760~1769	閭榎厭圃園堰奄寗延怨	2070~2074	贗雁頤頤頤		
	1770~1779	掩援沿演炎焰煙燕猿緣	キ	2075~2079	企伎危喜器	
	1780~1786	艷苑菌遠鈴鴛塙		2080~2089	基奇嬉寄岐希幾忌揮机	
	1787~1789	於汚甥		2090~2094	旗既期棋棄	
オ	1790~1794	凹央奧往応	2101~2109	機婦毅気汽畿祈季稀		
	1801~1809	押旺横欧殿王翁襖鶯	2110~2119	紀徽規記貴起軌輝飢騎		
	1810~1819	鴉黄岡冲荻憶屋憶臆桶	2120~2129	鬼鬼偽儀妓宜戲技擬欺		
	1820~1827	牡乙俺卸恩温穩音	2130~2139	襪疑祇義蟻誼議詢菊鞠		
	1828~1829	下化	2140~2149	吉吹喫桔橘詰砧砧黍却		
	1830~1839	仮何伽伽佳加可嘉夏嫁	2150~2159	客脚處逆丘久仇休及吸		
カ	1840~1849	家寡科暇果架歌河火珂	2160~2169	宮弓急救朽求汲泣灸球		
	1850~1859	禍禾稼箇花苜茄苜華菓	2170~2179	究窮發級糾給旧牛去居		
	1860~1869	蝦課嘩貨迺過霞蚊俄峨	2180~2189	巨拒抱拳渠虚許距鋸漁		
	1870~1879	我牙画臥芽蛾賀雅餓駕	2190~2194	禦魚亨亨京		
		区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
キ	2201~2209	供	俠	橋	兇	鏡	共	凶	協	匡		
	2210~2219	卿	叫	喬	峽	強	強	怯	恐	恭		
	2220~2229	扶	教	橋	況	狹	矯	胸	脅	興		
	2230~2239	壽	郷	鏡	響	響	仰	凝	皎	曉		
	2240~2249	業	局	曲	極	玉	桐	杆	僅	勤	均	
	2250~2259	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	
	2260~2268	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀		
	ク	2269										九
	2270~2279	俱	句	区	狗	狹	矩	苦	軀	驅	駢	
	2280~2289	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	
2290~2294	串	櫛	屑	屑	屑							
2301~2309		掘	窟	查	靴	轡	窪	熊	隈	糸		
2310~2319	栗	裸	桑	歛	歛	君	薰	訓	群	軍		
2320	郡											
ケ	2321~2329		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	
	2330~2339	珪	型	契	徑	徑	惠	慶	憩	懸	揭	
	2340~2349	携	敬	景	桂	溪	暄	稽	系	經	繼	
	2350~2359	繫	野	荃	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	
	2360~2369	鷄	芸	迎	鯨	劇	擊	激	隙	衍		
	2370~2379	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	
	2380~2389	儉	倦	健	兼	券	劒	喧	圈	堅	嫌	
	2390~2394	建	憲	懸	拳	捲						
	2401~2409	檢	權	牽	犬	獻	研	硯	絹	梘		
	2410~2419	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	險	顯	驗	
2420~2429	齧	元	原	嚴	幻	茲	減	源	玄	現		
2430~2434	絃	舷	言	諺	限							
コ	2435~2439										乎	
2440~2449	姑	孤	己	庫	戶	故	枯	湖	狐			
2450~2459	糊	袴	股	葫	菰	虎	誇	跨	袴	屨		
2460~2469	順	鼓	五	互	午	吳	吾	語	誦	護		
2470~2479	御	悟	梧	檣	瑚	基	隣	礎	護	鬪		
2480~2489	乞	鯉	交	侯	侯	候	倅	光	公	功		
2490~2494	効	勾	厚	口	向							
2501~2509		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工		
2510~2519	巧	巷	幸	庚	康	弘	恒	慌	抗			
2520~2529	江	控	攻	昆	昂	更	杭	校	梗	構		
2530~2539	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠		
2540~2549	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏		
2550~2559	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉞		
2560~2569	砧	銅	閣	降	項	香	高	鴻	剛	劫		
2570~2579	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻		
2580~2589	告	國	穀	酷	鵠	黑	獄	澀	腰	厭		
2590~2594	忽	惚	骨	狎	迫							
2601~2609		此	頌	今	困	坤	懇	婚	恨	懇		
2610~2618	昏	昆	根	棍	根	痕	紺	良	魂			
サ	2619										些	
2620~2629	佐	又	峻	峻	左	差	查	沙	磋	砂		
2630~2639	詐	鎖	娑	坐	挫	債	催	再	最			
2640~2649	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	濟			
2650~2659	災	采	犀	砒	砒	砒	祭	齋	齋	裁		
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
サ	2660~2669	載	際	劑	在	材	罪	財	冴	坂	阪	
	2670~2679	堺	榭	肴	咲	崎	埼	磯	碕	作	削	
	2680~2689	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	椽	
	2690~2694	鮭	笹	匙	冊	刷						
	2701~2709		察	撮	擦	札	殺	薩	雜	臯		
	2710~2719	鯖	捌	錯	鮫	皿	晒	三	傘	參	山	
	2720~2729	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕	
	2730~2736	讚	贊	酸	餐	斬	暫	殘				
	シ	2737~2739										仕
	2740~2749	使	刺	司	史	嗣	四	士	仕	何	姿	
2750~2759	尸	屍	市	師	志	思	指	始	姉	姿		
2760~2769	施	旨	枝	止	死	氏	獅	社	私	殺		
2770~2779	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌		
2780~2789	諮	資	賚	雌	飼	齒	似	侍	児			
2790~2794	字	寺	慈	持	時							
2801~2809		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而		
2810~2819	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	識	鳴	竺			
2820~2829	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉		
2830~2839	湿	漆	疾	質	夷	蓊	儀	傑	柴	芝		
2840~2849	屢	蕊	縞	舍	写	射	捨	斜	煮			
2850~2859	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺		
2860~2869	尺	灼	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱		
2870~2879	惹	主	取	守	手	朱	殊	殊	種			
2880~2889	腫	趣	酒	首	備	受	呪	壽	授	樹		
2890~2894	絞	需	囚	囚	周							
2901~2909		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋		
2910~2919	終	繡	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讎			
2920~2929	輯	週	酉	醜	集	醜	仕	充	十			
2930~2939	從	戎	柔	汁	洪	獸	縱	熱	叔	術		
2940~2949	夙	宿	漱	祝	縮	爾	塾	熟	執	術		
2950~2959	述	俊	峻	春	瞬	竣	竣	準	循			
2960~2969	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	巡	遵			
2970~2979	醇	順	処	初	暑	曙	者	庶	緒			
2980~2989	署	書	書	諸	諸	助	叙	女	序	徐		
2990~2994	恕	鋤	除	傷	償							
3001~3009	勝	匠	升	召	哨	唱	唱	嘗	獎			
3010~3019	妾	娼	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠		
3020~3029	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶		
3030~3039	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦		
3040~3049	照	症	省	硝	礁	祥	称	享	笑	粧		
3050~3059	紹	苜	莠	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔		
3060~3069	詳	象	賞	醬	鉦	鐘	鐘	障	轄			
3070~3079	史	丞	乘	冗	剌	城	場	壞	壞	常		
3080~3089	情	擾	条	杖	淨	状	量	穰	蒸	讓		
3090~3094	釀	錠	囁	壻	飾							
3101~3109		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食		
3110~3119	蝕	辱	尻	伸	信	侵	昏	娠	寝	審		
3120~3129	心	慎	振	新	晉	森	棧	浸	深	申		
3130~3139	疹	真	神	秦	紳	臣	志	薪	親	診		
3140~3149	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	麁	壬		
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

付録

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
シ ス	3150~3157	尋	甚	尽	賢	訊	迅	陣	勅			
	3158~3159									箒	諷	
	3160~3169	須	酢	囹	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	
	3170~3179	炊	睡	粹	衰	遂	醉	錘	錘	隨	隨	
	3180~3189	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趣	難	据	杉	
	3190~3194	相	菅	頗	雀	裾						
	3201~3203		澄	摺	寸							
	3204~3209					世	瀬	畝	是	凄	制	
	3210~3219	勢	姓	征	性	成	政	整	呈	晴	棲	
	3220~3229	栖	正	清	性	生	盛	精	聖	声	製	
3230~3239	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	齐	稅		
3240~3249	脆	隻	席	惜	威	斥	昔	折	石	積		
3250~3259	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙		
3260~3269	接	撰	折	設	窃	節	說	雪	絶	舌		
3270~3279	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰		
3280~3289	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎		
3290~3294	煽	旋	穿	箭	線							
3301~3309		織	羨	腺	舛	船	薦	詮	踐	踐		
3310~3319	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然		
3320~3324	全	禪	繕	膳	糧							
ソ	3325~3329					噲	塑	咀	措	曾		
	3330~3339	曾	楚	狙	疏	礎	祖	粗	粗	素		
	3340~3349	組	蘇	訴	阻	邈	鼠	僧	創	又		
	3350~3359	倉	喪	壯	奏	爽	宋	厠	厠	想		
	3360~3369	搜	掃	挿	挿	搔	早	曹	巢	槽		
	3370~3379	漕	燥	争	瘦	相	窓	糴	綜	聡		
	3380~3389	草	莊	葬	着	藻	装	走	送	遭		
	3390~3394	霜	騷	像	增	增						
	3401~3409		臟	藏	贈	造	促	側	則	即		
	3410~3419	捉	東	測	足	速	俗	属	賊	族		
3420~3429	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村			
タ	3430~3439	他	多	太	汰	訖	唾	墮	妥	惰		
	3440~3449	舵	舵	脩	脩	駢	体	堆	対	耐		
	3450~3459	岱	帶	待	怠	憇	戴	替	秦	滯		
	3460~3469	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛		
	3470~3479	台	大	第	醜	題	鷹	滝	瀧	卓		
	3480~3489	宅	托	扱	拓	沢	濯	琢	託	濁		
	3490~3494	諾	茸	夙	蜻	濯						
	3501~3509		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎		
	3510~3519	棚	谷	狸	鱈	誰	丹	单	嘆	坦		
	3520~3529	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端		
3530~3539	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈			
3540~3544	暖	檀	段	男	談							
チ	3545~3549					值	知	地	恥	恥		
	3550~3559	智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	馳		
	3560~3569	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窠	茶	嫡		
	3570~3579	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫		
	3580~3589	註	耐	鑄	駐	樗	瀦	猪	苧	苧		
	3590~3594	丁	兆	凋	隳	隳						
	3601~3609		帖	帳	庁	甲	張	彫	徵	懲		
		区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
チ	3610~3619	暢	朝	潮	滕	町	眺	聴	腸	腸	蝶
	3620~3629	調	譟	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄
	3630~3636	直	朕	沈	珍	貨	鎮	陳			
ツ	3637~3639									津	墜
	3640~3649	槌	追	鎚	鎚	通	塚	拇	楓	佃	
	3650~3659	漬	拓	辻	葛	綴	鏝	槽	漬	坪	壺
テ	3660~3665	嬌	袖	八	吊	釣	鶴				
	3666~3669									亭	低
	3670~3679	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
ト	3680~3689	悌	抵	提	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690~3694	艇	訂	諦	蹄	通					
	3701~3709	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擲	敵	滴	
ナ	3710~3719	的	箇	適	鎬	濁	哲	徹	徹	徹	迭
	3720~3729	鉄	典	填	天	展	店	添	繕	甜	貼
	3730~3737	転	顔	点	伝	殿	灘	田	電		
ノ	3738~3739									兔	吐
	3740~3749	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3750~3759	賭	途	都	鈺	砥	砺	努	度	土	奴
ネ	3760~3769	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3770~3779	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	棹	棟
	3780~3789	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等
ニ	3790~3794	答	簡	糖	統	到					
	3801~3809		董	蕩	藤	討	膽	豆	踏	逃	透
	3810~3819	鎗	陶	頭	騰	鬪	働	動	同	堂	導
ヌ	3820~3829	懂	撞	瞳	瞳	童	洞	菊	道	銅	峠
	3830~3839	錫	匿	得	德	洩	特	督	禿	篤	毒
	3840~3849	独	読	枹	椽	凸	突	楯	屈	薦	苦
ナ	3850~3859	寅	西	滯	噸	屯	悼	敦	沌	豚	遁
	3860~3863	頓	吞	曇	鈍						
	3864~3869									奈	那
ニ	3870~3879	謎	灘	捺	鍋	槽	馴	纒	暇	南	楠
	3880~3882	軟	難	汝							
	3883~3889									二	尼
ヌ	3890~3894	虹	甘	日	乳	入					
	3901~3907		如	尿	菲	任	妊	忍	忍		
	3908									濡	
ノ	3909										襦
	3910~3919	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	燃	燃
	3920	粘									
ハ	3921~3929		乃	迺	之	埜	囊	惱	濃	納	能
	3930~3934	腦	農	農	視	蚕					
	3935~3939									巴	把
ヘ	3940~3949	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廢
	3950~3959	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	3960~3969	倍	培	媒	梅	煤	煤	狽	買	売	賂
ホ	3970~3979	陪	這	繩	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980~3989	柏	泊	白	箔	柏	舶	迫	迫	曝	漠
	3990~3994	爆	縛	莫	駁	麥					
ヘ	4001~4009		函	箱	裕	箸	肇	管	檻	幡	肌
	4010~4019	畑	畠	八	鉢	澁	癸	鬢	髮	伐	罰
		区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ハ	4020~4029	拔	筏	闊	鳩	嘶	搞	蛤	隼	伴	判
	4030~4039	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版
	4040~4049	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	頰
	4050~4058	頌	飯	挽	晚	昏	盤	磬	審	蜜	
	4059										匪
ヒ	4060~4069	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070~4079	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080~4089	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090~4094	枇	毘	琵琶	眉	美					
	4101~4109	鼻	柎	稗	匹	正	髭	彦	膝	菱	
フ	4110~4119	肘	弼	必	畢	筆	逼	檢	姬	媛	紐
	4120~4129	百	謬	俠	彪	標	水	漂	瓢	票	表
	4130~4139	評	豹	廟	描	稿	秒	苗	鏽	鋸	蒜
	4140~4149	蛭	鱒	品	彬	斌	浜	瀨	貧	賓	頰
	4150~4151	敏	瓶								
ヘ	4152~4159		不	付	埠	夫	婦	富	富	布	
	4160~4169	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170~4179	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180~4189	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	茸	路
	4190~4194	伏	副	復	幅	服					
ホ	4201~4209		福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏
	4210~4219	物	鮎	分	吻	噴	墳	憤	扮	梵	奮
	4220~4225	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	4226~4229						丙	併	兵	塋	
	4230~4239	幣	平	弊	柄	蔽	閉	陞	米	頁	
ボ	4240~4249	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋	偏	變
	4250~4259	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	挽	弁
	4260	鞭									
	4261~4269		保	鋪	鋪	圃	捕	步	甫	補	輔
	4270~4279	穗	募	慕	戍	暮	母	簿	菩	做	
マ	4280~4289	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290~4294	抱	捧	放	方	朋					
	4301~4309		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310~4319	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320~4329	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
ミ	4330~4339	望	某	棒	冒	紡	紡	膨	謀	覓	
	4340~4349	銖	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350~4359	牧	睦	穆	鉤	勃	沒	殆	堀	幌	奔
	4360~4363	本	翻	凡	盆						
	4364~4369					摩	磨	魔	麻	埋	妹
ム	4370~4379	味	枚	每	理	榷	幕	膜	枕	鮪	証
	4380~4389	鱒	榭	亦	侯	又	抹	末	沫	迄	侏
	4390~4394	藪	磨	万	慢	滿					
	4401~4402		漫	蔓							
	4403~4409					味	未	魅	巳	箕	岬
メ	4410~4418	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民	眠	
	4419										務
	4420~4428	夢	無	牟	矛	霧	鷓	掠	婿	娘	
	4429										冥
	4430~4439	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
メ	4440~4445	免	棉	綿	緬	面	麵				
	4446~4449									摸	摸
モ	4450~4459	孟	毛	猛	盲	網	耗	家	儲	木	黙
	4460~4469	目	空	勿	餅	尤	戾	初	貫	問	問
ヤ	4470~4472	紋	門	匄							
	4473~4479									也	治
ユ	4480~4489	矢	厄	役	約	葉	詛	躍	靖	柳	菽
	4490	鏹									
ヨ	4491~4494										
	4501~4509	愉	愈	油	癒						
ヨ	4510~4519	悠	憂	揖	有	袖	湧	涌	猶	猷	由
	4520~4528	祐	裕	誘	遊	邑	郵	融	夕		
ヨ	4529										予
	4530~4539	余	与	輿	預	備	幼	妸	容	庸	
ラ	4540~4549	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
	4550~4559	窯	羊	耀	業	蓉	要	詔	謡	遙	陽
リ	4560~4569	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	淀		
	4570~4579	螺	裸	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪	
リ	4580~4587	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽		
	4588~4589										利
ル	4590~4594	履	李	梨	理	璃					
	4601~4609	痢	裏	裡	離	陸	律	率	立		
レ	4610~4619	菴	掠	略	劉	溜	琉	留	硫	粒	
	4620~4629	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	僚	
ル	4630~4639	両	凌	寮	寮	涼	獺	療	稜		
	4640~4649	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	綠	倫
ル	4650~4659	厘	林	淋	琳	臨	麟	隣	麟		
	4660~4664	瑠	墨	淚	累	類					
レ	4665~4669									令	伶
	4670~4679	嶺	伶	玲	礼	鈴	隸	零	靈	麗	
ロ	4680~4689	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	恋	憐	
	4690~4694	漣	煉	練	聯						
ロ	4701~4703										
	4704~4709					呂	魯	櫓	路	路	
ワ	4710~4719	露	勞	婁	弄	朗	樓	榔	浪	漏	
	4720~4729	牢	狼	籠	老	聾	蠟	六	麓	祿	
ワ	4730~4732	肋	録	論							
	4733~4739									倭	和
ワ	4740~4749	杵	鷲	互	互	鰐	詫	蕨	腕	湾	
	4750~4751	碗	腕								
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

JIS第2水準

*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。
従って「井」の区点コードは「4807」となります。

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4801~4809	弋	丐	丕	个	丌	丌	井ノ	ノ	父	又
4810~4819	乖	乘	亂	亅	豫	事	舒	式	于	亞
4820~4829	亟	一	亢	京	毫	竄	从	仍	仄	仆
4830~4839	仿	仗	仞	仞	仞	价	伉	佚	估	佛
4840~4849	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
4850~4859	侑	侑	來	來	來	來	來	來	來	來
4860~4869	侑	俚	侑	俚	俚	俚	倚	倨	倨	倨
4870~4879	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨
4880~4889	倨	假	會	借	修	偈	偈	偈	偈	偈
4890~4899	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4901~4909	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4910~4919	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4920~4929	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4930~4939	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4940~4949	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4950~4959	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4960~4969	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4970~4979	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4980~4989	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
4990~4999	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5001~5009	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5010~5019	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5020~5029	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5030~5039	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5040~5049	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5050~5059	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5060~5069	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5070~5079	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5080~5089	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5090~5099	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5101~5109	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5110~5119	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5120~5129	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5130~5139	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5140~5149	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5150~5159	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5160~5169	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5170~5179	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5180~5189	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5190~5199	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5201~5209	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5210~5219	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5220~5229	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5235~5239	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5240~5249	堡	塙	塙	塙	毀	塙	塙	塙	塙	塙
5250~5259	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
5260~5269	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
5270~5279	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻
5280~5289	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭
5290~5299	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢
5301~5309	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁
5310~5319	姜	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁
5320~5329	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁
5330~5339	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗
5340~5349	嬌	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗
5350~5359	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀
5360~5369	學	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀
5370~5379	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔
5380~5389	寶	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔
5390~5399	尹	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈
5401~5409	屾	屾	屾	屾	屾	屾	屾	屾	屾	屾
5410~5419	岑	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌
5420~5429	峒	峒	峒	峒	峒	峒	峒	峒	峒	峒
5430~5439	崗	崗	崗	崗	崗	崗	崗	崗	崗	崗
5440~5449	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌
5450~5459	峽	峽	峽	峽	峽	峽	峽	峽	峽	峽
5460~5469	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺
5470~5479	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺
5480~5489	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟
5490~5499	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁
5501~5509	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖
5510~5519	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬
5520~5529	彝	彝	彝	彝	彝	彝	彝	彝	彝	彝
5530~5539	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎
5540~5549	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃
5550~5559	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃
5560~5569	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠
5570~5579	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕
5580~5589	協	協	協	協	協	協	協	協	協	協
5590~5599	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴
5601~5609	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴
5610~5619	惠	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴
5620~5629	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5630~5639	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5640~5649	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5650~5659	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5660~5669	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5670~5679	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5680~5689	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5690~5699	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊
5701~5709	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛
5710~5719	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
5720~5729	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
5730~5739	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5740~5749	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈
5750~5759	捍	捍	捍	捍	捍	捍	捍	捍	捍	捍
5760~5769	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉
5770~5779	揉	揉	揉	揉	揉	揉	揉	揉	揉	揉
5780~5789	搨	搨	搨	搨	搨	搨	搨	搨	搨	搨
5790~5799	搨	搨	搨	搨	搨	搨	搨	搨	搨	搨
5801~5809		據	據	據	據	據	據	據	據	據
5810~5819	舉	舉	舉	舉	舉	舉	舉	舉	舉	舉
5820~5829	攞	攞	攞	攞	攞	攞	攞	攞	攞	攞
5830~5839	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸
5840~5849	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂
5850~5859	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂	斂
5860~5869	无	无	无	无	无	无	无	无	无	无
5870~5879	易	易	易	易	易	易	易	易	易	易
5880~5889	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷
5890~5899	暨	暨	暨	暨	暨	暨	暨	暨	暨	暨
5901~5909		曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄
5910~5919	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳
5920~5929	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
5930~5939	枉	枉	枉	枉	枉	枉	枉	枉	枉	枉
5940~5949	枷	枷	枷	枷	枷	枷	枷	枷	枷	枷
5950~5959	抵	抵	抵	抵	抵	抵	抵	抵	抵	抵
5960~5969	架	架	架	架	架	架	架	架	架	架
5970~5979	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟
5980~5989	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵
5990~5999	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢
6001~6009		楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮
6010~6019	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹	棹
6020~6029	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮
6030~6039	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮
6040~6049	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮
6050~6059	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
6060~6069	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
6070~6079	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
6080~6089	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
6090~6099	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
6101~6109		榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
6110~6119	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
6120~6129	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
6130~6139	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎
6140~6149	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎
6150~6159	殲	殲	殲	殲	殲	殲	殲	殲	殲	殲
6160~6169	殲	殲	殲	殲	殲	殲	殲	殲	殲	殲
6170~6179	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣
6180~6189	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾
6190~6199	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗
6201~6209		泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗
6210~6219	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚
6220~6229	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚
6230~6239	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6240~6249	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙
6250~6259	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙
6260~6269	湃	湃	湃	湃	湃	湃	湃	湃	湃	湃
6270~6279	混	混	混	混	混	混	混	混	混	混
6280~6289	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲
6290~6299	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲
6301~6309		滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲
6310~6319	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛
6320~6329	澳	澳	澳	澳	澳	澳	澳	澳	澳	澳
6330~6339	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾
6340~6349	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾
6350~6359	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾
6360~6369	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮
6370~6379	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙
6380~6389	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩
6390~6399	煨	煨	煨	煨	煨	煨	煨	煨	煨	煨
6401~6409		熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨
6410~6419	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲
6420~6429	犵	犵	犵	犵	犵	犵	犵	犵	犵	犵
6430~6439	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎
6440~6449	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗
6450~6459	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎
6460~6469	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類
6470~6479	瓊	瓊	瓊	瓊	瓊	瓊	瓊	瓊	瓊	瓊
6480~6489	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁
6490~6499	璧	璧	璧	璧	璧	璧	璧	璧	璧	璧
6501~6509		瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠
6510~6519	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿	姿
6520~6529	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦
6530~6539	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀
6540~6549	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀	畀
6550~6559	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝
6560~6569	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝
6570~6579	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋
6580~6589	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰
6590~6599	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
6601~6609		癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
6610~6619	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖
6620~6629	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍
6630~6639	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
6640~6649	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸
6650~6659	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎
6660~6669	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎	瞎
6670~6679	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵
6680~6689	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵
6690~6699	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾
6701~6709		碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾
6710~6719	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔
6720~6729	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔
6730~6739	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵




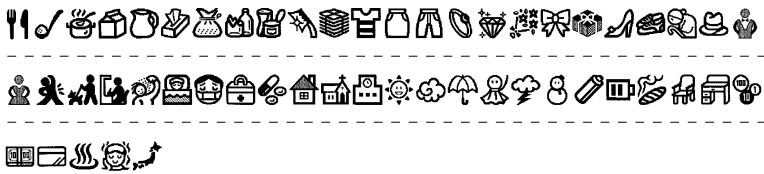





画数	部首	
16	龍 龜	竜龍壘襲肆龕 龜龜龜
17	龠	龠

●記号一覧表






















!! 注意 !!

記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が異なるものがあります。

分類	記号
記述	、。、．．：；「」?!— — / \ ~ @ ~ _ § † ‡ 、 ヲ > < // 全々 / …… ※ *
省略	、 ヲ > < // 全々 / …… # No. & 〒 ㊞ © ® 秘印 済注 控検 問 答 祝 休 祭 代 内 直 呼 株 K.L (有) 助 (社) 特 学 TEL FAX
カッコ	“ ” () [] { } < > 《 》 「 」 『 』 【 】
矢印	→ ← ↑ ↓ ↘ ↙ ↗ ↖ ➔ ➠ ➡ ➢ ➣ ➤ ➥ ➦ ➧ ➨ ➩ ➪ ➫ ➬ ➭ ➮ ➯ ➰ ➱ ➲ ➳ ➴ ➵ ➶ ➷ ➸ ➹ ➺ ➻ ➼ ➽ ➾ ➿ ➠ ➡ ➢ ➣ ➤ ➥ ➦ ➧ ➨ ➩ ➪ ➫ ➬ ➭ ➮ ➯ ➰ ➱ ➲ ➳ ➴ ➵ ➶ ➷ ➸ ➹ ➺ ➻ ➼ ➽ ➾ ➿
○△□☆	○ ● ◎ △ ▲ ▽ ▾ ◆ ◇ □ ■ ☆ ★ ◆ ◇ ♠ ♣ ♥ ♡ ♣ ♣
単位	% ‰ μ mm cm m km ft mile cm m ² a ha km ² cm ³ m ³ mg g kg t cc ml dl l kℓ mol ¥ (冊) \$ € £ Fr ¢ A V Ω W kWhz dB HP Å @ ° ' " °C °F ct
算数	+ - ± × ÷ = ≠ < > ≤ ≥ ∞ ∴ ≡ ≐ √ ∞ ∧ ∫
数字	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ○ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 I II III IV V VI VII VIII IX X i ii iii iv v vi vii viii ix X 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 + - 1/2 1/3 2/3 1/4 3/4
2桁数字	00 ~ 99

分類	記号
乗り物	
食べ物	
予定	
暮らし	
シーズン	
家族	
干支	
星座	
ギリシャ	<p>Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω</p> <p>α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω</p>
欧州	<p>ä ë ï ö ü Ä Ë Ì Ò Û á é í ó ú Á É Í Ó Ú à è ì ò</p> <p>ù À È Ì Ò Û â ê î ô û Ä Ê Î Ò Û ñ Ñ ß Ç ç Œ œ ÿ</p> <p>ı</p>
編集	

分類	記号	
季節風景	春 夏 秋 冬 自然 海 山 川 湖 池 泉 滝 雪 氷 霧 雨 虹 雲 月 星 太陽 地球	
お店		
学校		
建設		
病院		
イラスト	POP	
	顔文字	(^^)ゞ(+_+)(・_・)(>_<)(T_T)(^o^)(m(_)_m)(・_・)(^_^)(`´)
	お店	
学校		
建設		

分類	記号	
病院		外来 受付  初診の方  再診の方  (休診) 入院  の方  の方  受付  休診時間  診察室  新生児室 
		健康 診断  問診  血圧測定  血測検査  聴力検査  視力検査  尿検査  健康保険  入籍  検査  健康保険
		受付 

ローマ字変換表

あ	A	I YI	U WU	E	お O
か	KA	き KI	く KU QU	け KE	こ KO
さ	SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
た	TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
な	NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	HA	ひ HI	ふ HU FU	へ HE	ほ HO
ま	MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	YA	い YI I	ゆ YU	いえ YE	よ YO
ら	RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	WA	ゐ WI	う WU	ゑ WE	を WO
ん	N+(Y以外の子音または、アポストロフィー「'」) (例) N+N→ん N+P→んP N+「'」→ん				
が	GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ	きゃ KYA	きい KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きよ KYO
しゃ	しゃ SYA SHA	しい SYI	しゅ SYU SHU	しえ SYE SHE	しよ SYO SHO
ちゃ	ちゃ TYA CHA CYA	ちい TYI CYI	ちゅ TYU CHU CYU	ちえ TYE CHE CYE	ちよ TYO CHO CYO
てや	てや THA	てい THI	てゅ THU	てえ THE	てよ THO
にや	にや NYA	にい NYI	にゅ NYU	にえ NYE	によ NYO
ひや	ひや HYA	ひい HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひよ HYO
みや	みや MYA	みい MYI	みゅ MYU	みえ MYE	みよ MYO

りや	りや RYA	りい RYI	りゅ RYU	りえ RYE	りよ RYO
ぎや	ぎや GYA	ぎい GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎよ GYO
じゃ	じゃ ZYA JA JYA	じい ZYI JI JYI	じゅ ZJU JU JYU	じえ ZYE JE JYE	じよ ZYO JO JYO
ぢや	ぢや DYA	ぢい DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢよ DYO
びや	びや BYA	びい BYI	びゅ BYU	びえ BYE	びよ BYO
ぴや	ぴや PYA	ぴい PYI	ぴゅ PYU	ぴえ PYE	ぴよ PYO
くあ	くあ QA	くい QI QWI KWI	くう QWU KWU	くえ QE QWE KWE	くお QO QWO KWO
ぐわ		ぐい GWI	ぐう GWU	ぐえ GWE	ぐお GWO
つあ	つあ TSA	つい TSI		つえ TSE	つお TSO
でや	でや DHA	でい DHI	でゅ DHU	でえ DHE	でよ DHO
ふあ	ふあ FA	ふい FI FYI		ふえ FE FYE	ふお FO
ふや	ふや FYA	ふい FYI FI	ふゅ FYU	ふえ FYE FE	ふよ FYO
うあ	うあ VA	うい VI VYI	う VU	うえ VE VYE	うお VO
うや	うや VYA		うゅ VYU		うよ VYO
あ	あ LA	い LI LYI	う LU	え LE	お LO
か	か LKA			け LKE	
つ	つ LTU 同一の子音+子音=つ+子音 (L、N、X以外有効) 二重子音CHについては、 TCH=つCHに変換。				
や	や LYA		ゅ LYU		よ LYO
? -	かな文字に長音記号をつけるには 「かな文字」+Ⓢ ? = かな文字				

●おもな仕様

■入力

入力装置	JIS配列準拠キーボード式(72鍵) 文字ボタン48、機能ボタン24
入力状態	JIS配列準拠ローマ字入力 JIS配列準拠かな入力 JIS配列準拠ABC入力 小文字入力、小文字ロック(ABC入力時のみ)、記号入力、外字入力、コード変換入力(区点コード・JISコード・シフトJISコード)、部首画数入力
漢字変換方式	学習機能付き最長一致熟語／単漢字変換方式 熟語変換辞書 約71,000語 単漢字変換辞書 約12,000語(単漢字学習容量 約200語)

■表示

表示装置	ドットマトリクスSTN液晶パネル
文字表示	16dot×16dot+6chr×4line
表示濃度	-5～ふつう～+5(11段階)
インジケータ	26個
LED	1個

■記憶

文章メモリー	約175文字(限定バックアップ付き)
内蔵ファイル	可変長データ式(あて名・名前と共用) 約5,000文字/最大99ファイル(ファイル名を含む)
辞書登録	最大30件
外字登録	ビットマップフルライン自動拡大登録 フルライン(16・24・32・48ドット)×4文字
あて名登録	最大99件
名前登録	最大40件
拡張機能	データ転送ソフト「DATAメモリーシステム」SDM9でパソコンにデータ転送(ファイル、あて名、名前、外字)が可能

■フォント

内蔵文字数

全8,088文字

漢字 JIS第1水準2,965文字

漢字 JIS第2水準3,390文字

漢字 その他132文字

その他(ひらがな・カタカナ・英数字・記号など)

内蔵フォント

ビットマップフォント

明朝体 : 漢字書体・かな書体・英数書体

ゴシック体 : 漢字書体・かな書体・英数書体

行書体 : 漢字書体・かな書体・英数書体

えれん体 : かな書体

ハッピー体 : かな書体

サンセリフHV体 : 英数書体

スク립トBR体 : 英数書体

■印刷

印刷方式

熱転写PRO印刷方式

印刷濃度

-3～ふつう～+3(7段階)

ヘッド構成

薄膜サーマルヘッド(128dot、180dpi)

テープ幅検出

Pテープ規格検出孔対応(7種検出)

テープカートリッジ

Pテープ規格ワントタイム・テープカートリッジ、たるみ・逆転防止機構付、

耐摩擦PRO印刷式、4・6・9・12・18・24・24*幅

カッター

オートカッター 除電機構付

トリマー

センサーつき自動カド丸仕上げ(半径3mm)

■印刷機能

文字構成

7段階49種(拡大印刷を含むと17段階121種)

P字 16×16dot (6ポイント相当)

S字 24×24dot (10ポイント相当)

M字 32×32dot (13ポイント相当)

L字 48×48dot (19ポイント相当)

G字 64×64dot (26ポイント相当)

U字 96×96dot (38ポイント相当)

H字 120×120dot (48ポイント相当)

デザインフォーム

26種(テンプレート式)

特殊フォーム

3種

あて名印刷

最大99件 カスタマバーコード印刷機能付

名前印刷

最大40件

特殊印刷

ぞく²、でか²、鏡文字

連番機能

加算一方(繰り返し回数指定可)、2桁連番

バーコード

JAN-13、JAN-8、UPC-A、UPC-E、NW-7、ITF(6種)

■電源、その他

主電源	AC100V(同梱ACアダプタAC1116J使用のこと)
補助バッテリー	単3アルカリ乾電池×6 記憶保持用リチウム電池CR2032内蔵
電源スイッチ	ボタン式
パワーオフ	操作終了後、約5分で電源を自動的にオフする (外字作成・修正中、ACアダプタ使用時のPCリンク中をのぞく)
PC接続	USBケーブルにて接続
寸法・重量	約200W×205D×63H(mm) 約860g(電池、テープカートリッジを除く)
同梱品	試用PROテープカートリッジ(18mm幅) ACアダプタ(AC1116J) 取扱説明書 保証書 PCラベルソフト(SPC9C) PCラベルソフト取扱説明書
オプション	PROテープカートリッジ ヘッド・クリーニングキット(RC15) ヘッド・クリーニングテープ(SR24C) トリマー(RT36W) ハーフカッター(RH24) システムトランク(SR9BTN) システムバッグ(SR8B)

■使用条件

温度環境	動作時 5℃～35℃ 保存時 -10℃～55℃
湿度環境	動作時 30%～80%(非結露) 保存時 5%～80%(非結露)

記号

▣ (バーコードマーク)	126
┌ (全角スペース)	38
┐ (半角スペース)	38
☒ (印刷不可行頭マーク)	22、49
④ (連番マーク)	123
Ⓢ (罫入力記号)	75
◀ (フルメモリーマーク)	22
▶ (文字モード指定マーク)	22、63
⏪ ⏩ (カーソルボタン)	21
1 2 (実行行頭マーク)	22、49
1 2 (空白行頭マーク)	22、49

英数字

2桁数字(記号)	59、143
2倍でか ²	127、129
3倍でか ³	127、129
4倍でか ⁴	127、129
8mmビデオ(定長印刷)	64、70
8mmビデオ(フォーム)	82、84
A4ファイル(定長印刷)	64、70
A4ファイル(フォーム)	82、83
ABC入力	37
ACアダプタ	10、25
ACアダプタ差込み口	19
B5ファイル(定長印刷)	64、70
B5ファイル(フォーム)	82、83
C/D(バーコード)	122、125
CDケース(定長印刷)	64、70
CDケース(フォーム)	82、84
DAT(フォーム)	82、85
FD・MO(定長印刷)	64、70
FD・MO(フォーム)	82、84
ITF(バーコード)	122、125
JAN-13(バーコード)	122、125
JAN-8(バーコード)	122、125
MD(定長印刷)	64、70
MD(フォーム)	82、85
NW-7(バーコード)	125、122
Ⓢ	21
Ⓢ	21
POP(記号)	143、176
UPC-A(バーコード)	122、125
UPC-E(バーコード)	122、125
USBインターフェイスコネクタ(パソコン接続用)	18


VHS(定長印刷)	64、70
VHS(縦)(フォーム)	82、84
VHS(横)(フォーム)	82、84

あ

アイロン転写テープ	145
アイロンラベル	145
あて名	90、96
印刷	100
修正	98
消去	98
登録	96
複写	99
あて名/名前/辞書	96
後挿え(割付け)	66、74
網かけ(囲み・網)	68
イラスト(記号)	40、143、176
印刷	20
印刷	42
印刷/カットランプ	18
印刷イメージ	22
印刷情報	22
印刷濃度(環境設定)	134、136
インジケーター	23
上カバー	18
上カバーボタン	18
上書き呼出(ファイル)	93
英数字	37
英数書体(書体)	68、76
エラーメッセージ	146
お祝い(フォーム)	82、87
オートリマー	18、54
～のお手入れ	55
オート・パワーオフ	29
多め(余白)	64、72
送り/カット	20、30、144
～メニュー一覧	144
送りカット(テープ送り)	30、144
おまかせフォーマット(文字サイズ)	65、73
お店(記号)	143、176
お店(外枠・表組)	66
終わり?	
機能	62
段落スタイル	67
文章書式	64
文字モード	69



音楽テープ(定長印刷)	64、70
音楽テープ(フォーム)	82、85





か

カーソル	22、46
～の位置(機能)	61
カーソルジャンプ	21
カーソルボタン(←↑↓→)	21、46
改行	49
外字	113、142
参照修正	118
参照登録	118
修正	116
消去	117
登録	115
複写	117
呼出	116
改段落	21、51
回覧の捺印(フォーム)	82、83
顔文字(記号)	143、176
鏡文字印刷	127、131
角囲み(囲み・網)	68
角囲網(囲み・網)	68
拡大印刷	127、129
確定文字	22
影文字(飾り字)	68、77
囲み・網(文字モード)	61、68、78、134
飾り字(文字モード)	61、68、77、134
カスタマバーコード(あて名)	102
下線(囲み・網)	68
カタカナ	33
学校(記号)	143、176
学校(外枠・表組)	66
学校持ち物(フォーム)	82、87
カット(テープ送り)	144
カド丸	54
カド丸トレレー	19
かな書体(書体)	68、76
かな入力	33
画面	22
環境設定	21、133
～メニュー一覧	134
漢字	35
漢字検索	20、119
～メニュー一覧	119
漢字書体(書体)	68、76
漢字変換表	155
 説明	21


記号	39
～一覧表	173
～メニュー一覧	142
季節風景(記号)	143、176
行	49
鏡像	131
強調(飾り字)	68、77
行頭マーク(1 2、☒、1 2、☒)	22
極小(余白)	64、72
禁止!(フォーム)	82、85
均等(文字サイズ)	60、65、73
空白	38
空白行頭マーク(1 2)	22、49
区点コード	121、155
クリーニングテープ	153
繰り返し回数(連続番号)	122、123
黒塗り(外字)	114
罫入力記号(罫)	75
ケーブル(フォーム)	82、85
ケーブルガイド	19
ケーブル表示ラベル	89
ケーブル用(特殊フォーム)	82、89
建設(記号)	143、176
建設(外枠・表組)	66
候補(漢字変換)	35
コード入力(漢字検索)	119
固定フック	18
細かく(伸・縮)	69、78
小文字ロック	21、37

さ

サイズ(文字サイズ)	61、65、73、134
 印刷	21
削除	47
辞書	90、104
修正	105
消去	106
登録	104
システムトランク	11
システムバッグ	11
実質行頭マーク(1 2)	22、49
指定範囲(機能)	61
自動(英数書体)	68
自動(かな書体)	68
自動(文字サイズ)	65
自動多め(余白)	64、72
自動カット	127、132
自動少なめ(余白)	64、72
 シフト	21
地紋印刷(文章書式)	61、64、70、134



斜強調(飾り字)	68、77
斜体(飾り字)	68、77
斜体・強調(飾り字)	68
住所&氏名(フォーム)	82、86
仕様	179
消去	21、48、53
～メニュー一覧	144
上質紙ラベル	145
初期化	138
初期設定値	133
初期値(連続番号)	122、123
	20
書体(文字モード)	61、68、76、134
白抜き(飾り字)	68、77
白抜き影(飾り字)	68、77
白塗り(外字)	114
伸・縮(文字モード)	61、69、78、134
伸縮ラベル	145
少なめ(余白)	64、72
	20
スペース	38
税込値札(フォーム)	82、83
正体(飾り字)	68、77
狭い(文字間)	69、79
全角スペース(□)	38
全体幅(バーコード)	122、125
	21
全文消去(消去)	48、144
操作パネル	20
	20
ぞく ²	127、128
促音	34
外枠(外枠・表組)	66、75
外枠・表組(段落スタイル)	61、66、75、134

た

濁音	34
たて書き(縦・横)	58、65、73
	20
縦・横(段落スタイル)	61、65、73、134
誕生日祝い(フォーム)	82、86
段落	51
段落消去(消去)	53、144
段落スタイル	61
～メニュー一覧	65
小さく(伸・縮)	68、78
チェックデジット(バーコード)	125
縮める(伸・縮)	68、78
注意!(フォーム)	82、86

つめ ²	71
ディスプレイ	18、22
訂正線(囲み・網)	69
定長印刷(文章書式)	61、64、70、134
テーブルカートリッジ	27、145
～をセットする	27
テーブルカートリッジケース	18
テーブル確認窓	18
テーブル通路	18
テーブル出口	18
テーブル幅	49、74
でか ²	127、129
テキスト画面	22
デザインフォーム	80
～見本	83
～メニュー一覧	82
デモ印刷	140
電源	
～を入れる	29
～を切る	44
電池	25
電池カバー	19
電池ケース	19
同梱品	10
透明つや消しラベル	145
特殊印刷	20、127
～メニュー一覧	127
特殊フォーム	21、80
～見本	88
～メニュー一覧	82
トリマー	11、54
トリマーガイド	18
トリマー差込み口	18
トリマーテーブル	18

な

中揃え(割付け)	66、74
なし(囲み・網)	68
	20
名前	107
～メニュー一覧	107
印刷	111
修正	109
消去	110
登録	108
なまえ(縦)(フォーム)	82、86
なまえ(横)(フォーム)	82、86
	21
入力文字一覧表	154

ネガ文字	22
熱収縮チューブ	145
伸ばす(伸・縮)	68、78
は	
バーコード	21、122、125
バーコードマーク(■)	126
ハーフカッター	11
半角スペース(␣)	38
反射ラベル	145
半濁音	34
ピッチ固定(文字間)	69、79
ピッチ自動(文字間)	69、79
備品管理票(フォーム)	82、83
病院(記号)	143、176
病院(外枠・表組)	66
描画エリア(外字)	114
表組み(外枠・表組)	66、75
表示濃度(環境設定)	134、137
表示の切り換え	24
ひらがな	33
広い(文字間)	69、79
①	21
ファイル	90、91
～メニュー一覧	90
消去	94
登録	92
複写	95
呼出	93
フォーム	21、80
～見本	83
フォーム・特殊フォーム	
～メニュー一覧	82
フォルダー山(フォーム)	82、83
部首一覧表	163
部首検索(漢字検索)	119、120
ふせん紙ラベル	145
ふつう(飾り字)	68、77
ふつう(伸・縮)	68、78
ふつう(文字間)	69、79
ふつう(余白)	64、72
②	21
復活	47
ふりがな(名前)	112
フルメモリーマーク(◀)	22
プレビュー	20、41
文章	
～を消去する	48
～をファイルする	92

文章書式	61
～メニュー一覧	64
ヘッド・クリーニングキット	11、152
ヘッド・クリーニングテープ	11、153
別売品	11
③	21
変換	35
編集(記号)	143、173
細・太の比率(バーコード)	122、125
保存値	133
保存値設定	134、135
保存値復元	134、135
ま	
前揃え(割付け)	66、74
マグネットテープ	145
丸囲み(囲み・網)	68
丸囲み網(囲み・網)	68
④	20
みえ ²	24
見出し(縦)(特殊フォーム)	82、88
見出し(横)(特殊フォーム)	82、88
密着(文字間)	69、79
ミニDV(定長印刷)	64、70
ミニDV(フォーム)	82、85
⑤	21
無変換	33
無変換	33
銘板(フォーム)	82、87
メッセージ(フォーム)	82、86
メニュー一覧	142
環境設定	134
漢字検索	119
記号	142
消去	144
段落スタイル	65
テープ送り	144
特殊印刷	127
名前	107
ファイル	90
フォーム・特殊フォーム	82
文章書式	64
文字モード	68
連番・バーコード	122
⑥	20
文字	
～を削除する	47
～を挿入する	47
～を入力する	46
～をもとに戻す(復活)	47

文字間(文字モード)	61、68、69、76、134
文字サイズ(段落スタイル)	61、65、73、134
文字入力	32
文字変換	21
文字ボタン	21
文字モード	61
～メニュー一覧	68
文字モード指定マーク(▶)	22、63

や

夜光ラベル	145
有効範囲	63
有効範囲は？	
段落スタイル	67
文字モード	69
拗音	34
よこ書き(縦・横)	58、65、73
余白(文章書式)	61、64、72、134
読み短縮	21、36

ら

⊙<	20
らく ² (文字サイズ)	60、65、73
連結呼出(ファイル)	93
連続印刷	127、128
連続番号	122、123
連番	21、122、123
連番・バーコード	122
～メニュー一覧	122
連番マーク(N)	123
ローマ字入力	33
ローマ字変換表	178

わ

割付け(段落スタイル)	61、66、74、134
割付け(割付け)	66、74

●アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中のACアダプタ・テープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご希望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店までお持ちください。

なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・外字・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）

ナットクのパートナー

お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

携帯電話・PHSをご使用の場合は、以下をご利用ください。

お客様相談室

東京 TEL 03-3864-1234

名古屋 TEL 052-935-4038

大阪 TEL 06-6263-1654

福岡 TEL 092-413-3977

受付時間：平日（月曜日～金曜日） 午前9時～午後5時30分

■最新情報については

「テブラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>

■別売品のお求めでお困りのときは

取扱説明書、カートリッジなど別売品のご購入に際し、どこで、どの様にして購入したら良いかお困りのときは、お買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店、または下記へお問い合わせください。

株式会社キングジム 〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目10番18号

札幌 TEL 011-811-0593

名古屋 TEL 052-935-4038

仙台 TEL 022-236-4110

大阪 TEL 06-6263-1654

さいたま TEL 048-651-0198

広島 TEL 082-291-8458

本社 TEL 03-3864-1234

福岡 TEL 092-413-3977

横浜 TEL 045-212-3280

株式会社キングビジネスサポート

TEL 03-3864-5646

FAX 03-3864-5647

「テブラ」PRO SR520X 取扱説明書

2006年 3月 第5版

株式会社キングジム

〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目10番18号

SR520X

取扱説明書



・お問い合わせ

フリーダイヤル(全国共通) ネットクのパートナー
お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

受付時間: 平日(月曜日～金曜日)午前9時～午後5時30分

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>